

令和5年版

消防年報



(美里町：世界農業遺産「大崎耕土の巧みな水管理による水田農業システム」)

大崎地域広域行政事務組合消防本部

【花野果市場】

花野果市場は、南郷地域にある直売所で、地域の方々が提供する地場産の野菜や漬物をはじめ、もち加工品やお惣菜なども取り揃えられており、平日でも多くの方が買い物に訪れます。また、農家レストランも併設されており、家庭料理や郷土料理を楽しむこともできます。

【北浦梨】

明治時代から栽培される北浦梨。毎年秋になると、国道108号線沿いに梨を販売する露店が立ち並び、県内外からみずみずしい梨を求める買い物客で賑わい、秋の風物詩となっています。



【山神社】

木花佐久夜比賣命、大山咋命、天照大御神、菅田別命を祭神とし、子授け・安産の神様として古くから東北地方で信仰されています。特に安全祈願の際にいただく神枕（お守り）のならわしは、この小牛田山神社が発祥です。平成29年に遷座100年を迎えました。

1月に行われる「こごたどんと祭」は、宮城県北部で行われるどんと祭としては最大規模を誇ります。裸参りや和太鼓演奏も奉納されます。毎年多くの人でにぎわう会場にはたくさんの出店も並び、寒さを和らげてくれます。

（お問い合わせ先）

美里町役場 〒987-8602 宮城県遠田郡美里町北浦字駒米13番地

電話 0229-33-2111（代）

ホームページアドレス <http://www.town.misato.miyagi.jp/>

【美里グリーンベース】

令和3年10月に、国内最大級のレタス工場「美里グリーンベース」が竣工しました。播種から収穫まで環境制御装置を活用するなど、近代農業を体現する生産施設となっています。レタスは、業務用として利用されるほか、家庭用としてコンビニなどで販売され、家庭の食卓を彩っています。

【麦作】

美里町は県内の小麦収穫量の3割を占める、県内有数の産地です。また、町内産小麦「夏黄金」を使用したパンは町内の学校給食でも提供されており、地産地消に繋がっています。



【JR 小牛田駅】

JR 小牛田駅は、宮城県内では仙台駅に次いで2番目位に多くの路線が乗り入れる駅。そのため電車でアクセスが非常にスムーズです。また、2本の国道も通っているため、近隣地方都市への通勤・通学圏内として定住する人も多く、住みよい状況下にあります。JR 小牛田駅には、町内や隣の大崎市を結ぶ住民バスも乗り入れています。

夏には、線路を一部開放し電車を間近で見られる車両展示や線路点検用車両の試乗、高校生によるダンスコンテストが見られる「えきフェス MISATO」が開催されています。

はじめに

急速に進む人口減少と高齢化，従来の生活様式に変化をもたらした感染症の蔓延，情報通信技術の進歩など，刻々と変わりゆく社会情勢に応じた消防行政が求められております。

また，東日本大震災以降も全国各地で震度6を観測する地震の発生や，線状降水帯による集中豪雨がもたらす土砂災害など，尊い命を脅かす自然災害が頻発し，単独の消防機関では対応が困難となり，県内応援や緊急消防援助隊による広域的で連携した消防活動が重要となっております。

当消防本部におきましては，消防ポンプ自動車や高規格救急自動車等の更新整備，デジタル化による通信機能を強化しているところであります。今後とも，複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため，より一層の消防防災体制の基盤強化を図ってまいります。

この年報は，令和4年度中における大崎地域広域行政事務組合の消防業務（消防団を除く）に関わる事業の成果，実績等について収録し，消防行政の効率的な運営と消防力の充実強化に資するとともに，当消防本部の実態を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

何とぞご高覧の上，消防行政に対しましての認識を深めていただき，より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

大崎地域広域行政事務組合消防本部

目 次

消防情勢

組合消防管内図	1
大崎消防本部の主な統計	2
位置及び地勢	3
消防施設の整備	4
相互応援協定	5
緊急消防援助隊の登録状況	6
組合消防情勢の推移	7
大崎消防のあゆみと主な災害等	8
構成市町の面積・世帯・人口	32
組合機構図	33
消防本部事務分掌	34
消防署事務分掌	36
令和5年度一般会計予算概要及び消防費当初予算	37
施設（消防庁舎等）の現況	38
消防力の整備指針と現有消防力	39
所属別配置状況	40
年齢別構成表	41
勤続年数別構成表	42

警 防

災害出動計画基準表	43
非常配備体制	45
消防車両配置表	46
消防隊出動状況	49
消防水利の現況	50

(火 災)

火災の現況	51
令和4年市町別火災発生状況	52
月別火災発生状況／過去10年間の主な出火原因	53
月別火災発生状況及び損害額状況／過去10年間の火災件数及び損害額の推移	54

(救 急)

救急業務の現況	55
令和4年月別救急出動状況	56
令和4年救急隊別出動状況	57
令和4年出動先別救急出動状況	58
令和4年傷病程度・年齢別搬送人員の状況	59

令和4年救急隊員の行った応急処置状況（その1）	60
令和4年救急隊員の行った応急処置状況（その2）	61
東北自動車道における救急出動件数・搬送人員	62
過去5年間の発生場所別救急出動件数／過去10年間の救急出動件数の推移	63
令和4年事故種別医療機関別搬送人員	64
応急手当講習会等の現況	65
応急手当講習会等の開催状況	66
(救 助)	
救助業務の現況	68
令和4年救助活動状況／過去5年間における救助件数の推移	69
消防装備等機械器具保有状況	70
予 防	
予防業務の現況	71
防火対象物数	72
地上5階未満，地上5階以上の防火対象物数	73
防火対象物における防火管理の状況	74
定期点検報告制度該当防火対象物数／消防同意事務処理状況	75
危険物施設状況	76
危険物関係事務処理状況／危険物関係申請状況／圧縮アセチレンガス等の届出状況	77
予防査察実施状況	78
液化石油ガス関係事務処理状況／火薬類取締関係事務処理状況	79
民間防火組織の結成状況	80
通信指令	
高機能消防指令センターの概要	81
通信指令システム機器一覧	83
119番等受付状況（災害）	84
119番等受付状況（災害以外）	85
119番等受付件数／覚知別受付件数	86
災害等区分別入電件数／テレドーム利用件数	87
月別気象状況	88
管内の消防団	
大崎管内の消防団構成	89

※ 本書の記載内容の期間については，各表及び統計毎に明示しております。

消 防 情 勢



消防本部辞令交付式

大崎地域広域行政事務組合消防管内図



【マスコットキャラクター：らいすくん】





- 組合構成市町：1市4町
 - 消防署等の数：1本部9署所
- | | |
|--|----------|
| | 消防本部：1本部 |
| | 消防署：4署 |
| | 分署：4署 |
| | 出張所：1所 |




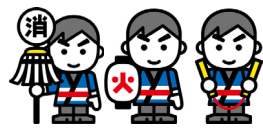






■大崎消防本部の主な統計





令和5年4月1日現在の情勢





(人口・世帯等は構成市町からの数値, 災害件数は令和4年確定値)

管内面積	管内人口	管内世帯数	人口密度
 1,523.91 km ²	 190,999 人	 78,475 世帯	 125.33 人/1 km ²

消防予算(5年度)	署所数	職員数	消防団員数
 3,141,845 千円	 消防本部 1 消防署 4 分署等 5	 定数 338 人 現有 326 人	 定数 4,060 人 現有 3,493 人

消防車	特殊車両	救急車他	消防水利
 ポンプ車 10 台 タンク車 8 台 化学車 1 台	 はしご車 2 台 救助工作車 1 台 大型水槽車 3 台	 救急車 14 台 司令・指揮車 6 台 その他車 25 台	 消火栓 3,149 基 防火水槽 1,141 基 その他 129 箇所

火災件数	救急件数	救助件数	その他災害件数
 58 件	 9,921 件	 59 件	 危険物等漏洩 66 件 自然災害 41 件 その他 317 件

防火対象物	危険物施設	セイフティマーク	防火組織
 6,959 施設	 製造所 3 施設 貯蔵所 562 施設 取扱所 260 施設	 該当対象物 264 施設 特例認定対象物 30 施設	 婦人防火クラブ 239 組織 少年消防クラブ 1 組織 幼年消防クラブ 38 組織

【位置及び地勢】

県北西部の大崎耕土

当圏域は、宮城県の北西部に位置し、南は広域仙台都市圏、東は広域石巻圏、北は栗原市・登米市、西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。

地勢としては、西部の山岳地帯の荒雄岳を源とする江合川、船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が西から東に向かって流れています。

また、山間部の豊かな森林に覆われた自然を源とする水は、圏域の北西から南東に広がる肥沃に満ちた広大な平野「大崎耕土」を潤し、昔から米どころとしての水稻の盛んな流域圏を形成しています。

圏域の人口は、令和5年4月1日現在190,999人（令和2年国勢調査195,353人）で、宮城県総人口の約8.5%を占め、広域仙台都市圏について2番目の規模となっています。

国土の縦軸と横軸が交差する大崎

圏域は、JR東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や、東北自動車道・国道4号・47号・108号・346号・347号・457号などの幹線交通網が、縦横に通った交通アクセスの優れた地域となっています。

世界農業遺産認定

「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産しており、平成29年12月「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が国際連合食糧農業機関（FAO）から世界農業遺産に認定されました。

また、栗駒国立公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設、歴史の道「奥の細道」や遺跡などの文化財、太鼓や神楽などの伝統芸能など文化遺産にも恵まれており、豊富な観光資源を活用したレクリエーション産業が発展しています。



大崎耕土（写真提供：大崎地域世界農業遺産推進協議会）

【消防施設の整備】

消防本部では、地域社会の防災機関の中核として、住民のニーズに応えるべく管内情勢に応じた総合的、効果的な消防施設整備計画を作成し、消防力の強化、充実を推進しています。

令和4年度の整備状況は次のとおりです。

1 消防ポンプ自動車の整備

導入から23年が経過した古川消防署及び導入から22年が経過した志田分署の消防ポンプ自動車を更新整備しました。資器材を充実させ、火災対応はもとより大規模災害時においても迅速に対応してまいります。（市町村振興総合補助事業・施設整備事業）



2 高規格救急自動車の整備

導入から10年以上が経過した古川消防署及び遠田消防署の高規格救急自動車を更新整備しました。増加する救急出動に対し、適切かつ迅速な救急救命処置を行うための救急資器材を充実させております。（市町村振興総合補助事業・施設整備事業）



3 庁舎の感染症対策の整備

古川消防署三本木出張所の救急隊と消防隊の仮眠室を分離するとともに、パーティションにより区画のうえ、更衣室を兼ねた仮眠室の個室化を図り、職員間の感染防止に配慮した改修工事を行いました。



【相互応援協定】

市町村は、その管轄区域内における火災等の消防責任を有していますが、その消防力を超える大規模火災や特殊災害等が発生した場合、それらに対応するため消防組織法に基づき近隣の消防本部等と消防相互応援協定を締結しています。

東日本大震災では、宮城県広域消防相互応援協定に基づき、気仙沼市、石巻市等の2市2町へ消防隊及び救急隊等延べ67隊を派遣し43日間にわたり活動を行いました。

また、最近では令和元年10月に発生した台風19号災害に伴い、消火小隊、救急小隊、後方支援小隊の延べ14隊48名を被災地である丸森町へ派遣、さらに令和2年4月30日、岩沼市で発生した大規模倉庫火災には指揮隊、特殊装備小隊、後方支援小隊の延べ5隊18名を派遣したほか、令和3年1月19日、大崎市古川の東北自動車道下りで発生した多重事故では、宮城県内の消防本部から指揮隊、救助小隊、救急小隊、後方支援小隊の延べ10隊35名の応援を受け、活動を行いました。

名 称	締結年月日	締結市町村名 協定消防本部名	応 援 内 容
消防相互応援協定	S45年11月1日	栗原市消防本部	消防組織法第39条 (火災・その他災害)
	S48年2月1日	栗原市消防本部	消防組織法第39条 (救急)
	S48年7月1日	黒川地域行政事務組合 消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	S50年4月1日	山形県最上広域 市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H8年7月31日	秋田県湯沢雄勝広域 市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H25年3月1日	尾花沢市消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
広域消防相互 応 援 協 定	S48年1月24日	石巻地区広域・塩釜地区・ 登米市・気仙沼本吉地域広 域4消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
東北自動車道 宮城県消防相互 応 援 協 定	S63年7月1日	仙台市・名取市・仙南地域 広域・栗原市・黒川地域 5消防本部	東北自動車道における 消防業務の相互応援
宮城県広域消防 相 互 応 援 協 定	H31年4月1日	県内11消防本部(局)	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
宮 城 県 広 域 航 空 消 防 応 援 協 定	H31年4月1日	宮城県 県内11消防本部(局)	同 上
宮 城 県 内 航 空 消 防 応 援 協 定	H31年4月1日	仙台市 県内10消防本部	同 上

【緊急消防援助隊の登録状況】

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえ、大規模災害等において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成7年6月に創設されました。

令和5年4月1日現在、全国で6,629隊が登録され、指揮支援部隊、統合機動部隊、エネルギー・産業基盤災害即応部隊、NBC災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊、航空部隊（航空小隊、航空後方支援小隊）、都道府県大隊（指揮隊、消火中隊、救助中隊、救急中隊、後方支援中隊、通信支援中隊、水上中隊、特殊災害中隊、特殊装備中隊）の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。

大崎広域消防本部においては、下表のとおり13隊（47名）を登録しています。



登録隊	所 属	車 両	登録年月	登録隊数
都道府県大隊指揮隊	消防本部	司令車	H19.4	1隊
消火小隊	加美消防署	水槽付ポンプ車	H15.4	5隊
	鳴子消防署	水槽付ポンプ車	H27.4	
	遠田消防署	水槽付ポンプ車	H21.3	
	西部分署	水槽付ポンプ車	H26.4	
	田尻分署	水槽付ポンプ車	H27.4	
救助小隊	古川消防署	救助工作車	H15.4	1隊
救急小隊	加美消防署	高規格救急車	H19.4	3隊
	遠田消防署	高規格救急車	H20.4	
	鳴子消防署	高規格救急車	H30.4	
後方支援小隊	古川消防署	拠点機能形成車	H31.4	1隊
特殊装備小隊	鳴子消防署	中型水陸両用車 及び搬送車	R2.4	2隊
	古川消防署	はしご自動車	R3.4	
計				13隊



中型水陸両用車及び搬送車



拠点機能形成車

大崎地域広域行政事務組合消防情勢の推移

令和5年4月1日現在

年	区分	人口	世帯数	消防職員		火災件数 (1～12月)	救急出動件数 (1～12月)
				定数	実員		
昭和45		219,598	48,081	186	125	76	336
46		217,880	48,759	186	154	126	378
47		216,507	49,280	186	186	111	655
48		214,880	49,790	214	211	119	1,007
49		215,464	50,472	217	214	108	1,472
50		216,349	51,115	222	220	104	1,695
51		217,525	51,787	222	219	119	1,880
52		218,880	52,674	228	226	101	1,905
53		219,884	53,462	228	222	109	2,101
54		221,097	53,963	228	228	122	2,210
55		219,603	54,482	228	226	86	2,474
56		221,414	54,252	233	231	91	2,507
57		222,930	55,192	238	236	87	2,747
58		223,686	55,539	242	242	101	2,995
59		223,973	55,925	242	240	101	2,906
60		224,954	56,476	242	238	94	3,174
61		225,434	57,134	252	243	101	3,331
62		225,556	57,348	252	246	103	3,472
63		225,578	57,680	252	248	99	3,517
平成元		225,567	58,185	252	243	78	3,766
2		225,285	58,731	252	242	87	3,958
3		225,114	59,140	252	239	97	4,002
4		225,225	59,733	252	243	105	4,070
5		225,490	60,480	252	251	103	4,241
6		226,104	61,167	260	260	105	4,575
7		225,813	61,167	300	268	99	4,784
8		225,606	62,754	300	276	86	5,172
9		225,424	63,565	300	284	132	5,202
10		225,532	64,795	300	291	117	5,757
11		225,588	65,632	300	297	129	6,174
12		225,054	66,296	300	299	78	6,567
13		224,134	66,736	300	298	148	6,572
14		223,234	67,177	338	303	138	6,816
15		222,594	68,067	338	308	156	7,253
16		221,420	68,268	338	312	152	7,789
17		220,499	68,758	338	317	128	8,142
18		219,422	69,245	338	321	86	7,918
19		218,267	69,890	338	320	124	7,910
20		214,085	70,384	338	312	132	7,807
21		212,187	70,669	338	310	114	7,807
22		213,998	71,447	338	307	99	8,251
23		212,773	71,821	338	314	110	9,180
24		212,509	72,699	338	315	88	9,087
25		211,325	73,480	338	310(1)	96	9,125
26		210,347	74,323	338	312(2)	83	9,157
27		208,511	74,902	338	308(6)	74	9,458
28		207,122	75,485	338	315(4)	85	9,352
29		205,597	76,108	338	317(6)	66	9,508
30		203,483	76,533	338	317(3)	70	9,288
令和元		200,947	76,642	338	316(4)	51	9,470
2		198,379	77,056	338	321(5)	58	8,422
3		197,208	77,667	338	323(6)	49	9,128
4		193,535	77,930	338	329(9)	58	9,921
5		190,999	78,475	338	326(7)		

※ 消防職員実員の（ ）書きは、再任用職員の内数

大崎消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和45	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎1市12町1村で大崎地区消防事務組合を発足, 1本部2署1派出所人員92名にて消防業務開始 ・初代消防長に古川市長森谷菊治郎氏就任 (事務取扱) ・政令指定 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子町字焼石亦林野火災 焼損面積3ha 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市地下鉄工事現場ガス爆発火災 死者74名, 負傷者411名
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・栗原地区消防と消防相互応援協定締結 				
46	1	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署涌谷分署庁舎開設ポンプ車配置 ・古川消防署鹿島台, 岩出山, 中新田, 小牛田各分署及び小野田出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車各1台配置 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・古川市寿司店火災 死者4名 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市林野火災 死者17名 (消防職員) 負傷者1名 焼損面積340ha
	4		4	<ul style="list-style-type: none"> ・色麻町四釜, 大東電子産業(株)火災 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・第2代消防長に千田清志氏就任 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・岩出山町南沢林野火災 焼損面積3ha 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・雫石事故 (全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落) 死者162名
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署小牛田分署に普通消防ポンプ車1台増強 				
47	12	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署岩出山, 鹿島台, 中新田, 涌谷の各分署に水槽付消防ポンプ車各1台を配置 				
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署にスノーケル車1台配置 				
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署鹿島台, 岩出山, 涌谷各分署及び小野田出張所に消防吏員待機宿舎完成 ・古川消防署岩出山, 涌谷各分署に救急車各1台配置 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・岩出山町南沢林野火災 焼損面積2.5ha 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市千日デパートビル火災 死者118名, 負傷者81名
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・第3代消防長に佐藤真夫氏就任 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・小野田町漆沢ダム工事現場作業員宿舎火災 死者1名 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市済生会八幡病院火災 死者13名, 負傷者3名 焼損面積888㎡

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和48	2	<ul style="list-style-type: none"> 石巻広域，気仙沼本吉広域，塩釜地区，登米地区各消防と消防相互応援協定締結 	2	<ul style="list-style-type: none"> 松山町次橋山王大火災 焼損棟数12棟 焼損面積945㎡ 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署田尻出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車1台配置 古川消防署中新田分署に救急車1台配置(日本自動車工業会より寄贈) 古川消防署小牛田分署に消防吏員待機宿舍完成 大崎地域広域行政事務組合に統合するため大崎地区消防事務組合を解散 大崎地域広域行政事務組合に統合，定数条例214名 黒川地区消防と消防相互応援協定締結 古川消防署小牛田分署に救急車1台配置 機構改革により中新田分署，涌谷分署が署に昇格し，1本部4署3分署2出張所1派出所となる。 鳴子消防署に救急車1台配置(宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈) 古川消防署鹿島台分署に救急車1台配置(日本消防協会より寄贈) 	8	<ul style="list-style-type: none"> 岩出山町池月林野火災 焼損面積2ha 	7	<ul style="list-style-type: none"> 出光石油化学徳山工場爆発火災 死者1名
49	3	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署三本木機関員派出所，中新田消防署宮崎機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置 			9	<ul style="list-style-type: none"> 熊本大洋デパート火災 死者103名，負傷者121名 焼損面積13,637㎡
	4	<ul style="list-style-type: none"> 定数条例217名に改定 	12	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子町字星沼，旅館仙庄館火災 焼損面積780㎡ 	4	<ul style="list-style-type: none"> 三菱石油水島製油所重油流失事故
					5	<ul style="list-style-type: none"> 1974年伊豆半島沖地震(M6.9) 死者30名 家屋全壊134棟
					8	<ul style="list-style-type: none"> 東京丸の内三菱重工業ビルで時限爆弾爆発(企業連続爆破事件) 死者8名，重軽傷228名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等	
昭和50	2	・古川消防署に救急車1台増強（日本損害保険協会より寄贈）			2	・四日市大協石油製油所タンク火災	
	3	・古川消防署松山機関員派出所，涌谷消防署の南郷機関員派出所の各庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置					
	4	・最上広域消防と消防相互応援協定締結 ・定数条例222名に改定	4	・岩出山町南沢畜舎火災 焼損面積624㎡	4	・大分県中部地震（M6.4） 負傷者22名 家屋全壊77棟	
	7	・古川消防署に作業車配置					
	9	・古川消防署の普通消防ポンプ自動車1台更新（日本損害保険協会より寄贈）	8	・古川市協和中学校火災 焼損面積963㎡			
	10	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新	12	・色麻町色麻中学校火災 焼損面積1,909㎡			
	51	2	・中新田消防署色麻機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車1台配置	4	・古川市中里アパート火災 焼損面積446㎡ ・古川市佐々木製縄火災 焼損面積700㎡		
		6	・消防本部付にて特別救助隊発足（隊員7名）	7	・小野田町味袋畜舎火災 焼損面積853㎡		
		9	・第4代消防長に小金勝一氏就任			10	・酒田市大火 死者1名 負傷者1,003名 焼損棟数1,774棟，焼損面積152,105㎡
		11	・鳴子消防署に梯子車（15m級）1台配置				
12		・黒川地区消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結 ・東北高速自動車国道（古川IC～大和IC間上り線）救急業務開始			12	・沼津市雑居ビル火災 死者15名，負傷者8名 ・東北自動車道 泉～古川間開通	
52	1	・古川消防署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）	1	・涌谷町住宅火災 焼損棟数5棟 焼損面積581㎡			

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等
昭和52	3	・消防救急指令装置(C型)設置			3	・北九州市林野火災 死者5名(消防職員)
	4	・定数条例228名に改定	4	・古川市山崎製畳工場火災 焼損面積852㎡	5	・岩国市岩国病院火災 死者7名, 負傷者5名
	8	・古川消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・北海道有珠山噴火
	10	・古川消防署に化学車(Ⅱ型)1台配置 ・涌谷消防署小牛田分署に水槽付消防ポンプ車を配置, 既設の普通消防ポンプ車を古川消防署に移管				
	11	・栗原広域消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結				
	12	・東北高速自動車国道(古川IC～築館IC間下り線)救急業務開始				
53	1	・消防通信指令室に気象観測装置(自記温湿・風向・風速・雨量・気圧)を設置			1	・1978年伊豆大島近海地震(M7.0) 死者25名
	3	・鳴子町上野々に無線不感地帯解消のための無線塔を設置 ・消防本部通信指令室に地図検索装置を設置 ・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新	5	・涌谷町上郡畜舎火災 焼損面積728㎡	6	・1978年宮城県沖地震(M7.4) 死者28名 負傷者11,028名 家屋全壊1,383棟 仙台市の屋外タンクから68,160ℓの油流出
	8	・古川消防署荒谷機関員派出所の普通消防ポンプ車更新	9	・岩出山町片倉工業㈱火災 焼損面積1,445㎡		
54	3	・鳴子消防署の救急車更新 ・涌谷消防署の救急車更新(日本損害保険協会より寄贈) ・古川消防署に救急予備車を配置(鳴子消防署より移管)	2	・古川市福沼字長瀬, 青沼醸造㈱火災 焼損面積3,446㎡	3	・上越新幹線大清水トンネル火災 死者16名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等
昭和54	5	・消防本部・古川消防署庁舎完成				
	7	・消防本部救助訓練塔完成 ・消防音楽隊発足（隊員27名）	10	・中新田町菜切谷グリコ仙台アイスクリーム(株)火災 焼損面積3,446㎡	7	・東名高速道路日本坂トンネル内車両火災 死者7名，負傷者2名 焼損車両189台
55	11	・消防本部に救助工作車1台配置	12	・古川市上古川屋敷住宅火災 死者5名，焼損面積158㎡		
	3	・涌谷町籠岳に無線不感地帯解消のための無線塔を設置	5	・宮崎町宮崎店舗住宅火災 負傷者4名 焼損面積335㎡		
	6	・鳴子消防署に作業車配置（古川消防署より移管）				
56	8	・古川消防署，鳴子消防署岩出山分署の救急車更新 ・中新田消防署，涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・富士山落石事故 死者12名，負傷者31名 ・静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 死者14名，負傷者223名 焼損面積1,732㎡
	10	・古川消防署の水槽付消防ポンプ車を小型動力消防ポンプ付大型水槽車（10t）に更新			11	・栃木県川治プリンスホテル火災 死者45名，負傷者22名
57	3	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）			1	・川崎市タンカー火災 死者3名，負傷者3名
	4	・定数条例233名に改定			5	・東京上野「アメ横」火災 焼損棟数52棟
57	9	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新 ・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新	11	・小牛田町中塚作業所火災 焼損面積1,955㎡	8	・台風第15号東北縦断
	3	・古川消防署鹿島台分署の救急車更新，既存の救急車を予備車として古川消防署に移管			10	・北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者93名
					2	・東京都千代田区ホテルニュージャパン火災 死者32名，負傷者34名 焼損面積4,186㎡ ・山形市蔵王温泉観光ホテル火災 死者11名，負傷者2名 焼失面積3,581㎡

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和57	4	・定数条例238名に改定 ・第5代消防長に大澤邦臣氏就任	4	・鳴子町湯元鳴子ホテル源泉噴出事故 負傷者7名	4	・東北地方を中心とした林野火災 負傷者8名 焼損棟数290棟 焼損面積4,725㎡
	7	・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新				
58	8	・中新田消防署に圧縮空気製造用高圧コンプレッサー設置	11	・鳴子町名生定字竹原ドライブイン火災 焼損面積657㎡		
	3	・古川消防署の救急車更新				
	4	・定数条例242名に改定	4	・宮崎町谷地森字赤沼住宅火災 死者3名, 焼損面積723㎡	5	・昭和58年日本海中部地震(M7.7) 死者104名 家屋全壊1,584棟
59			6	・岩出山町字下川原墨田工業(株)工場火災, 焼損棟数2棟, 焼損面積671㎡	10	・三宅島噴火 建物損壊400棟
					11	・掛川市ヤマハレクリエーション「つま恋」プロパンガス爆発事故 死者14名
	3	・消防本部に宮城県事業として, 防災行政無線装置を設置 ・中新田消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	5	・小野田町字上野目西小野田中学校火災 焼損面積1,996㎡	1	・福岡県高田町三井三池有明鉱構内火災 死者83名, 負傷者16名
	11	・涌谷消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新	8	・鳴子町名生定字水沼しんこう牧場火災 焼損面積564㎡	11	・東京都世田谷区で電話地下ケーブル火災
60	1	・第6代消防長に組合助役内田綱雄氏就任(事務取扱)				
	2	・消防本部に宮城県事業として, 防災無線端末局用ファクシミリ装置を設置	2	・岩出山町字下一栗一本杉畜舎火災 焼損面積703㎡	2	・新潟県青梅町土砂崩れ 死者10名, 負傷者4名 建物損壊7棟

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和60	3	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部通信指令室に消防救急指令装置（C型）1台増設 消防本部通信指令室に地図検索装置（F100C）を設置 古川消防署鹿島台分署，鳴子消防署岩出山分署，涌谷消防署小牛田分署，同田尻出張所，中新田消防署小野田出張所電話転送装置を設置 消防本部通信指令室に119番集中管理用無線指令起動装置を設置 涌谷消防署の救急車更新 古川消防署荒谷機関員派出所を廃止し，同所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 	3	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷町字三十軒屋敷住宅火災 焼損棟数3棟 焼損面積592㎡ 	5	<ul style="list-style-type: none"> 東京都目黒区柿の木板タンクローリー火災
	6	<ul style="list-style-type: none"> 119番集中管理運用開始 	6	<ul style="list-style-type: none"> 中新田町四日市場字屋敷作業所火災 焼損棟数6棟 焼損面積716㎡ 	7	<ul style="list-style-type: none"> 長野市地附山地滑り 死者26名
	9	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署岩出山分署の水槽付消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈） 			8	<ul style="list-style-type: none"> 日航ジャンボ機墜落事故（群馬県上野村） 死者520名，負傷者4名
	11	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署庁舎増改築工事竣工 			9	<ul style="list-style-type: none"> メキシコ大地震 死者数千人以上
	12	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） 			11	<ul style="list-style-type: none"> 南米コロンビア火山大噴火 死者2万人以上
	12	<ul style="list-style-type: none"> 豪雪（61年3月まで） 死者90名 負傷者678名 			12	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡
61	2	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置を設置 			2	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡
	4	<ul style="list-style-type: none"> 定数条例252名に改定 			7	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市 陽気寮火災 死者8名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和61	9	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車更新	8	・台風10号により鹿島台町の吉田川決壊，全町の約50%にあたる2,670haが冠水 死者1名 家屋冠水969棟，1,415世帯に避難勧告	8	・台風10号 死者20名，負傷者107名
	62	3	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） ・古川消防署の救急車更新 ・涌谷消防署田尻出張所の普通消防ポンプ車の更新		11	・伊豆大島噴火
63			1	・鳴子町名生定住宅火災 死者1名 焼損133㎡	3	・名取市東北自動車道多重衝突事故 死者1名，焼損車両13台
	3	・中新田消防署色麻派出所の普通消防ポンプ車更新 ・涌谷町籠岳無線通信所の制御器を消防本部指令室に移設 ・古川消防署三本木派出所松山派出所，中新田消防署宮崎派出所，色麻派出所，涌谷消防署南郷派出所に無線起動装置を設置	3	・鳴子町大口旅館・住宅火災 死者1名 焼損棟数4棟 焼損面積844㎡	5	・東電大井火力発電所爆発火災 死者4名
	4	・第7代消防長に渡辺邦夫氏就任	7	・中新田町字赤塚住宅火災 死者3名 焼損面積103㎡	6	・東村山市特別養護老人ホーム松寿園火災 死者17名，負傷者25名 焼損面積450㎡
			4	・宮崎町孫沢，住宅火災4棟全半焼		
平成元	4	・第8代消防長に高橋仁一氏就任	5	・色麻町平沢，住宅火災3棟全半焼	7	・海上自衛隊潜水艦「なだしお」と釣り船「第1富士丸」衝突
					12	・ソ連アルメニア共和国大地震 死者10万人
	8	・消防本部通信指令室に救急医療情報検索端末装置を設置			6	・伊豆群発地震
					7	・伊豆半島東方河海底入火山噴火 ・台風11，12，13号及び熱帯低気圧による災害
					8	・東京都江東区28階建高層マンション24階から出火

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成元	11	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署三本木派出所の普通消防ポンプ車更新（消防施設補助整備事業等） 中新田消防署宮崎派出所の普通消防ポンプ車（4WD）更新 					
	2	1			3	<ul style="list-style-type: none"> 尼崎市長崎屋火災 死者15名，負傷者6名 	
				11	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島台町大迫川決壊床下浸水51棟 		
	3			2	<ul style="list-style-type: none"> 岩出山町一栗中学校火災 体育館747㎡全焼 	2	<ul style="list-style-type: none"> 関西電力美浜原発2号機で冷却水漏れ事故
		3	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署庁舎新築工事竣工 鳴子消防署敷地内の消防訓練塔建築工事竣工（主塔は消防施設補助整備事業） 			3	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙普賢岳噴火による火砕流災害，死者41名
		6	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の防火広報車更新（日本防火協会より寄贈） 				
		8	<ul style="list-style-type: none"> 大崎地域広域行政事務組合創立20周年記念式典挙行 				
		10	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署南郷派出所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） 				
	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） 古川消防署鹿島台分署の救急車更新（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈） 	2	<ul style="list-style-type: none"> 東北自動車道玉突き事故（古川市塚目地内） 死者2名，負傷者27名 		
		4	<ul style="list-style-type: none"> 第9代消防長に早坂千早氏就任 宮城県広域消防相互応援協定締結 				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成4 5	9	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署, 古川消防署 松山派出所の普通消防ポンプ車更新, 既存の同派出所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 消防本部通信指令室に宮城県総合防災情報システム端末設備を設置 鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管 	9	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子町鳴子ホテル火災 551㎡部分焼 宿泊客325名無事避難 			
	10	<ul style="list-style-type: none"> 第10代消防長に宍戸武氏 就任 	10	<ul style="list-style-type: none"> 田尻町田尻, 住宅火災9棟全半焼 			
			12	<ul style="list-style-type: none"> 小牛田町化粧坂, 住宅火災 3棟全半焼 	1	<ul style="list-style-type: none"> 北海道釧路沖地震(M7.8) 死者2名 家屋全壊53棟 	
	4	<ul style="list-style-type: none"> 第11代消防長に組合助役 青沼宏明氏就任 (事務取扱) 	6	<ul style="list-style-type: none"> J R 東北本線鹿島台野蒜踏切列車事故(救助救急出動) 死者3名 	7	<ul style="list-style-type: none"> 北海道南西沖地震(M7.8) 死者行方不明230名 家屋全壊601棟 	
			8	<ul style="list-style-type: none"> 岩出山町大学町, 作業所火災 2棟全半焼 	8	<ul style="list-style-type: none"> 平成5年8月豪雨災害 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療情報検索端末装置更新 			9	<ul style="list-style-type: none"> 台風13号による災害 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署のスノーケル車を梯子車(35M)に更新 (消防防災設備補助事業) 初の救急救命士誕生 					
	12	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署の救急車を高規格救急車に更新, 既存救急車を予備車として古川消防署に移管 					
	6	4	<ul style="list-style-type: none"> 定数条例260名に改定 	9	<ul style="list-style-type: none"> 台風26号増水による涌谷町三軒屋敷地内江合川決壊警戒出動 	12	<ul style="list-style-type: none"> 三陸はるか沖地震(M7.5) 死者3名, 家屋全壊72棟 福島県若喜旅館火災 死者5名, 負傷者3名
		12	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新 鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新 				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等				
平成7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 涌谷消防署の救急車更新 (宮城県共済農協連合会より寄贈) ・ 中新田消防署の救急車更新 ・ 本署5救急隊専任化に伴い40名増員, 定数条例300名に改定 ・ 鳴子消防署, 涌谷消防署の査察車更新 ・ 消防本部の指令車更新 ・ 緊急消防援助隊編成で救助部隊1隊登録, 消火部隊2隊登録 ・ 古川消防署の指揮車更新 (日本消防協会より寄贈) ・ 中新田消防署救急隊専任化 ・ 古川消防署の化学消防ポンプ車更新 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 涌谷町吉住, 住宅火災 4棟全半焼 ・ 古川市七日町, 店舗併用住宅火災 焼損面積270㎡全焼 ・ 涌谷町箕岳観光会館ホテル火災 (宿泊客15名無事避難) 焼損面積・延1,424㎡の内 320㎡部分焼 ・ 宮崎町木船, 住宅火災 3棟全半焼 ・ 三本木町蒜袋, 住宅等火災 6棟全焼 ・ 岩出山町下山里, 住宅火災 3棟全半焼 	<ul style="list-style-type: none"> 1 3 2 6 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神淡路大震災 死者6,430名, 負傷者43,782名, 火災285件, 全半焼7,071棟, 避難者31万人, 住家全壊104,900棟, 半壊144,255棟 ・ 東京都心地下鉄サリン事件 ・ 北海道豊浜トンネル落盤事故 死者20名 ・ 福岡空港ガルーダインドネシア航空機の離陸失敗炎上 死者3名, 負傷者109名 				
							8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災倉庫竣工 (救急消毒室併設) ・ 涌谷消防署小牛田分署の水槽付消防ポンプ車更新 ・ 古川消防署の連絡車更新 ・ 古川消防署の救助工作車 (Ⅱ型) をⅢ型に更新, Ⅱ型を鳴子消防署へ配置換え ・ 財務会計システム運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 2 5 6

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成8	7	・湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定締結					
	8	・鳴子消防署の指揮車更新 ・中新田消防署小野田出張所の指揮車更新	8	・宮城県北部（鳴子町鬼首地区）地震 負傷者4名 家屋半壊28世帯186名家屋一部破損168世帯689名、路面の亀裂陥没、路肩崩壊・橋脚の亀裂等			
	10	・涌谷消防署救急隊専任化 ・涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）既存の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	12	・中新田町下新田，住宅火災4棟全半焼，傷者1名			
	9	2	・中新田消防署配置の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） ・中新田消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）既存の救急車を古川消防署（第2救急車）へ移管，古川第2救急車を予備車に配置換え		1	・ロシア船籍タンカーナホトカ号の座礁，大量の重油流出による日本海沿岸8府県に及ぶ広域海洋汚染	
	3	・消防本部庁舎構内に電話交換機更新（NTT，EP-17型）	4	・田尻町大貫，住宅等火災5棟全焼	3	・動燃東海事業所施設内で爆発事故 被爆者数37名	
	8	・古川消防署鹿島台分署の指揮車更新	6	・鹿島台町鶴田川，広長川大雨による堤防決壊2カ所，幹線道路欠損2カ所	6	・臓器移植法成立	
	10	・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	9	・鳴子町尿前地内登山遭難，傷者1名（県防災ヘリ出動）			
	12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10	・小野田町漆沢，登山遭難，傷者2名（県防災ヘリ出動）			
	12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・小牛田町建物火災 死者2名 焼損面積201㎡ 3棟			
	10	3	・自動車，携帯電話からの119番受付業務を代表消防本部として開始（大崎，黒川，栗原ブロック）	4	・古川市きのこ工場工事現場火災 焼損面積13,225㎡ 死者1名，負傷者16名		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等
平成10	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴子消防署岩出山分署の指揮車更新 ・ 消防本部に資機材搬送車を整備 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴子町国立鳴子病院火災 死傷者13名 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> 2 ・ 鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） 3 ・ 涌谷消防署の救急車を高規格救急車に更新（山之内製菓㈱より寄贈） 4 ・ 第12代消防長に組合助役千葉賢氏就任(事務取扱) 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古川市南町保育所火災 焼損面積310㎡ 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臓器移植法施行以来、初の脳死移植実施。
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中新田町ソニー(株)中新田工場火災 焼損面積3,034㎡ 損害額36億4,100万円 		
			7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿島台町鶴田川決壊下志田地区一帯冠水300世帯に避難勧告 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古川市立病院において国内3例目の脳死判定が行われ、古川消防署救急隊により市内師山ヘリポートへ臓器の緊急搬送を実施。
					8	<ul style="list-style-type: none"> ・ トルコ北西部地震（M7.8）（緊急消防援助隊派遣） 死者1,700人、負傷者24,900人、家屋被害180,300棟
					9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾中部地震（M7.7）（緊急消防援助隊派遣） 死者2,400人、負傷者11,000人、家屋被害82,400棟 ・ 茨城県東海村核燃料加工会社JCO東海事業所で、日本初の臨界事故発生、社員80名以上が被爆
	12	<ul style="list-style-type: none"> 11 ・ 鳴子消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） ・ 涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） 			3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営団地下鉄日比谷線で通勤電車が脱線、上り電車と衝突 死傷者69名 ・ 北海道有珠山が23年ぶりに噴火、その後三宅島の雄山等も噴火、全国的に火山活動が活発化
			10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中新田町南町地内7棟全半焼火災 焼損面積613㎡ 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東海を中心に猛烈な豪雨、名古屋全域で3方棟超浸水（105名の死傷者）
		<ul style="list-style-type: none"> 11 ・ 古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北自動車道玉突き事故（三本木町伊賀地内） 傷者21名、破損車両64台 		

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成13	3	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署高規格救急車更新（消防防災設備補助事業） 古川消防署2B型救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） 					
	4	<ul style="list-style-type: none"> 消防緊急通信指令システム整備（消防防災整備補助事業） 					
	7	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署梯子車更新（消防防災整備補助事業） 			7	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県明石市大蔵海岸朝霧歩道橋付近で将棋倒し事故 死傷者139名 	
	8	<ul style="list-style-type: none"> 小野田出張所2B型救急車配備（宮城県共済農業協同組合連合会寄贈） 			9	<ul style="list-style-type: none"> 東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル「明星56ビル」火災 死者44名 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車（消防防災整備補助事業） 					
	14	4	<ul style="list-style-type: none"> 職員定数条例改正（338人） 			3	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県延岡市の旭化成工場 で火災 3,698世帯9,407名に避難勧告
	9	<ul style="list-style-type: none"> 田尻・三本木出張所へ2B型救急車配置 	10	<ul style="list-style-type: none"> 小牛田町字桜木町で7棟を焼損する火災 焼失延面積447.77㎡ 	10	<ul style="list-style-type: none"> 三菱重工長崎造船所内で艀装工事中に豪華客船ダイヤモンドプリンセス号火災 総トン数113,000t 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> 三本木防災センターに併設した三本木出張所開所 涌谷消防署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業） 					
	15	3	<ul style="list-style-type: none"> 安田生命保険相互会社より寄贈された高規格救急車を小牛田分署に配置 	3	<ul style="list-style-type: none"> 小牛田町北浦で金庫室に閉じ込められた2名の学生をダイヤモンドチェンソー等を活用し、107分後に救出 		
	4	<ul style="list-style-type: none"> 旧中新田町、旧宮崎町、旧小野田町が合併し、加美町が誕生した。 1市11町の構成市町となる。 小牛田、鹿島台分署へ救急救命士を配置 	5	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県沖を震源とする地震（5/26 18:24）発生 マグニチュード7.1震度6弱 大崎管内火災1件（東北電力（株）宮城変電所変圧器火災） 	6	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県神戸市西区伊川谷町で発生した建物火災で消防職員13名が死傷 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島台分署の2B型救急車を更新（宮城県補助整備事業） 	7	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県北部連続地震発生 1回目（7/26 0:13） マグニチュード5.6震度5強 2回目（7/26 7:13） マグニチュード6.4震度6強 3回目（7/26 16:56） 			

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成15	8	・三本木出張所へ連絡車を配置	7	マグニチュード5.5震度5強 <7/26の地震による災害> 大崎管内 罹災世帯数2,979, 罹災人員 8,883名, 全壊102棟, 半壊 348棟, 一部破損2,548棟 火災2件(その他電柱1・ぼ や建物収容物1) 救急15件 その他災害24件	8	・三重県桑名郡多度町の三重 ごみ固形燃料発電所でR D F貯蔵層から火災発生45日 間に及ぶ消火活動消防職員 2名死亡	
	10	・岩出山分署災害対応特殊 水槽付ポンプ車(消防防 災整備補助事業)			9	・栃木県黒磯市ブリヂストン 栃木工場で火災発生 40,885㎡のハンパリー工場1棟 全焼, 工場付近7地区1,708 世帯・5,032名に避難指示	
	16	3	・大崎地域メディカルコン トロール協議会設立			・十勝沖地震発生(9/26) マグニチュード8.0震度6弱 負傷者849名 火災4件のうち苫小牧市の 出光興産で屋外タンク貯蔵 所から火災発生	
		4	・初の女性消防士採用 ・岩出山分署へ救急救命士 を配置	4	・加美町宮崎で4棟全焼火災発 生 焼損面積678.8㎡ 第3出動15台(強風時) 放水台数5, 放水口9	10	・新潟県中越地方を震源とす る地震(10/23) マグニチュード6.8震度6強 死傷者1,239名 住宅損壊2,839棟, 火災11件
		10	・岩出山分署の2B型救急 車を更新(宮城県補助整 備事業)			12	・インド洋スマトラ沖大地 震(12/26) マグニチュード9
	17	3	・消防LAN構築・ホームページ 開設 http://oosakifire119.jp/ ・鳴子消防署の救助工作車 を廃車し, 更新する消防 ポンプ車へ救助資機材を 搭載し救助ポンプ車とて 運用開始(宮城県補助整 備事業)			3	・福島県西方沖を震源とする 地震(3/20) マグニチュード7震度5弱 死傷者119名 住宅損壊121棟
		4	・大崎地域広域行政事務組 合, 大崎中央環境組合, 大崎東部環境衛生事務組 合, 六の国環境衛生組合 の4組合, 更に古川市・松 山町・涌谷町の各斎場が 統合し, 大崎地域広域行 政事務組合としてスター トする。 ・組合統合後, 初代消防長 に工藤司氏就任 ・各消防署の指揮体制を強 化, 指揮隊の配置	5	・古川市北宮沢地内にて建物 及び山林の火災 山林1ha焼失(県防災ヘリ出 動) ・加美町字鹿原白沼地内, 山 菜取遭難 死者1名(県防災ヘリ出動)	4	・兵庫県尼崎市JR福知山線 列車事故 死者107名, 負傷者549名
				8	・宮城県沖を震源とする地震 (8/16) マグニチュード7.2震度6弱	10	・パキスタン北部で地震発生 (10/8) マグニチュード7.6

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成17					12	・山形県庄内町JR羽越線脱線事故(12/25) 死者5名, 負傷者32名
18	1	・旧小牛田町, 旧南郷町が合併し美里町が誕生した1市10町の構成市町となる。			1	・長崎県大村市グループホームやすらぎの里で火災発生 死者7名, 負傷者3名
	2	・古川消防署大型水槽車更新(宮城県補助整備事業) ・消防隊と救急隊の連携による活動開始 (PA連携出動)				
	3	・旧古川市, 旧松山町, 旧三本木町, 旧鹿島台町, 旧岩出山町, 旧鳴子町, 旧田尻町が合併し, 大崎市が誕生した。1市4町の構成市町となる。 ・大崎市誕生に伴い涌谷消防署田尻出張所を古川消防署田尻出張所に再編				
	4	・3交替制の勤務体制の試行	5	・色麻町大新焼切地内山林にて林野火災 約56a焼失 (県防災ヘリ出動)	5	・インドネシア・ジャワ島中部地震及び津波発生 死者6,200名以上 負傷者1,800名以上
	7	・消防本部司令車を更新			6	・梅雨前線豪雨 死者30名, 行方不明2名 負傷者81名, 住家全半壊1,558棟
					9	・台風13号と豪雨による被害 死者9名, 行方不明1名 住家全半壊448棟
					11	・北海道佐呂間町にて竜巻発生 死者9名, 負傷者29名 住家全半壊14棟
19	2	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車を小型動力ポンプ付水槽車に更新			1	・北海道北見市にてガス漏れ事故発生 3名死亡, 付近住民77世帯178名に避難勧告 ・兵庫県宝塚市でカラオケボックス火災 死者3名, 負傷者5名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等	
平成19	3	<ul style="list-style-type: none"> 救急普及啓発広報車配備 (財団法人救急振興財団・財団法人日本宝くじ協会寄贈) 中新田消防署高規格救急車更新 (国庫補助事業) 	3	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市鳴子で4棟を焼損する火災が発生 焼失面積1,520.79㎡ 	3	<ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震発生 マグニチュード6.9震度6強 死者1名 負傷者193名 住家全壊68棟 住家半壊164棟 	
	4	<ul style="list-style-type: none"> 指揮体制の効率的運用のため、消防本部指令課及び鳴子消防署に指揮隊を再編 	4	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市田尻大沢地内山林にて林野火災 約40a焼失 (県防災ヘリ出動) 	7	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県中越沖地震発生 マグニチュード6.8震度6強 死者15名 負傷者2,345名 住家全壊1,319棟 住家半壊4,764棟 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署・涌谷消防署の指揮車を更新 	6	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市鳴子温泉鬼首地区にてパラグライダー墜落事故 防災ヘリにより吊り上げ救出 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署高規格救急車更新 (国庫補助事業) 	10	<ul style="list-style-type: none"> 加美町字鹿原地内にて山岳遭難、防災ヘリによる救出 			
			12	<ul style="list-style-type: none"> 加美町宮崎地区で4棟を焼損する火災が発生 死者5名 焼損面積335.72㎡ 			
	20	1	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新 (市町村振興総合補助事業) 			6	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年岩手・宮城内陸地震発生 マグニチュード7.2震度6強 死者9名、行方不明者8名 負傷者180名 住家全壊・大規模半壊43棟 住家半壊112棟
		4	<ul style="list-style-type: none"> 第2代消防長に野田正志氏就任 3交替制の勤務体制の本実施 機構改革に伴う組織の改編を実施 				
		7	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署・涌谷消防署の指揮車を更新 	7	<ul style="list-style-type: none"> (株)東北イノアック第二工場火災 (建材製造課B棟) 焼損面積2,520.84㎡ 負傷者1名 損害額1億7,272万円 		
	21	1	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署高規格救急車更新 (施設整備事業) 中新田消防署小野田出張所の救急車を高規格救急車へ更新 (防災基盤整備事業) 				
		2	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新 (施設整備事業・市町村振興総合補助事業) 				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成21	4	・第3代消防長に坂野裕悦氏就任			5	・新型インフルエンザ(A/H1N1)流行 5月に小規模な地域的流行を認めたのち、約3ヶ月の小康状態を経て、8月中旬より半年以上をかけて流行	
	7	・中新田査察車を更新					
	22	1	・三本木救急車及び田尻救急車を高規格救急車に更新(防災基盤整備事業)	6	・大崎市古川千手寺町地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼4棟 焼損延面積285.93㎡ 部分焼・ぼや3棟 焼損表面積99.06㎡	3	・北海道札幌市北区でグループホーム火災 死者7名、負傷者2名
		7	・涌谷消防署、小牛田分署及び南郷派出所を統合し「遠田消防署」を開設(7/1)				
23	12	・遠田査察車を更新	10	・大崎市鳴子温泉鬼首地区(鬼首地熱発電所)で火山性ガス噴出発生 死者1名			
		・鹿島台救急車を高規格救急車に更新(日本損害保険協会より寄贈)					
	1	・岩出山救急車を高規格救急車に更新(防災基盤整備事業)	3	・【東日本大震災】平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震発生(3/11 14:46) (大崎管内の状況) 管内最大震度6強 死者6名 負傷者378名 住家全壊852棟、半壊3,647棟 ※大崎消防本部取りまとめ(平成23年12月26日現在)	3	・【東日本大震災】平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震発生(3/11 14:46) マグニチュード9 震度7 死者19,630名 行方不明者2,569名 負傷者6,230名 住家全壊121,781棟、半壊280,962棟、火災330件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ(平成30年3月1日現在)	
		・遠田消防署に10t水槽車を配備					
4	・第4代消防長に角田正一氏就任 ・中新田消防署及び色麻派出所を統合し「加美消防署」を開設(4/26)						
24	8	・田尻連絡車、古川査察車、鳴子査察車を更新			8	・静岡県浜松市天竜川で遊覧船転覆事故 死者5名、負傷者5名	
	12	・古川救急1号車を更新(施設整備事業)					
	4	・古川消防署鹿島台分署及び松山派出所を統合し「古川消防署志田分署」を開設(4/27)			5	・広島県福山市でホテル火災 死者7名、負傷者3名	
					9	・兵庫県姫路市で製造所爆発火災 死者1名(消防吏員) 負傷者36名	

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等
平成24	11	・古川救急2号車を更新（施設整備事業）			12	・山梨県中央自動車道笹子トンネル崩落事故 死者9名，負傷者2名
25	2	・鳴子消防署岩出山分署新庁舎を開設（2/14） ・田尻ポンプ車を更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業） ・遠田連絡車，小野田連絡車を更新			2	・長崎県長崎市でグループホーム火災 死者5名，負傷者7名
	3	・遠田救急1号車を更新（JA共済連より寄贈） ・尾花沢市消防本部と消防相互応援協定締結				
	4	・第5代消防長に北館善裕氏就任 ・消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備（平成23年度消防防災施設・設備災害復旧費補助事業）				
	7	・消防本部連絡車を更新			8	・京都府福知山市で花火大会火災 死者3名，負傷者56名
	10	・古川連絡車，志田連絡車，岩出山連絡車を更新			10	・福岡県福岡市で整形外科火災 死者10名，負傷者5名
					12	・千葉県野田市で廃油再生工場爆発火災 死者2名，負傷者15名
26	2	・加美消防署小野田出張所及び宮崎派出所を統合し「加美消防署西部分署」を開設（2/21） ・加美消防署西部分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債及び市町村振興総合補助事業）			1	・三重県四日市市で工場爆発事故 死者5名，負傷者13名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成26	12	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車を更新（緊急防災・減災事業債）	4	<ul style="list-style-type: none"> ・加美町字下原地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積497㎡ 部分焼2棟 焼損表面積48㎡ ・加美町字北原地区で8棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積280㎡ 部分焼3棟 焼損表面積2㎡ ・大崎市田尻蕪栗地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積652㎡ 部分焼1棟 焼損表面積64㎡ 	8	・8月豪雨による広島市の土砂災害 死者74名（内消防吏員1名） 負傷者69名
			9	・御嶽山噴火災害 死者57名，負傷者69名	11	・長野県北部を震源とする地震 マグニチュード6.7 震度6弱 死者なし，負傷者46名 住家全壊50棟，半壊91棟
27	2	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署田尻出張所を分署に格上げし「古川消防署田尻分署」を開設（2/17） ・古川消防署田尻分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債） 	1	・大崎市田尻北小牛田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟 焼損延面積649㎡	5	・川崎市簡易宿泊所火災 死者10名，負傷者18名
			4	・第6代消防長に大久保記一朗氏就任		
28	2	・古川化学消防ポンプ車を更新（施設整備事業）	7	・田尻連絡車を緊急車登録車両に更新	9	・平成27年9月関東・東北豪雨 平成27年9月9日から11日に関東及び東北地方で発生した豪雨災害 死者8名，負傷者80名
			9	<ul style="list-style-type: none"> ・【平成27年9月関東・東北豪雨】〈大崎管内の状況〉 負傷者1名 床上・床下浸水784棟 救助事案16件 その他災害事案36件 合計249名救出 	10	・広島市飲食店火災 死者3名，負傷者3名
			2	・加美町宮崎で4棟を焼損する火災が発生 全焼2棟，部分焼2棟 焼損延面積578㎡		

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等				
平成28	8	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急消防援助隊宮城県大隊として初めて出動（平成28年台風第10号 岩手県下閉伊郡岩泉町） ・加美消防署高規格救急自動車を更新（緊急防災・減災事業債） ・三本木出張所消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業） 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・東北自動車道3箇所同時発生玉突き事故(栗原市高清水地内，大崎消防管轄区域) 負傷者14名，破損車両15台 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年熊本地震 マグニチュード7.3 震度7 死者267名 負傷者2,804名 住家全壊8,673棟 半壊34,726棟 火災15件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成30年4月13日現在） 				
					8	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年台風第10号 東北地方の太平洋側に初めて上陸した台風。1時間に80mmの猛烈な大雨，最大瞬間風速37.7mの暴風により，岩泉町の高齢者福祉施設の入所者が濁流に巻き込まれるなど，死者23名，行方不明者4名，負傷者14名，住家全壊513棟，半壊2,280棟。 				
					12	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県 糸魚川市大規模火災 糸魚川駅北側に位置する中華料理店にて，大型こんろの消し忘れにより発生した火災が，強い南風により日本海方向に延焼し，負傷者17名，焼損棟数147棟。 				
					2	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県三芳町倉庫火災 アスクルの大規模倉庫で発生した火災により，負傷者2名，焼損床面積45,000㎡，鎮火まで12日間を要した。 				
					8	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県横手市共同住宅火災 死者5名，負傷者10名 				
					12	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府豊中市共同住宅火災 死者5名，負傷者1名 ・さいたま市特殊浴場火災 死者4名，負傷者8名 				
					4	<ul style="list-style-type: none"> ・三本木出張所の救急隊を専従化し消防体制を強化 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・加美町字西田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼2棟，半焼2棟，部分焼1棟，ぼや1棟 死者1名 負傷者2名 焼損延面積213㎡ 焼損表面積34㎡ 		
					11	<ul style="list-style-type: none"> ・硬質ウレタンボートを古川消防署に配備（浜口ウレタン(株)及び(株)タガ・アートより寄贈） 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎市岩出山で9棟を焼損する火災が発生 全焼3棟，部分焼5棟，ぼや1棟 焼損延べ面積263㎡ 		
					12	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子消防署高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金） 				
					29					

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等			
平成30	3	<ul style="list-style-type: none"> 志田分署水槽付消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業、市町村振興総合補助事業） 	1	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市鹿島台で3棟を焼損する火災が発生 全焼1棟、部分焼1棟、ぼや1棟 焼損延面積625㎡ 焼損表面積46㎡ 	1	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市下宿火災 死者11名、負傷者3名 			
			5	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市岩出山で11棟を焼損する火災が発生 全焼5棟、半焼1棟、部分焼4棟、ぼや1棟 焼損延面積635㎡ 焼損表面積46㎡ 	6	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府北部を震源とする地震 マグニチュード6.1（暫定値） 震度6弱 死者6名、負傷者462名 住家被害57,348棟、火災7件（平成31年2月12日13時現在） 			
			7	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年7月豪雨 西日本を中心に全国的に広い範囲で長期間にわたる記録的大雨。 死者237名、行方不明者8名、負傷者466名、住宅全壊6,767棟、半壊11,248棟 	7	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年7月豪雨 西日本を中心に全国的に広い範囲で長期間にわたる記録的大雨。 死者237名、行方不明者8名、負傷者466名、住宅全壊6,767棟、半壊11,248棟 			
			8	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県消防防災ヘリコプター墜落事故 死者9名 	8	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県消防防災ヘリコプター墜落事故 死者9名 			
			9	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊宮城県大隊として出動（平成30年北海道胆振東部地震 北海道勇払郡厚真町） 	9	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年北海道胆振東部地震 マグニチュード6.7 震度7 死者42名、負傷者762名 住宅全壊462棟 半壊1,570棟 （平成31年1月28日14時30分現在） 			
			10	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市古川稲葉地区で放火と疑われる火災が多発 	10	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市古川稲葉地区で放火と疑われる火災が多発 			
			11	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷町小塚地区で5棟を焼損する火災が発生 全焼3棟、半焼1棟 焼損延面積578㎡ 	11	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷町小塚地区で5棟を焼損する火災が発生 全焼3棟、半焼1棟 焼損延面積578㎡ 			
			12	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市爆発火災 負傷者52名 	12	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市爆発火災 負傷者52名 			
			平成31	3	<ul style="list-style-type: none"> 拠点機能形成車を総務省消防庁から無償貸与（4/1より運用開始） 	3	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市岩出山で大規模林野火災が発生 建物 全焼1棟 半焼1棟 部分焼1棟 林野 3.64ha 		
						4	<ul style="list-style-type: none"> 第7代消防長に佐藤光弘氏就任 新大崎地域広域行政事務組合本庁舎を開設（4/1） 機構改革に伴う組織の改編を実施 NET119緊急通報システム導入 多言語通訳導入（三者間通話） 		

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
令和元					7	・京都市伏見区爆発火災 株式会社京都アニメーションで発生した火災により、死者36名、負傷者34名
	11	・遠田消防署高規格救急自動車（遠田救急2）を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金）	10	・【令和元年東日本台風】 〈大崎管内の状況〉 負傷者2名 床上・床下浸水243世帯 合計120名救出	10	・【令和元年東日本台風】 令和元年10月12日に上陸した台風第19号により関東・甲信・東北地方で大規模被害が発生 死者104名、行方不明者3名、負傷者384名 住家全壊 3,308棟 半壊 30,024棟 (令和2年4月10日9時現在) 宮城県広域消防相互応援派遣として大崎消防本部から延べ14隊48名出動
	12	・西部分署高規格救急自動車を更新(施設整備事業)	12	・大崎市岩出山で5棟を焼損する火災発生 全焼3棟 部分焼2棟		
令和2	2	・大崎消防本部新型コロナウイルス感染症対策本部設置			1	・新型コロナウイルス感染症 令和2年1月14日、国内で初の感染者発生 ・首里城跡火災 世界遺産 首里城の正殿を含む9棟が全焼
	3	・岩出山分署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業、市町村振興総合補助事業） ・古川消防署救助工作車を更新（緊急防災・減災事業） ・中型水陸両用車及び搬送車を総務省消防庁から無償貸与（6/1より運用開始）	3	・新型コロナウイルス感染症 令和2年3月30日、大崎管内で初の感染者発生	2	・新型コロナウイルス感染症 令和2年2月29日、宮城県内で初の感染者発生
	6	・鳴子消防署車庫を開設（緊急防災・減災事業） ・無人航空機（ドローン）運用開始			4	・岩沼市倉庫火災 プロロジスパーク岩沼1で火災が発生し鎮火まで6日を要した。(宮城県広域 消防相互応援派遣として 大崎消防本部から延べ5隊18名出動) 延床面積43,836㎡
	10	・令和2年10月3日、令和2年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が大崎市を会場に開催			7	・静岡県吉田町 大規模倉庫火災 消防職員3名殉職 ・福島県郡山市 爆発火災 死者1名、負傷者19名
	12	・志田分署高規格救急自動車を更新(施設整備事業)				
	令和3		1	・東北自動車道多重衝突事故 (1/19 11:50頃) 関係車両141台 死者1名、負傷者18名 「東北自動車道宮城県相互応援協定」「宮城県広域消防相互応援協定」に基づく応援要請（10隊35名）		

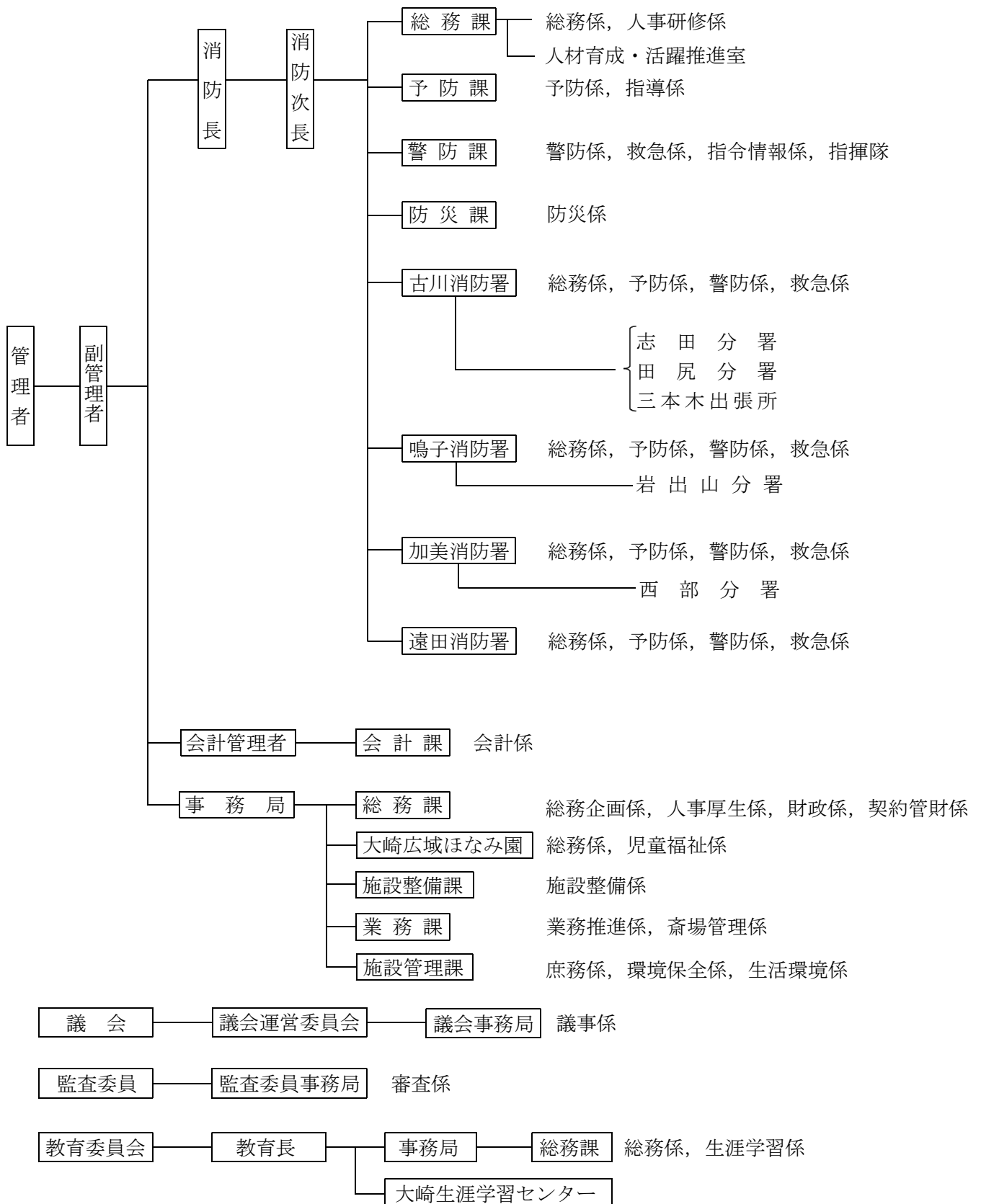
年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
令和3	3	・西部分署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）			2	・福島県沖を震源とする地震（2/13 23:07） マグニチュード7.3 震度6強 死者1名 負傷者186名 住家全壊69棟，半壊729棟， 火災2件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（令和3年3月29日現在）
	4	・古川消防署はしご車を更新（緊急防災・減災事業） ・第8代消防長に小山年秋氏就任				・令和2年12月愛知県名古屋市 令和3年 1月東京都港区 令和3年 4月東京都新宿区 二酸化炭素消火設備の誤放出による事案が多発 死傷者18名
	7	・東京2020オリンピック競技大会宮城スタジアム開催消防特別警戒				
	12	・古川消防署及び田尻分署高規格救急自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）			12	・大阪府大阪市北区ビル火災 死者28名
令和4	1	・加美消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新（緊急防災・減災事業）	1	・ラサ工業（株）三本木工場製造所爆発火災 重傷者1名，軽傷者1名	2	・新潟県村上市 工場火災 死者6名，負傷者1名
	4	・第9代消防長に櫻井俊文氏就任			3	・福島県沖を震源とする地震（3/16 23:36） マグニチュード7.4 震度6強 死者4名，負傷者252名， 住家全壊224棟，半壊4,630棟， 火災11件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（令和5年3月24日現在）
令和5	5	・令和4年度北上川下流及び江合川・鳴瀬川総合水防演習が大崎市を会場に開催	7	・7月14日からの大雨（大崎管内の状況） 半壊188棟 床上・床下浸水766棟		
	12	・古川消防署及び遠田消防署高規格救急自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）	1	・大崎市岩出山で5棟を焼損する火災発生 全焼5棟 部分焼6棟 死者1名 負傷者2名	1	・兵庫県神戸市 共同住宅火災 死者4名，負傷者4名
	3	・古川消防署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）			5	・新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類へ移行。 国内の死者74,694名 国内感染者33,803,572名 （令和5年5月9日現在）
	4	・志田分署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）				
	5	・大崎消防本部新型コロナウイルス感染症対策本部廃止				

大崎地域広域行政事務組合構成市町の面積・世帯・人口

(令和5年4月1日現在)

市 町		区 別	面 積 (km ²)	世帯数	人 口 (人)
大 崎 市			796.81	52,836	124,776
加美郡	色 麻 町		109.28	2,098	6,357
	加 美 町		460.67	8,232	21,629
	小 計		569.95	10,330	27,986
遠田郡	涌 谷 町		82.16	6,009	14,851
	美 里 町		74.99	9,300	23,386
	小 計		157.15	15,309	38,237
合 計			1,523.91	78,475	190,999

大崎地域広域行政事務組合機構図



消防本部事務分掌

総務課

総務係

- 1 業務の総合企画，調整及び連絡に関する事。
- 2 条例，規則及び訓令の制定改廃に関する事。
- 3 儀式，行事及び会議に関する事。
- 4 予算及び決算に関する事。
- 5 公印の管理に関する事。
- 6 財産の取得，維持管理及び契約に関する事。
- 7 給与品，貸与品の支給及び保管に関する事。
- 8 庁用物品の調達，検収及び処分に関する事。
- 9 事務改善に関する事。
- 10 消防概況に関する事。
- 11 他の課の所管に属さない事項に関する事。

人事研修係

- 1 職員の任免，分限，懲戒，服務及び賞罰その他身分に関する事。
- 2 職員の給与，勤務時間及び勤務条件に関する事。
- 3 職員の定数及び配置に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- 5 職員の公務災害補償に関する事。
- 6 職員の研修に関する事。
- 7 職員の人事評価に関する事。
- 8 表彰に関する事。

警防課

警防係

- 1 災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 2 消防戦術の研究指導に関する事。
- 3 消防水利に関する事。
- 4 消防隊の運用に関する事。
- 5 救助隊の運用に関する事。
- 6 緊急消防援助隊の出動及び隊の運用に関する事。
- 7 消防相互応援及び広域応援の出動及び隊の運用に関する事。
- 8 火災原因及び損害の調査並びに災証明等に関する事。
- 9 航空消防に関する事。
- 10 消防機械器具及び消防用車両の管理に関する事。
- 11 消防機械器具及び消防用車両の配置計画に関する事。
- 12 警防及び救助装備の調達，検収及び処分に関する事。
- 13 その他警防に関する事。

救急係

- 1 救急隊の運用に関する事。
- 2 救急対策に関する事。
- 3 救急技術に関する事。
- 4 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 5 民間による患者等搬送事業に関する事。
- 6 応急手当普及啓発に関する事。
- 7 救急資器材の管理に関する事。
- 8 救急資器材の配置計画に関する事。
- 9 救急装備の調達，検収及び処分に関する事。
- 10 その他救急に関する事。

指令情報係

- 1 消防通信設備等の総合企画，調整及び保守管理に関する事。
- 2 災害通報の受付及び出動指令に関する事。
- 3 災害通信の運用，統制及び非常時対策に関する事。
- 4 消防情報の収集，連絡及び伝達に関する事。
- 5 災害の統計に関する事。
- 6 気象観測及び記録に関する事。
- 7 消防OAの運用及び維持管理に関する事。
- 8 その他指令情報に関する事。

予防課

予 防 係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 防火管理者及び防災管理者に関すること。
- 3 火災予防条例に関すること。
- 4 液化石油ガス等に関すること。
(権限移譲事務を含む。)
- 5 火薬類取締法に関すること。
(権限移譲事務に限る。)
- 6 予防広報に関すること。
- 7 その他火災予防対策に関すること。

指 導 係

- 1 消防用設備等の規制に関すること。
- 2 建築物の建築確認に関すること。
- 3 予防査察に関すること。
- 4 危険物に係る事故調査に関すること。
- 5 違反処理における行政指導に関すること。
- 6 民間防火組織の育成に関すること。
- 7 その他防火思想の普及に関すること。

防災課

防 災 係

- 1 消防団との連携に関すること。
- 2 消防本部と市町間の危機管理等の調整に関する
こと。
- 3 国民保護に関すること。
- 4 危機管理事案の調査研究に関すること。
- 5 職員に対する危機管理に関すること。
- 6 消防協会の事務に関すること。
- 7 消防本部災害対応と市町の地域防災計画との調整
に関すること。
- 8 緊急消防援助隊の応援・受援計画及び調整に関す
ること。
- 9 消防相互応援協定の計画及び調整に関すること。
- 10 構成市町災害対策本部との調整に関すること。
- 11 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 12 その他危機対策及び防災に関すること。

消防署事務分掌

総務係

- 1 署の運営に関する事。
- 2 文書の収受発送に関する事。
- 3 署員の配置，進退，賞罰及び身分に関する事。
- 4 署内における各種会議に関する事。
- 5 統計に関する事。
- 6 署員の福利厚生に関する事。
- 7 署員の研修に関する事。
- 8 署員の勤務，服務に関する事。
- 9 経理に関する事。
- 10 物品の出納保管に関する事。
- 11 消防庁舎の維持管理に関する事。
- 12 他の係の分掌に属さない事項

予防係

- 1 危険物の規制に関する事。
- 2 消防用設備等の規制に関する事。
- 3 建築物の建築確認に関する事。
- 4 火災予防条例に関する事。
- 5 液化石油ガス等に関する事。
(権限移譲事務を含む。)
- 6 火薬類取締法に関する事。
(権限移譲事務に限る。)
- 7 予防査察に関する事。
- 8 違反処理における行政指導に関する事。
- 9 危険物に係る事故調査に関する事。
- 10 防火防災管理及び危険物の取扱に関する事。
- 11 民間防火組織の育成指導に関する事。
- 12 その他火災予防の計画，指導及び取締り等に関する事。

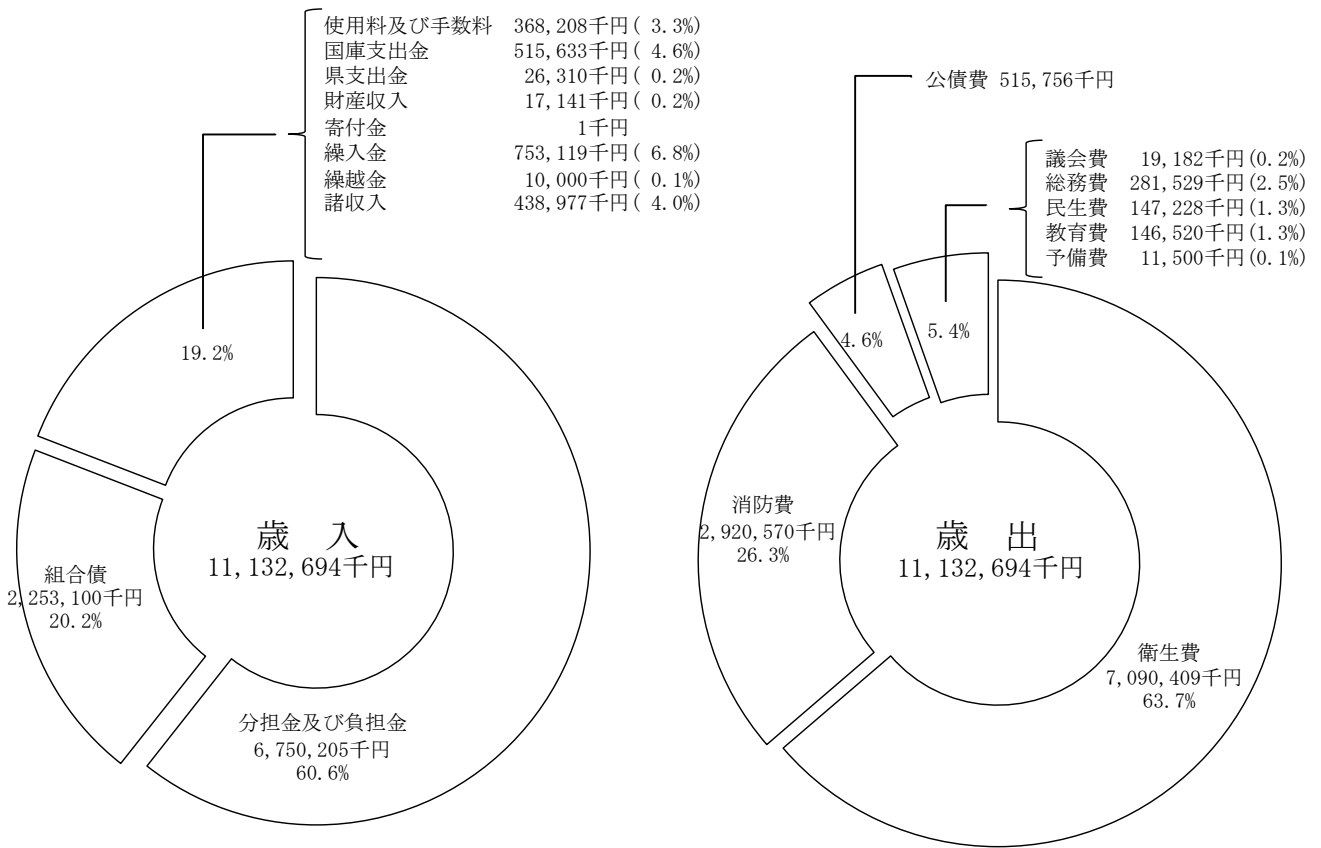
警防係

- 1 火災等の警防及び対策に関する事。
- 2 消防水利に関する事。
- 3 消防通信に関する事。
- 4 消防演習計画に関する事。
- 5 自衛消防隊に関する事。
- 6 避難訓練等の指導に関する事。
- 7 消防機械器具の維持管理に関する事。
- 8 火災原因及び損害調査に関する事。
- 9 火災証明等に関する事。
- 10 火災統計に関する事。
- 11 消防団との連携に関する事。
- 12 自主防災組織の育成強化に関する事。
- 13 救助業務に関する事。
- 14 その他警防及び機械に関する事。

救急係

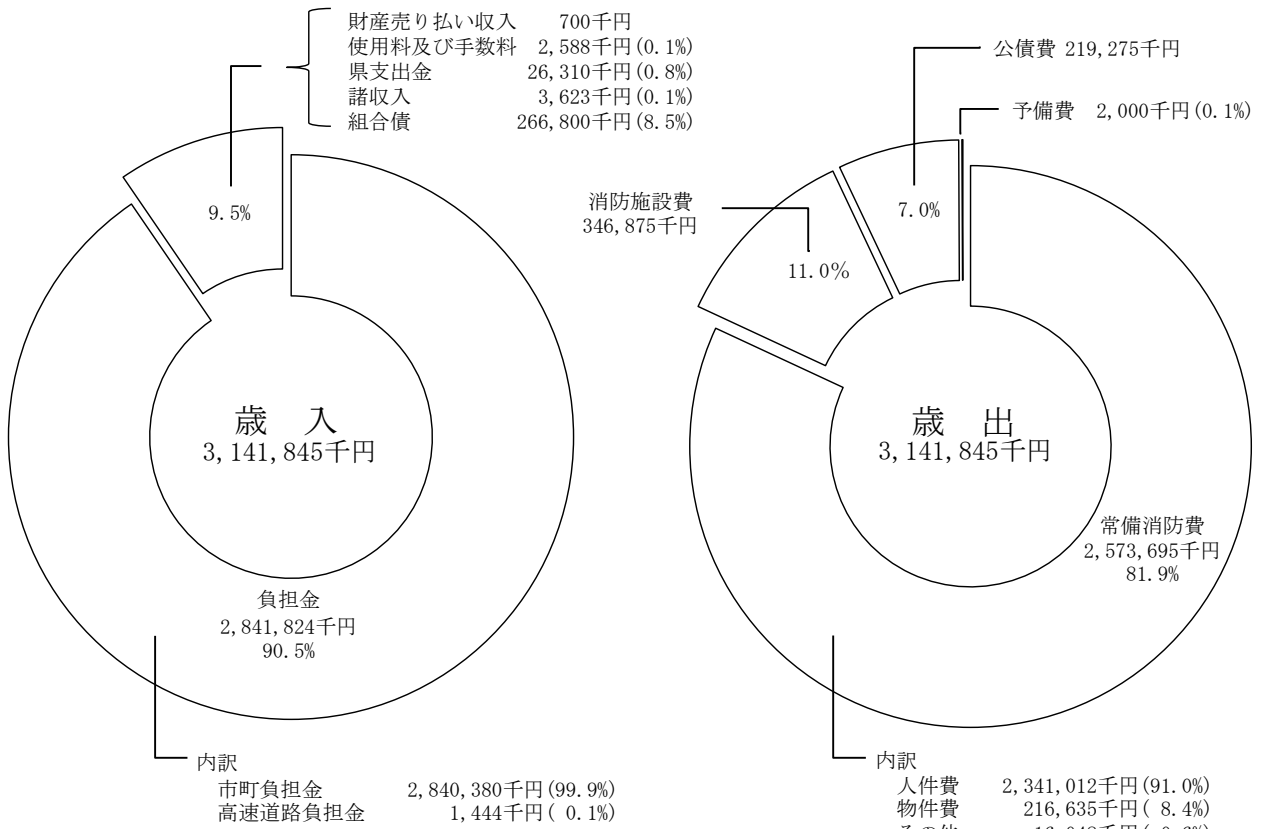
- 1 救急対策に関する事。
- 2 救急技術の訓練指導に関する事。
- 3 救急資器材の管理に関する事。
- 4 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 5 民間による患者等搬送事業に関する事。
- 6 救急統計に関する事。
- 7 その他救急に関する事。

令和5年度 大崎地域広域行政事務組合一般会計予算概要



令和5年度 消防費当初予算

※この消防費には、消防事業分の公債費、予備費を含む。



施設（消防庁舎等）の現況

令和5年4月1日現在

区分	所在地	建物区分	構造	階数	面積		敷地面積 ㎡	設置 年度
					建築面積 ㎡	延面積 ㎡		
消防本部 古川消防署	大崎市古川 千手寺町二丁目5-20	庁舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨	5	1,107.89	4,786.05	11,984.68	H31
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	4	74.32	227.82		H31
		副訓練塔	鉄筋コンクリート	3	128.17	268.32		H31
		車庫兼 防災倉庫	鉄骨	1	492.80	492.80		H31
		計			1,803.18	5,774.99		
古川消防署 志田分署	大崎市鹿島台 木間塚字小谷地269-1	庁舎	鉄骨	2	526.67	672.32	1,726.17	H24
古川消防署 田尻分署	大崎市田尻 沼部字新堀137-2	庁舎	鉄骨	1	640.39	626.36	1,611.87	H26
古川消防署 三本木出張所	大崎市三本木 字廻山65	庁舎	鉄骨・モルタル	1	231.52	231.52	3,249.67	H14
鳴子消防署	大崎市鳴子温泉 字馬場70-2	庁舎	鉄筋コンクリート	2	563.04	725.76	2,726.36	H2
		訓練塔	鉄骨	2	33.07	54.08		H2
		車庫	鉄骨	1	151.90	151.90		R2
		計			748.01	931.74		
鳴子消防署 岩出山分署	大崎市岩出山 上野目字街道下12-3	庁舎	鉄骨	2	520.05	653.23	2,203.33	H24
		除雪車車庫	鉄骨	1	16.34	16.34		H25
		計			536.39	669.57		
加美消防署	加美郡加美町 字新川原106	庁舎	鉄骨	2	738.18	1,123.01	9,136.03	H23
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	3	123.25	341.19		H23
		副訓練塔	鉄骨	2	75.58	120.00		H23
		駐輪場	鉄骨	1	11.52	11.52		H23
		計			948.53	1,595.72		
加美消防署 西部分署	加美郡加美町 字原町南百ヶ清水30-7	庁舎	鉄骨	2	462.53	658.96	1,942.93	H25
		除雪車車庫	鉄骨	1	16.48	16.48		H25
		計			479.01	675.44		
遠田消防署	遠田郡涌谷町 字関谷沖名303-1	庁舎	鉄骨	2	919.48	1,410.33	7,259.78	H22
		訓練塔A	鉄筋コンクリート	3	50.20	150.00		H22
		訓練塔B	鉄骨	5	69.27	216.40		H22
		訓練塔C	鉄骨	3	183.79	414.85		H22
		駐輪場	その他	1	11.34	11.34		H22
		計			1,234.08	2,202.92		
岩渕基地局	大崎市鳴子温泉 字岩渕8, 字大畑37の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	162.41	H24
鬼首基地局	大崎市鳴子温泉 鬼首字八幡原34-1の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
薬菜基地局	加美郡加美町 字味ヶ袋薬菜原1-79の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
籠岳基地局	遠田郡涌谷町 籠岳字神楽岡51-2の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	150.01	H24

消防力の整備指針と現有消防力

令和5年4月1日現在

区 分		基 準	現 有	過不足数	充 足 率
署 所 の 数		9	9	0	100.0%
車 両	指 揮 車	5	5	0	100.0%
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	16	16	0	100.0%
	は し ご 車	2	2	0	100.0%
	化 学 消 防 車	1	1	0	100.0%
	救 急 自 動 車	11	12	1	109.1%
	救 助 工 作 車	1	1	0	100.0%
	非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	0	100.0%
	非 常 用 救 急 自 動 車	2	2	0	100.0%
	特 殊 車 等	/	15	15	/
	計	40	56	16	/
人 員	警 防 要 員	319	260	△ 59	81.5%
	予 防 要 員	24	15	△ 9	62.5%
	通 信 要 員	12	12	0	100.0%
	庶 務 の 要 員	44	39	△ 5	88.6%
	計	399	326	△ 73	81.7%

※基準については、令和4年度消防施設整備計画実態調査に基づき算出したものである。

※特殊車等の内訳は、搬送車2台、大型水槽車3台、支援車8台、拠点機能形成車、水陸両用車である。

※警防要員の基準は、消防隊員、救急隊員、救助隊員、指揮隊員数の合計である。

※庶務の要員は、管理職、本部及び各署日勤（予防要員除く）、派遣・出向職員数である。

所属別配置状況

令和5年4月1日現在

		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	計	毎日勤務	交代制勤務
消防本部	消防長	1									1	1	
	次長		1								1	1	
	総務課			3	1	2					6	6	
	(派遣)					4					4	4	
	予防課			2	1		1				4	4	
	警防課		1	2	1	3	2				9	9	
	(通信指令センター)				3	6	3				12		12
	(指揮隊)				3	3	3				9		9
	(派遣)						1				1	1	
	防災課			2	1						3	3	
小 計		1	2	9	10	18	10	0	0	0	50	29	21
古川消防署			1	1	7	14	17		17		57	10	47
志田分署				1	3	4	6		6		20	2	18
田尻分署				1	2	4	6		6		19	1	18
三本木出張所				1	1	8	6		3		19	1	18
小 計		0	1	4	13	30	35	0	32	0	115	14	101
鳴子消防署				2	10	7	8		10		37	4	33
岩出山分署				1	2	5	6		6		20	2	18
小 計		0	0	3	12	12	14	0	16	0	57	6	51
加美消防署				2	7	7	11		13		40	4	36
西部分署				1	2	5	7		5		20	2	18
小 計		0	0	3	9	12	18	0	18	0	60	6	54
遠田消防署				2	6	10	12		14		44	4	40
小 計		0	0	2	6	10	12	0	14	0	44	4	40
合 計		1	3	21	50	82	89	0	80	0	326	59	267
備 考		1 派遣職員5名の内訳は、総務省1名、宮城県消防学校1名、宮城県1名、防災ヘリ1名、大崎市1名である。 (総務課4名・警防課1名) 2 新規採用職員8名 内訳は、古川・加美各3名・遠田2名である。											

年齢別構成表（令和5年4月1日）

退職年※	年齢	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
R 5年度	60	1								1
R 6年度	59			1	2					3
R 8年度	58		1	3		2				6
R10年度	57		1	1						2
R12年度	56			2						2
R14年度	55			2	2					4
R15年度	54		1	4						5
R16年度	53			2	1					3
R17年度	52			2	2					4
R18年度	51				2					2
R19年度	50				2					2
R20年度	49			1	6	6				13
R21年度	48			2	2	4				8
R22年度	47			1	5	7	1			14
R23年度	46				4	4				8
R24年度	45				4	1	1			6
R25年度	44				4	4	2			10
R26年度	43				8	1	1			10
R27年度	42				2	4	1			7
R28年度	41				2	3	1			6
R29年度	40				1	5	3			9
R30年度	39				1	7	2			10
R31年度	38					7	3			10
R32年度	37					6	4			10
R33年度	36					7	1			8
R34年度	35					2	8			10
R35年度	34					1	11	1		13
R36年度	33					2	8	2		12
R37年度	32					2	5	1		8
R38年度	31					1	13	3		17
R39年度	30						8	3		11
R40年度	29						3	2		5
R41年度	28						6	5		11
R42年度	27						5	7		12
R43年度	26						1	10		11
R44年度	25							4		4
R45年度	24							6		6
R46年度	23							11		11
R47年度	22							8		8
R48年度	21							8		8
R49年度	20							6		6
R50年度	19							1		1
R51年度	18							2		2
再任用						6	1			7
総計		1	3	21	50	82	89	0	80	326



※退職年は、段階的定年引上げ（65歳）を反映させたものである。

勤続年数別構成表（令和5年4月1日）

勤続年数	採用年度	採用人数	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	職員数
0	R5	8								8	8
1	R4	11								11	11
2	R3	9								9	9
3	R2	12								10	10
4	R元	10								9	9
5	H30	8								8	8
6	H29	11						1		8	9
7	H28	10						2		7	9
8	H27	15						8		4	12
9	H26	15						10		3	13
10	H25	17						11		1	12
11	H24	14					2	9		2	13
12	H23	16					1	12			13
13	H22	13					6	6			12
14	H21	11					4	6			10
15	H20	12					7	5			12
16	H19	9					4	5			9
17	H18	10				1	4	2			7
18	H17	8					5	2			7
19	H16	9				2	5	2			9
20	H15	9				2	6	1			9
21	H14	11				5	4	2			11
22	H13	0									0
23	H12	5			1	2	2				5
24	H11	8				4	1				5
25	H10	11				5	2	1			8
26	H9	10			2	3	4	1			10
27	H8	8				6		1			7
28	H7	12				6	4				10
29	H6	11			2		7	1			10
30	H5	8				2	4				6
31	H4	8				6	2				8
32	H3	0									0
33	H2	0									0
34	H元	3			2	1					3
35	S63	5			3	1					4
36	S62	7		1	4	1					6
37	S61	6			3	1					4
38	S60	0									0
39	S59	2		1	1						2
40	S58	10		1	3		2				6
41	S57	8				2					2
42	S56	7	1								1
再任用							6	1			7
総計			1	3	21	50	82	89	0	80	326

警

防



建物火災における消火活動

災害出動計画基準表

災害種別(火災)

令和5年4月1日現在

区分		出動計画	出動区分・車両数			摘要
			車両	第1出動	第2出動	
建 物	普通建物 (中高層及び大規模 建物以外の建物)	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		救急車	1	1		
		計	8 (9)	3	2	
	中高層建物 (3階以上の建物)	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		はしご車	1	1		
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
	計	12 (13)	5	3		
	大規模建物 (建物延べ面積1,000㎡ 以上の建物)	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
工作車			1			
救急車		2	1	1		
計		11 (12)	4	3		
林 野		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		計	7 (8)	2	2	
車 両		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2	
		水槽車	1			
		救急車	1	2	2	
		化学車	危険物関係車両火災時特命出動			
		計	6 (8)	4	4	
危険物施設等 (特殊災害)		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		化学車	1			
		工作車		1		
		救急車	2	2	2	
		計	12 (13)	5	4	
そ の 他		指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2	
		水槽車	1			
		計	5 (7)	2	2	

災害種別(救急)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
救急	救急車	1	1		同一救急に3隊以上の出動は消防長特命出動とする。
	計	1	1		

災害種別(救急救助)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
救急救助	指揮車	1 (2)			
	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		
	工作車	1	1	1	
	救急車	1	2	3	
	計	4 (6)	4	4	

災害種別(その他)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
その他災害	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		
	計	1 (2)	1		
地震災害	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		大消ポンプ車及び大消救急車の特命出動
	工作車	1	(1)		
	救急車		1		
	計	2 (3)	2 (3)		

※ 第1出動, 第2出動の()書きは, 出動指令時の災害発生場所又は災害状況に応じた増隊等後の車両数

非 常 配 備 体 制

令和5年4月1日現在

種 別 課・署所別		規程第16条の非常配備基準		
		第1次非常配備	第2次非常配備	第3次非常配備
		発令基準		
		<ul style="list-style-type: none"> ・震度5弱 ・施設敷地緊急事態（原子力） ・警防活動強化体制又は危機管理対策本部体制（国民保護） ・その他消防長又は署長が非常配備体制を必要と認める事態が生じたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・震度5強 ・非常災害発生 ・全面緊急事態（原子力） ・準国民保護対策本部体制（国民保護） ・その他消防長又は署長が非常配備体制を必要と認める事態が生じたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・震度6弱以上 ・国民保護対策本部体制（国民保護） ・その他消防長が非常配備体制を必要と認める事態が生じたとき
消 防 本 部	総務課	2名	2名	全職員
	予防課	2名	2名	全職員
	警防課 ⑦	9名(+2名)	14名(+7名)	全職員
	防災課	1名	2名(+1名)	全職員
古川消防署		42名	55名	全職員
内 訳	古川消防署 ⑫	18名(+6名)	23名(+11名)	全職員
	志田分署 ⑤	9名(+4名)	12名(+7名)	全職員
	田尻分署 ⑤	9名(+4名)	12名(+7名)	全職員
	三本木出張所 ⑤	6名(+1名)	8名(+3名)	全職員
鳴子消防署		20名	29名	全職員
内 訳	鳴子消防署 ⑩	11名(+1名)	17名(+7名)	全職員
	岩出山分署 ⑤	9名(+4名)	12名(+7名)	全職員
加美消防署		20名	28名	全職員
内 訳	加美消防署 ⑨	11名(+2名)	16名(+7名)	全職員
	西部分署 ⑤	9名(+4名)	12名(+7名)	全職員
遠田消防署 ⑪		14名(+3名)	19名(+8名)	全職員
体制		必要に応じて 部隊本部 大隊本部		部隊本部 大隊本部

※ ○内の数字は、通常時における最低勤務人員を示したもの。（ ）内の数字は、増強勤務人員を示したもの。

消防車両配置表

令和5年4月1日現在

種別 署所別	計	消防車両						救急車	その他の車両									
		大型水槽車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車		司令・指揮車	連絡車	査察車	広報車	救急広報車	搬送車	拠点機能形成車	中型水陸両用車	ポートトレーラー	ホイールローダー
消防本部	14(6)		1(1)	1(1)				3(3)	2(1)	2		2	1	1	1			
古川消防署	21	1	2	4	1	1	1	5	1	4	1							
古川消防署	10	1		1	1	1	1	2	1	1	1							
志田分署	4		1	1				1		1								
田尻分署	4		1	1				1		1								
三本木出張所	3			1				1		1								
鳴子消防署	14		2	2	1			2	1	1	1			1		1		2
鳴子消防署	9		1	1	1			1	1		1			1		1		1
岩出山分署	5		1	1				1		1								1
加美消防署	12	1	2	2				2	1	1	1							2
加美消防署	7	1	1	1				1	1		1							1
西部分署	5		1	1				1		1								1
遠田消防署	9	1	1	1				2	1	1	1							1
計	70(6)	3	8(1)	10(1)	2	1	1	14(3)	6(1)	9	4	2	1	2	1	1	1	4

※()内は非常用

所属名	登録年月	種別	車両性能等	積載無線局名
消防本部	平成12年11月	非常用ポンプ車	CD-I型ポンプ車	だいしょうぼんぷ1
〃	平成13年12月	非常用ポンプ車	水槽II型(2,000ℓ水槽付)	だいしょうぼんぷ2
〃	平成23年12月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう1
〃	平成22年 1月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう2
〃	平成24年11月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	
〃	平成19年 3月	非常用司令車	トヨタハイメディック仕様変更(ガソリン車)	
〃	平成18年 6月	司令車	SUVタイプ2,700cc(ガソリン車)	だいしょうしれい1
〃	平成17年 7月	広報車	バンタイプ2,000cc(ガソリン車)	
〃	平成19年 1月	救急啓発広報車	ニッサンシビルアン (救急振興財団寄贈)	
〃	平成10年 7月	資機材搬送車	トラックタイプ2t車	だいしょうはんそう1
〃	平成23年 8月	連絡車	軽乗用車	
〃	平成25年 3月	広報車	ステーションワゴン2,000cc(ガソリン車)	
〃	平成25年 7月	連絡車	プリウス(ハイブリット車)	
〃	平成31年 3月	拠点機能形成車	後方支援資機材積載 (総務省消防庁配備)	だいしょうきよてん1
古川消防署	平成18年 2月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	ふるかわすいそう1
〃	令和 5年 3月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	ふるかわぼんぷ1
〃	令和 3年 2月	はしご車	35m級(最大地上高36m)	ふるかわはしご1
〃	令和 2年 3月	救助工作車	III型(油圧ウインチ・照明装置付)	ふるかわきゅうじょ1
〃	平成28年 1月	化学車	II型 水槽1,500ℓ 薬槽500ℓ	ふるかわたんく1
〃	令和 3年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう1
〃	令和 4年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう2
〃	平成20年 6月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	ふるかわしき1
〃	平成25年10月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成23年 8月	査察車	軽ワゴン車	ふるかわささつ1
志田分署	平成30年 3月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	しだたんく1
〃	令和 5年 4月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	しだぼんぷ1
〃	令和 2年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	しだきゅうきゅう1
〃	平成25年 9月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	しだれんらく1
田尻分署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	たじりたんく1
〃	平成25年 2月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	たじりぼんぷ1
〃	令和 3年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	たじりきゅうきゅう1
〃	平成27年 7月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	たじりれんらく1
三本木出張所	平成28年12月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車(800ℓ水槽付)	さんぼんぎぼんぷ1
〃	平成22年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	さんぼんぎきゅうきゅう1
〃	平成23年 7月	連絡車	軽ワゴン車	

所属名	登録年月	種別	車両性能等	積載無線局名
鳴子消防署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	なるこたんく1
〃	平成17年 3月	救助ポンプ車	CD-I型(救助ポンプ車)	なるこきゅうじょぼんぷ1
〃	平成13年 7月	はしご車	15m級(最大地上高15.9m)	なるこはしご1
〃	平成29年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	なるこきゅうきゅう1
〃	平成20年 6月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	なるこしき1
〃	平成23年 8月	査察車	軽ワゴン車	なるこささつ1
〃	平成20年11月	ホイールローダー	鳴子除雪車・災害対応車	
〃	令和 2年 3月	特殊装備車	中型水陸両用車搬送車両	だいしょうとくそう1
〃	令和 2年 4月	中型水陸両用車	大型特殊自動車	
岩出山分署	平成15年10月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	いわでやまたんく1
〃	令和 2年 2月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	いわでやまぼんぷ1
〃	平成23年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	いわでやまきゅうきゅう1
〃	平成25年 9月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	いわでやまれんらく1
〃	平成26年 1月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
加美消防署	平成19年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽5,000ℓ	かみすいそう1
〃	令和 4年 1月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	かみたんく1
〃	平成20年 1月	救助ポンプ車	CD-I型ポンプ車(救助ポンプ車)	かみきゅうじょぼんぷ1
〃	平成28年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	かみきゅうきゅう1
〃	平成19年 7月	指揮車	SUVタイプ2,000CC(ガソリン車)	かみしき1
〃	平成21年 8月	査察車	軽ワゴン車	かみささつ1
〃	平成23年12月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
西部分署	平成26年 1月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	せいぶたんく1
〃	令和 3年 2月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	せいぶぼんぷ1
〃	令和元年11月	高規格救急車	ニッサンパラメディック	せいぶきゅうきゅう1
〃	平成25年 2月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	せいぶれんらく1
〃	平成26年10月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
遠田消防署	平成23年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	とおだすいそう1
〃	平成14年11月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	とおだたんく1
〃	平成21年 2月	救助ポンプ車	CD-I型(救助ポンプ車) (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	とおだきゅうじょぼんぷ1
〃	令和 4年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	とおだきゅうきゅう1
〃	令和元年11月	高規格救急車	ニッサンパラメディック	とおだきゅうきゅう2
〃	平成19年 7月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	とおだしき1
〃	平成22年 6月	査察車	軽ワゴン車	とおだささつ1
〃	平成25年 1月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	令和 2年 3月	ボートトレーラー	ウレタンボート搬送用トレーラー	

消 防 隊 出 動 状 況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分 署所		合計	火災	救助活動	内管外	風水害等	演習訓練	訓練指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難	予防査察	その他	内管外
古川	出動回数	1,721	40	37	0	12	18	8	34	14	144	0	158	1,256	10
	台数	1,894	152	69	0	13	31	8	34	29	144	0	158	1,256	10
	人員	4,002	406	237	0	40	85	25	91	80	358	0	259	2,421	28
志田	出動回数	611	8	5	0	7	2	8	23	4	59	0	39	456	8
	台数	616	13	8	0	7	3	8	23	4	55	0	39	456	8
	人員	1,408	34	26	0	18	8	20	63	13	138	0	109	979	17
田尻	出動回数	555	17	6	0	3	4	2	21	4	79	0	9	410	0
	台数	579	29	11	0	3	9	2	21	6	79	0	9	410	0
	人員	2,145	79	31	0	10	29	5	53	19	227	0	21	1,671	0
三本木	出動回数	353	26	4	0	2	0	0	5	4	36	0	12	264	1
	台数	360	31	6	0	2	0	0	5	4	36	0	12	264	1
	人員	945	93	17	0	6	0	0	14	11	90	0	34	680	2
鳴子	出動回数	1,059	11	12	0	3	7	9	62	10	157	0	32	756	0
	台数	1,102	29	31	0	3	13	9	62	10	157	0	32	756	0
	人員	2,739	91	106	0	9	33	21	157	28	441	0	77	1,776	0
岩出山	出動回数	585	17	10	0	3	4	9	13	4	13	0	29	483	1
	台数	603	29	14	0	3	4	9	13	6	13	0	29	483	1
	人員	1,432	78	35	0	6	15	23	42	15	34	0	79	1,105	3
加美	出動回数	1,220	26	15	0	4	8	22	50	5	58	1	63	968	0
	台数	1,284	66	31	0	4	13	22	50	7	58	2	63	968	0
	人員	2,924	188	102	0	15	38	60	126	19	141	4	120	2,111	0
西部	出動回数	657	7	7	0	1	9	11	34	0	286	1	26	275	1
	台数	666	14	9	0	1	9	11	34	0	286	1	26	275	1
	人員	1,521	41	25	0	2	18	18	86	0	744	2	93	492	1
遠田	出動回数	1,298	10	12	0	3	12	21	69	3	111	0	54	1,003	6
	台数	1,336	27	23	0	5	20	21	69	3	111	0	54	1,003	6
	人員	2,957	74	71	0	14	51	47	190	11	292	0	104	2,103	16
合計	出動回数	8,059	162	108	0	38	64	90	311	48	943	2	422	5,871	27
	台数	8,440	390	202	0	41	102	90	311	69	939	3	422	5,871	27
	人員	20,073	1,084	650	0	120	277	219	822	196	2,465	6	896	13,338	67

※ 演習訓練とは、消防機関又は関係機関と合同で行う演習・訓練のために消防車両が出動した状況である。
 訓練指導とは、住民や自衛消防隊が行う消防訓練に対する指導のため出動した状況である。
 警防調査とは、地水利・危険区域・対象物調査等に出動した状況である。

消防水利の現況

令和5年4月1日現在

施設別		市町村別	大 崎 市	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	合 計
消 火 栓	小計(A)		1,891	121	420	255	462	3,149
	公設		1,854	121	418	254	459	3,106
	私設		37	0	2	1	3	43
防 火 水 槽	小計	100m ³ 以上	12	0	1	4	1	18
		100m ³ 未満～40m ³	555	33	132	130	140	990
		40m ³ 未満～20m ³	70	0	7	11	45	133
	合計(B)		637	33	140	145	186	1,141
	公 設	100m ³ 以上	2	0	0	4	0	6
		100m ³ 未満～40m ³	461	32	122	123	127	865
		40m ³ 未満～20m ³	52	0	2	9	44	107
	公 設 うち耐震性	100m ³ 以上	0	0	0	0	0	0
		100m ³ 未満～40m ³	51	21	116	29	51	268
		40m ³ 未満～20m ³	1	0	0	0	7	8
	私 設	100m ³ 以上	10	0	1	0	1	12
		100m ³ 未満～40m ³	94	1	10	7	13	125
		40m ³ 未満～20m ³	18	0	5	2	1	26
	私 設 うち耐震性	100m ³ 以上	0	0	1	0	0	1
		100m ³ 未満～40m ³	2	0	6	1	0	9
40m ³ 未満～20m ³		0	0	5	0	0	5	
そ の 他	小計(C)		92	4	14	9	10	129
	プール		45	4	4	9	8	70
	河 川		0	0	1	0	0	1
	ごう・池等		46	0	8	0	2	56
	井 戸		0	0	0	0	0	0
	工業用水		0	0	0	0	0	0
	掘抜消火栓		0	0	0	0	0	0
	その他		1	0	1	0	0	2
合 計(A+B+C)			2,620	158	574	409	658	4,419

火災の現況

令和4年中における火災件数は58件で前年より9件増加し、約6.3日に1件の割合で発生したことになり、過去3番目に少ない件数となりました。

火災種別ごとの火災件数は、建物火災が40件(69.0%)で前年より2件増加、林野火災が1件(1.7%)で1件減少、車両火災が6件(10.3%)で同数、その他火災が11件(19.0%)で8件増加となりました。

市町別の火災件数は、大崎市46件(79.3%)、色麻町3件(5.2%)、加美町5件(8.7%)、涌谷町2件(3.4%)、美里町2件(3.4%)となりました。

火災による死者数は5人で、前年より2人増加しています。火災種別ごとでは、建物火災が3人、車両火災が1人、その他火災が1人となりました。

損害額は252,331千円で前年と比較すると89,567千円増加しました。

主な出火原因は、多い順から「たばこ」が6件、「火入れ」が5件、「放火」が4件、「たき火」「こんろ」が各3件となりました。

当消防本部管内では出火原因の割合として「たばこ」に加え「火入れ」「たき火」等の焼却行為が多いことから、住民一人ひとりの防火意識の高揚を目指し、更なる防火指導・広報の充実を図ってまいります。



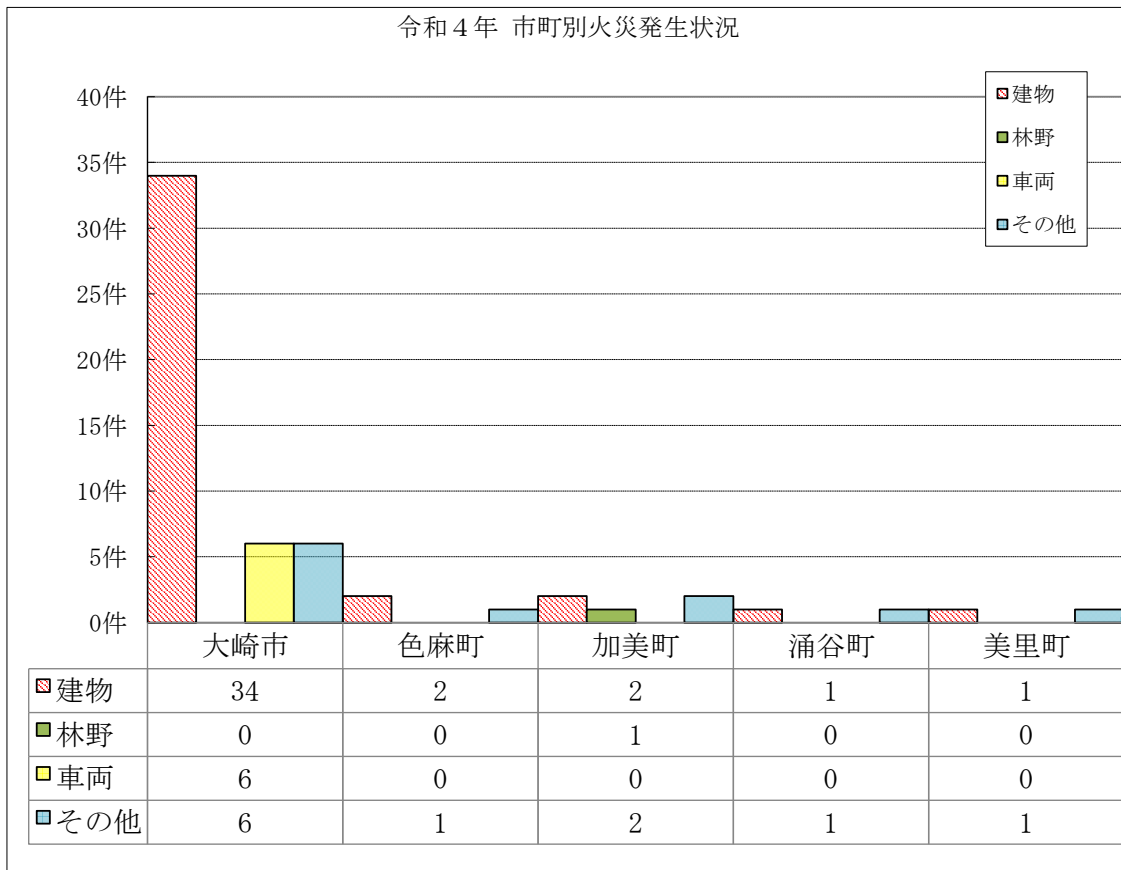
警防技術練成会

市 町 別 火 災 発 生 状 況

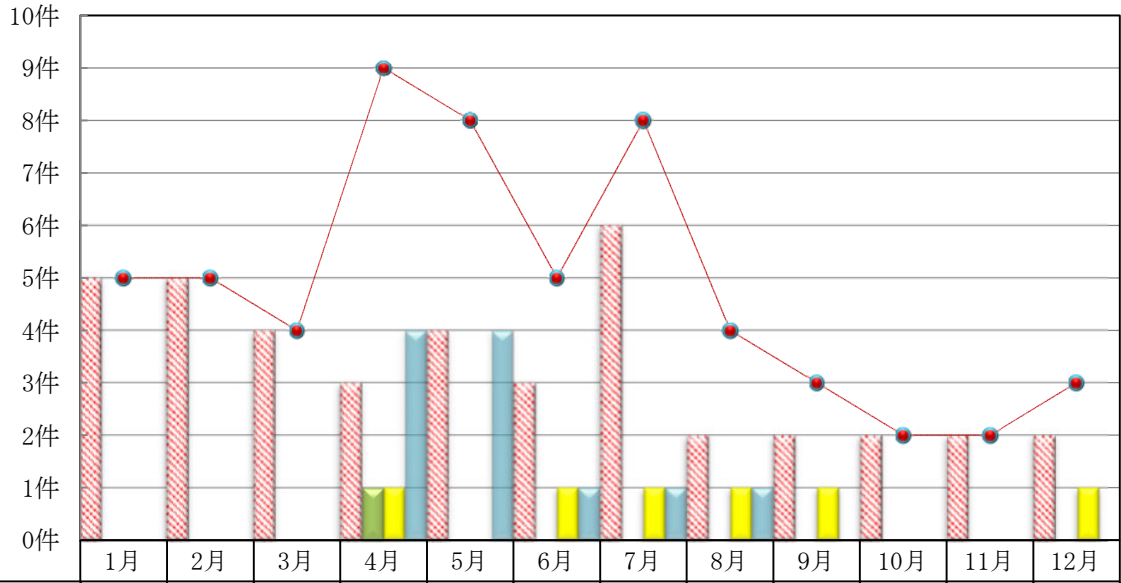
令和4年1月1日～令和4年12月31日

	火 災 件 数					焼 損			災			人 口	一万人 当り 出火率	損 害 額 (円)				焼 損 面 積		
	合計	建物	林野	車両	その他	棟数	世帯	人員	死者	負傷者	世帯数			総額 (千円)	一件 当り (千円)	一世帯 当り (円)	一人 当り (円)	建物 面積 (㎡)	一件 当り (㎡)	林野 面積 (a)
大崎市	46	34	0	6	6	47	24	59	5	8	52,757	125,444	3.67	238,702	5,189	4,525	1,903	2,379	70.0	0
色麻町	3	2	0	0	1	3	1	7	0	0	2,083	6,401	4.69	2,140	713	1,027	334	282	141.0	0
加美町	5	2	1	0	2	5	1	6	0	0	8,246	21,774	2.30	10,635	2,127	1,290	488	161	80.5	12
涌谷町	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	5,985	14,930	1.34	222	111	37	15	48	48.0	0
美里町	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	9,299	23,483	0.85	632	316	68	27	25	25.0	0
合計	58	40	1	6	11	58	26	72	5	8	78,370	192,032	3.02	252,331	4,351	3,220	1,314	2,895	72.4	12

※世帯数・人口は令和4年12月末日現在（宮城県住民基本台帳より）

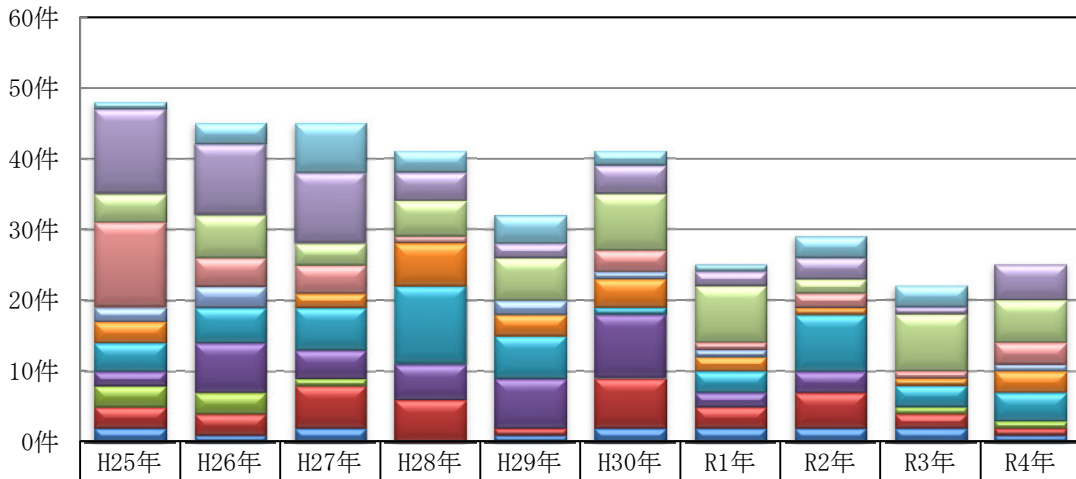


令和4年 月別火災発生状況



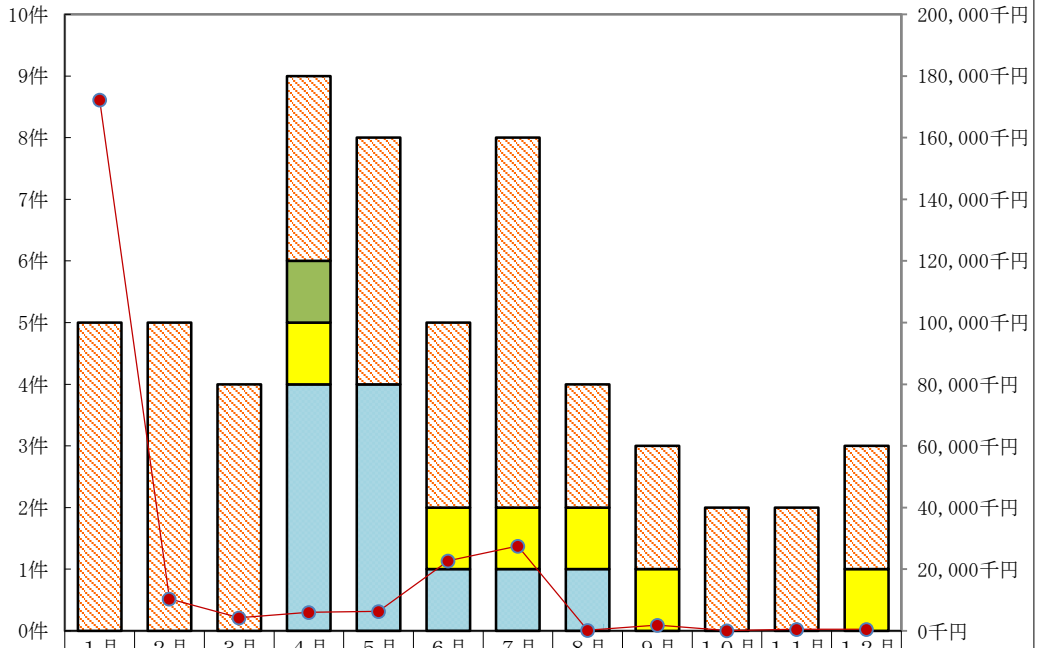
建物	5	5	4	3	4	3	6	2	2	2	2	2
林野	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
車両	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1
その他	0	0	0	4	4	1	1	1	0	0	0	0
総計	5	5	4	9	8	5	8	4	3	2	2	3

過去10年間の主な出火原因



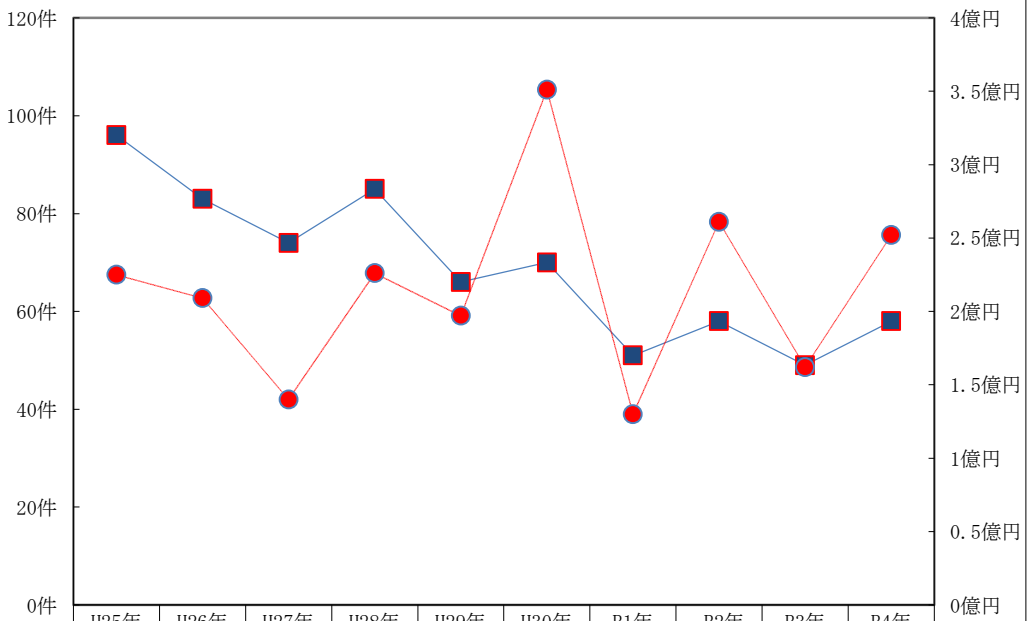
電灯等配線	1	3	7	3	4	2	1	3	3	0
火入れ	12	10	10	4	2	4	2	3	1	5
たばこ	4	6	3	5	6	8	8	2	8	6
たき火	12	4	4	1	0	3	1	2	1	3
火遊び	2	3	0	0	2	1	1	0	0	1
こんろ	3	0	2	6	3	4	2	1	1	3
放火	4	5	6	11	6	1	3	8	3	4
放火の疑い	2	7	4	5	7	9	2	3	0	0
風呂・かまど	3	3	1	0	0	0	0	0	1	1
ストーブ	3	3	6	6	1	7	3	5	2	1
煙突・煙道	2	1	2	0	1	2	2	2	2	1

令和4年 月別火災発生状況及び損害額状況



建物	5	5	4	3	4	3	6	2	2	2	2	2
林野	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
車両	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1
その他	0	0	0	4	4	1	1	1	0	0	0	0
損害額 (千円)	172,153	10,336	4,252	5,968	6,316	22,712	27,502	201	1,864	90	460	477

過去10年間の火災件数及び損害額の推移



■ 件数 (件)	96	83	74	85	66	70	51	58	49	58
● 損害額 (億円)	2.25	2.09	1.40	2.26	1.97	3.51	1.30	2.61	1.62	2.52

救急業務の現況

令和4年中における救急出動件数は9,921件で前年より793件増加し、搬送人員は8,722人で前年より416人増加しました。これは一日平均で約27件(約52.9分に1件)の割合で救急車が出動し、管内の約22人に1人が救急車により搬送されたこととなります。

令和4年中の搬送人員8,722人に救急隊員が行った応急処置の総件数は42,150件で、傷病者1人に対して平均4.8種類の応急処置を行なったこととなります。

救急隊員が行った応急処置のうち、救急救命士(除細動については、救急救命士以外の救急隊員を含む)が心肺停止状態又は重篤な傷病者に行う高度な応急処置(ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、ブドウ糖投与)の件数は464件となっています。

救急出動件数は、集計開始以来最多を更新し、当消防本部のこれまでの最多出動件数9,508件(平成29年)を413件上回りました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、救急出動要請が急増したことが一因と考えます。

救急需要が高まる中で、より一層の救急サービス向上を目指すとともに、救急車の適正利用に向け、普及啓発に取り組んでまいります。



救急シミュレーション訓練



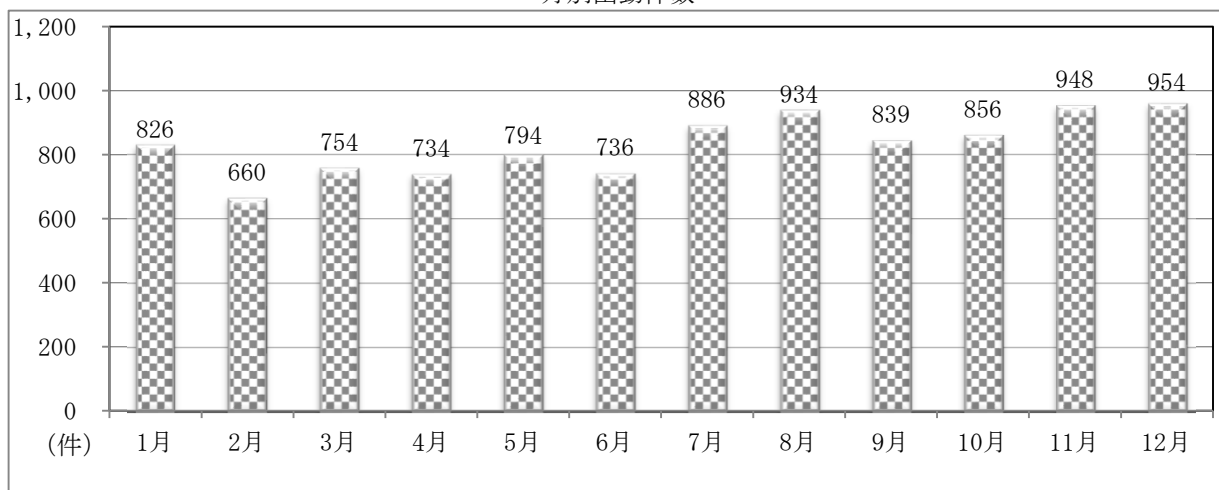
指導救命士研修

令和4年 月別救急出動状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

月別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
1月	出動件数	826	7			24	8		134	5	3	516	115		2	12
	搬送件数	739	2			22	8		129	5	2	457	114			
	搬送人員	743	2			26	8		129	5	2	457	114			
2月	出動件数	660	6			20	6		86	3	6	409	111		1	12
	搬送件数	594				18	6		82	3	5	369	111			
	搬送人員	595				19	6		82	3	5	369	111			
3月	出動件数	754	5	6		35	6	1	79	1	6	496	108		1	10
	搬送件数	677		6		29	5		75		4	450	108			
	搬送人員	681		6		32	6		75		4	450	108			
4月	出動件数	734	9			35	6	1	92	1	2	451	128		2	7
	搬送件数	673	3			30	6	1	83	1	1	421	127			
	搬送人員	675	3			31	6	1	83	1	1	422	127			
5月	出動件数	794	6	1		44	6	4	83	1	7	518	113		1	10
	搬送件数	723		1		31	6	4	79	1	5	483	113			
	搬送人員	726		1		33	6	4	79	1	5	484	113			
6月	出動件数	736	4			29	6	9	85	3	8	474	107		3	8
	搬送件数	667	1			25	6	9	75	3	7	435	106			
	搬送人員	668	1			26	6	9	75	3	7	435	106			
7月	出動件数	886	6	3		33	14	5	102	2	10	585	107			19
	搬送件数	795				30	14	5	89	2	8	537	107			3
	搬送人員	797				32	14	5	89	2	8	537	107			3
8月	出動件数	934	4			38	8	3	98	3	11	642	109		4	14
	搬送件数	765				30	7	3	92	2	9	513	109			
	搬送人員	766				31	7	3	92	2	9	513	109			
9月	出動件数	839	3			38	8	5	114	3	6	526	116			20
	搬送件数	714				30	8	5	100	1	2	453	115			
	搬送人員	719				32	10	5	100	1	2	454	115			
10月	出動件数	856	3			49	5	7	117	3	10	532	108		2	20
	搬送件数	734	1			39	5	7	108	1	6	459	108			
	搬送人員	741	1			45	5	7	108	1	6	460	108			
11月	出動件数	948	1			49	6	4	92	3	7	624	141		5	16
	搬送件数	809				44	6	4	81	3	5	527	138			1
	搬送人員	816				50	6	4	81	3	5	527	138			2
12月	出動件数	954	3			45	8	1	107	5	5	652	114		1	13
	搬送件数	791				38	8		97	4	3	527	114			
	搬送人員	795				42	8		97	4	3	527	114			
累計	出動件数	9,921	57	10	0	439	87	40	1,189	33	81	6,425	1,377	0	22	161
	搬送件数	8,681	7	7	0	366	85	38	1,090	26	57	5,631	1,370	0	0	4
	搬送人員	8,722	7	7	0	399	88	38	1,090	26	57	5,635	1,370	0	0	5

月別出動件数



令和4年 救急隊別出動状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

救急隊別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
古川1	出動件数	1,741	11	3		76	7	9	178	8	23	1,024	367		8	27
	搬送人員	1,520	1	1		67	7	7	159	5	18	889	366			
古川2	出動件数	1,718	14	2		91	16	6	173	9	18	1,009	349		12	19
	搬送人員	1,477	1	2		81	15	6	153	6	15	847	347			4
志田	出動件数	921		2		27	9	4	116	2	10	635	109			7
	搬送人員	839		2		28	8	4	109	2	5	572	109			
田尻	出動件数	642	1	1		30	9	1	83		3	464	32		1	17
	搬送人員	580				27	12	1	78		2	428	32			
三本木	出動件数	663	8			45	9	1	78	2	3	404	88		1	24
	搬送人員	567	2			45	9	1	73	1	1	347	87			1
鳴子	出動件数	458	7			24	5	2	67	1	4	304	37			7
	搬送人員	380	1			13	5	2	64	1	1	256	37			
岩出山	出動件数	607	2			27	9	2	79	1	5	422	51			9
	搬送人員	545	1			22	9	2	74	1	5	380	51			
加美	出動件数	1,031	9			46	9	9	121	4	5	714	94			20
	搬送人員	926	1			43	9	9	113	4	3	650	94			
西部	出動件数	450	1			20	5	4	69	1	3	306	36			5
	搬送人員	413				24	5	4	65	1	2	276	36			
遠田1	出動件数	1,300	4			44	6	1	168	4	5	891	157			20
	搬送人員	1,132				41	6	1	148	4	3	774	155			
遠田2	出動件数	379		2		9	3	1	57	1	2	246	52			6
	搬送人員	333		2		8	3	1	54	1	2	211	51			
その他	出動件数	11										6	5			
	搬送人員	10										5	5			
累計	出動件数	9,921	57	10	0	439	87	40	1,189	33	81	6,425	1,377	0	22	161
	搬送人員	8,722	7	7	0	399	88	38	1,090	26	57	5,635	1,370	0	0	5

令和4年 出動先別救急出動状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

地域別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
大崎市	出動件数	6,574	45	8		301	54	24	747	25	63	4,145	1,013		22	127
	搬送人員	5,729	7	5		265	55	22	686	18	45	3,612	1,009			5
色麻町	出動件数	347	3			16	2	3	46	1	3	217	48			8
	搬送人員	313				15	2	3	45	1	2	197	48			
加美町	出動件数	1,037	5			48	14	10	129	1	6	739	78			7
	搬送人員	945				48	14	10	118	1	4	672	78			
涌谷町	出動件数	858	1	1		23	6	2	96	4	5	545	168			7
	搬送人員	759		1		19	6	2	85	4	4	473	165			
美里町	出動件数	1,072	2	1		38	10	1	168	2	4	765	70			11
	搬送人員	950		1		41	10	1	153	2	2	670	70			
高速道路	出動件数	28	1			10	1		3			12				1
	搬送人員	23				9	1		3			10				
管外	出動件数	5				3						2				
	搬送人員	3				2						1				
累計	出動件数	9,921	57	10	0	439	87	40	1,189	33	81	6,425	1,377	0	22	161
	搬送人員	8,722	7	7	0	399	88	38	1,090	26	57	5,635	1,370	0	0	5

令和4年 傷病程度・年齢別搬送人員の状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

年齢区分	年齢区分内訳	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
		重症	6											6
		中等症	14											14
		軽症	6										2	4
		その他												
		計	26										2	24
乳幼児	28日～6歳	死亡												
		重症	8							2			4	2
		中等症	71				1			11			51	8
		軽症	163				4			49			110	
		その他												
		計	242				5		62			165	10	
少年	7歳～17歳	死亡	1									1		
		重症	14						1	3			5	5
		中等症	103				16		13	9		2	55	8
		軽症	133				18		11	29			74	1
		その他												
		計	251				34		25	41		3	134	14
成人	18歳～64歳	死亡	9				1	1			1	1	5	
		重症	193	1			9	3		8	1	3	113	55
		中等症	1,154	1			121	36	6	94	7	22	677	190
		軽症	939	3	2		110	31	6	95	10	13	645	24
		その他												
		計	2,295	5	2		241	71	12	197	19	39	1,440	269
高齢者	65歳以上	死亡	108							6		3	99	
		重症	748		1		8	4		64	1	3	476	191
		中等症	3,435	1	3		56	6		427	2	7	2,163	770
		軽症	1,617	1	1		55	7	1	293	4	2	1,156	97
		その他												
		計	5,908	2	5		119	17	1	790	7	15	3,894	1,058
合計		死亡	118	0	0	0	1	1	0	6	1	5	104	0
		重症	969	1	1	0	17	7	1	77	2	6	598	259
		中等症	4,777	2	3	0	194	42	19	541	9	31	2,946	990
		軽症	2,858	4	3	0	187	38	18	466	14	15	1,987	126
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	8,722	7	7	0	399	88	38	1,090	26	57	5,635	1,375

令和4年 救急隊員の行った応急処置状況（その1）

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別 傷病程度	応急処置 対象急 人員置	止 血	固 定	人工呼 吸	心 マツサ ージ	うち自動		心 肺蘇 生	うち自動	酸 素吸 入	気道確保				保 温	
						※1	※2				※3	※4				
急 病	死亡	104						104	75	104	104	1		54		54
	重症	598	1	5	13			107	84	290	167	3		64		229
	中等症	2,946	20	37	2					510	54	1				962
	軽症	1,987	38	21						97	6					542
	その他															
計	5,635	59	63	15	0	0	211	159	1,001	331	5	0	118	0	1,787	
交 通 事 故	死亡	1		1				1		1	1			1		
	重症	17	3	15						8	4					8
	中等症	194	20	132						11	1					71
	軽症	187	12	109						1						50
	その他															
計	399	35	257	0	0	0	1	0	21	6	0	0	1	0	129	
一 般 負 傷	死亡	6	1	1				6	3	6	6		1	3		2
	重症	77	6	21	1			11	8	20	13			5	2	26
	中等症	541	55	163	1			1		28	4					169
	軽症	466	97	72						5	1					120
	その他															
計	1,090	159	257	2	0	0	18	11	59	24	0	1	8	2	317	
そ の 他	死亡	7	1	2				7	5	7	7	1		2		3
	重症	277	6	14	1			6	5	103	18			3		111
	中等症	1,096	28	53						237	8					370
	軽症	218	22	23						14	1					66
	その他															
計	1,598	57	92	1	0	0	13	10	361	34	1	0	5	0	550	
合 計	死亡	118	2	4	0	0	0	118	83	118	118	2	1	60	0	59
	重症	969	16	55	15	0	0	124	97	421	202	3	0	72	2	374
	中等症	4,777	123	385	3	0	0	1	0	786	67	1	0	0	0	1,572
	軽症	2,858	169	225	0	0	0	0	0	117	8	0	0	0	0	778
	計	8,722	310	669	18	0	0	243	180	1,442	395	6	1	132	2	2,783

気道確保

- ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
- ※3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用して施した気道確保
- ※4 救急救命士が気管挿管により施した気道確保

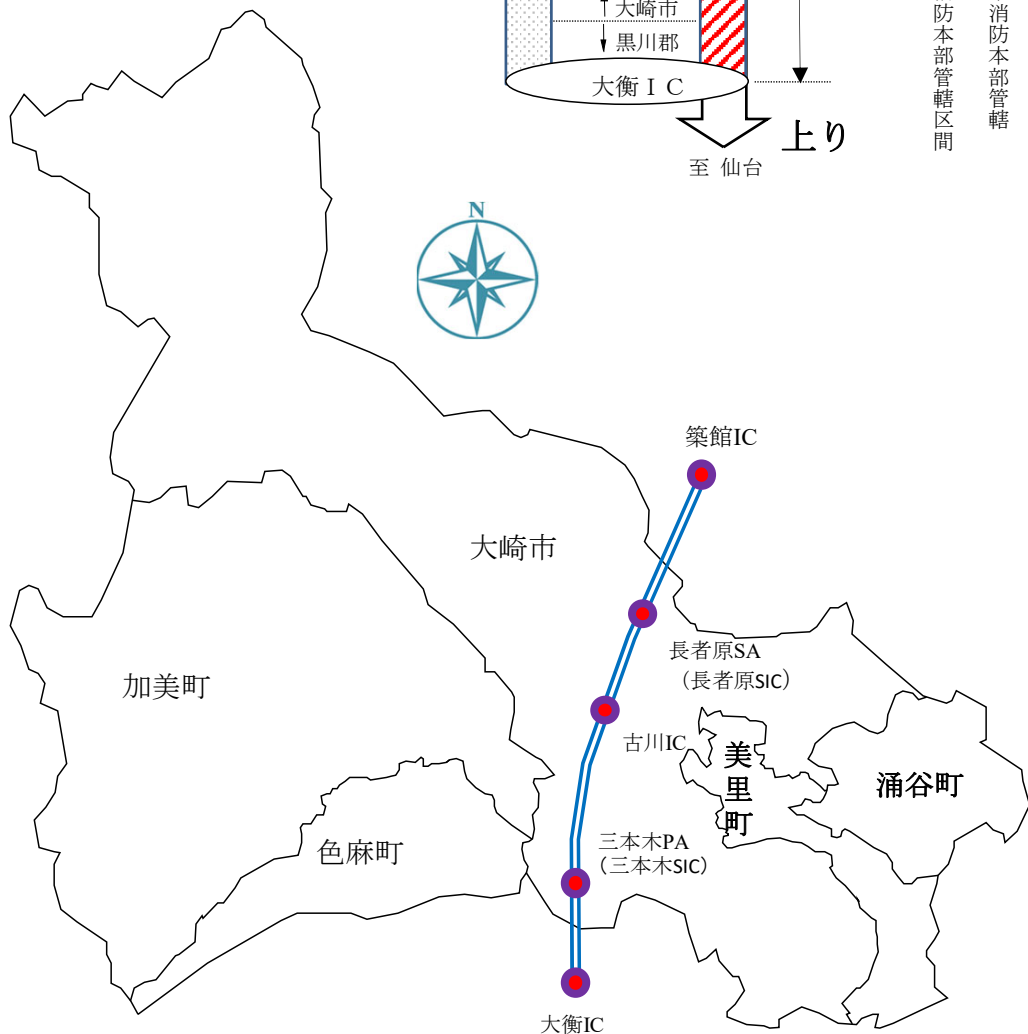
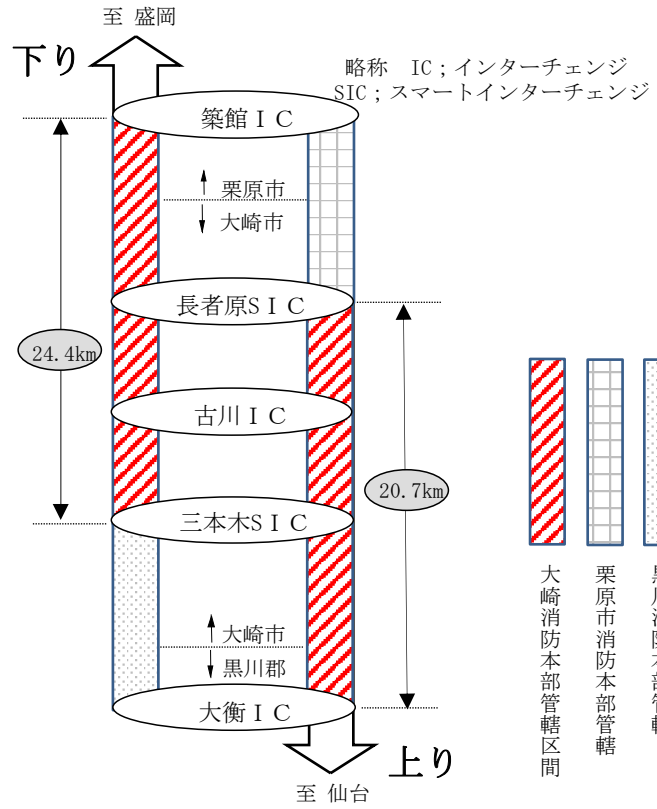
令和4年 救急隊員の行った応急処置状況（その2）

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別 傷病程度	応急処置 被覆	在宅療法継続			S Pによる 血圧保持	除細動	静脈路確保・C P A前	静脈路確保・C P A後	薬剤投与	血糖測定	ブドウ糖投与	血圧測定	聴診器による聴取	血中酸素飽和度の測定	心電図	心電図伝送	その他の応急処置	計		
		※A	※B	※C																
急病	死亡		2		2	6	36	23			6	87	9	98		84	717			
	重症	1	9		1	8	12	7	45	27	30	1	508	288	516	575	49	579	3,410	
	中等症	16	26	2	1	23			13		75	16	2,900	965	2,943	2,704	171	2,941	14,184	
	軽症	8	8	1	1	6			5		12	5	1,888	544	1,982	1,699	67	1,983	8,838	
	その他																		0	
計	25	45	3	3	39	0	18	25	81	50	117	22	5,302	1,884	5,450	5,076	287	5,587	27,149	
交通事故	死亡	1											1		1		1	8		
	重症	5					1						17	9	17	15	2	17	119	
	中等症	38											194	106	194	157	1	194	1,118	
	軽症	23											182	65	185	119		187	933	
	その他																		0	
計	67	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	393	181	396	292	3	399	2,178	
一般負傷	死亡												6		6		6	40		
	重症	5					2	3	2				66	29	66	58	1	76	405	
	中等症	84	2			2				2			533	111	540	409	2	541	2,643	
	軽症	124	3			3							425	87	461	286		464	2,145	
	その他																		0	
計	213	5	0	0	5	0	0	2	3	2	2	0	1,024	233	1,067	759	3	1,087	5,233	
その他	死亡	1							2	1			5	1	7		7	51		
	重症	6						1	1				263	59	271	237	9	275	1,372	
	中等症	20	1			1		2					1,071	254	1,095	945	33	1,084	5,168	
	軽症	21											214	40	216	168	7	214	999	
	その他																		0	
計	48	1	0	0	1	0	0	2	3	2	0	0	1,548	358	1,583	1,357	49	1,580	7,590	
合計	死亡	2	2	0	0	2	0	6	0	38	24	0	0	6	99	10	112	0	98	816
	重症	17	9	0	1	8	0	12	10	49	30	30	1	854	385	870	885	61	947	5,306
	中等症	158	29	2	1	26	0	0	15	0	0	77	16	4,698	1,436	4,772	4,215	207	4,760	23,113
	軽症	176	11	1	1	9	0	0	5	0	0	12	5	2,709	736	2,844	2,272	74	2,848	12,915
	計	353	51	3	3	45	0	18	30	87	54	119	22	8,267	2,656	8,496	7,484	342	8,653	42,150
<p>1 在宅療法 ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの ※B 気道切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの</p> <p>2 計欄については、(その1)止血から(その2)心電図までの集計である。</p>																				

東北自動車道における救急出動件数・搬送人員（過去5年間）

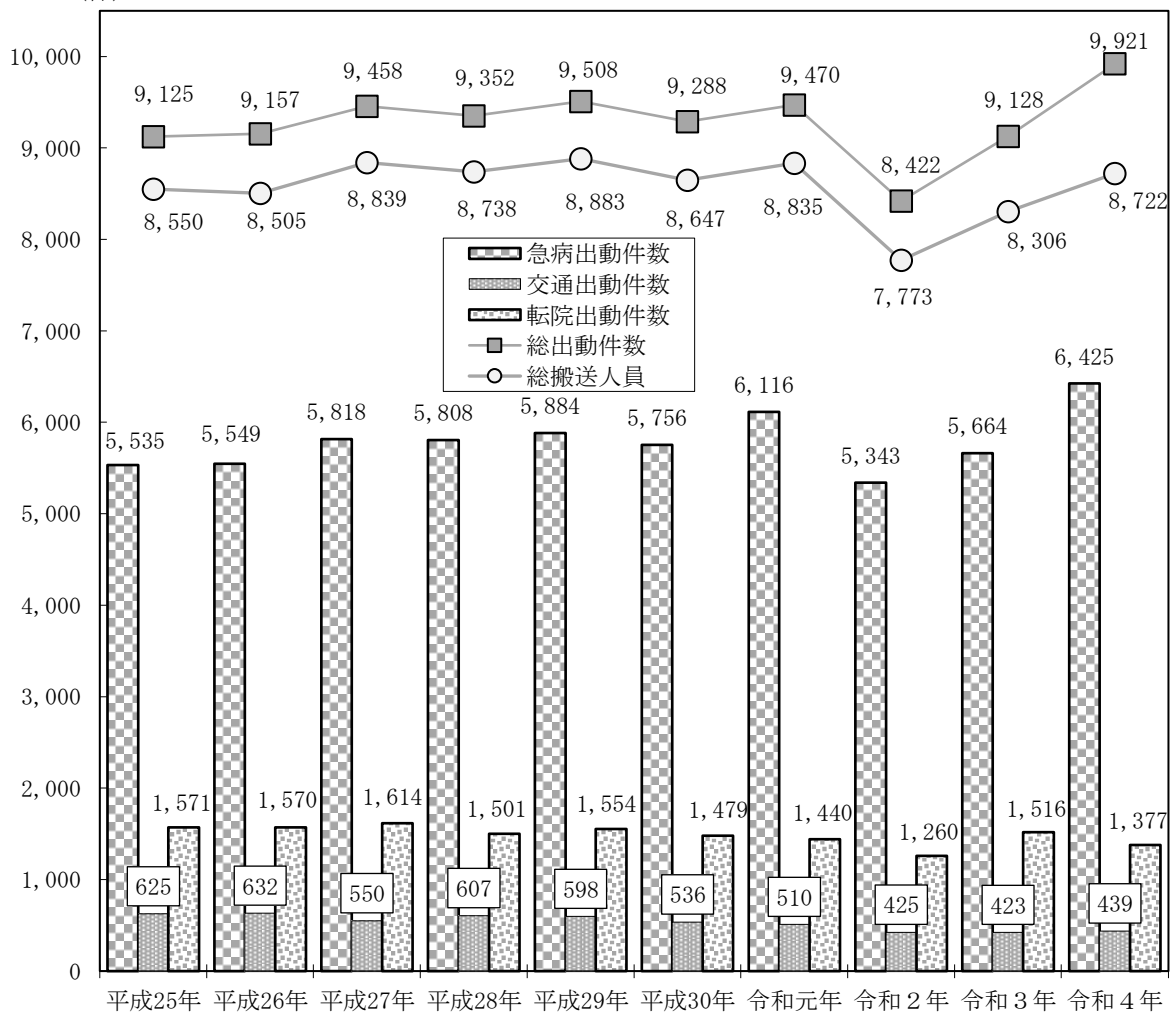
年	区 分	計	事 故 種 別		
			交 通	急 病	そ の 他
平成 30年	出動件数	30	11	16	3
	搬送人員	26	11	14	1
	不搬送	7	3	2	2
令和 元年	出動件数	21	6	10	5
	搬送人員	19	7	10	2
	不搬送	4	1		3
令和 2年	出動件数	18	9	6	3
	搬送人員	21	14	6	1
	不搬送	3	1		2
令和 3年	出動件数	28	15	11	2
	搬送人員	29	18	9	2
	不搬送	4	2	2	
令和 4年	出動件数	28	10	12	6
	搬送人員	23	9	10	4
	不搬送	5	1	2	2



過去5年間の発生場所別救急出動件数

市町別・その他	年 別				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
大 崎 市	6,097	6,242	5,470	6,074	6,574
色 麻 町	343	346	299	339	347
加 美 町	1,082	1,086	980	1,006	1,037
涌 谷 町	776	798	737	749	858
美 里 町	958	974	917	932	1,072
高 速 道 路	30	21	18	28	28
管 外	2	3	1	0	5
計	9,288	9,470	8,422	9,128	9,921

(件) 過去10年間の救急出動件数の推移



令和4年 事故種別医療機関別搬送人員

(上段・本年搬送人員 下段・前年搬送人員)

種別 地域	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	
											転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他		
搬送人員	7	7		399	88	38	1,090	26	57	5,635	1,370			5	8,722	
	13	5	3	416	91	43	968	6	63	5,185	1,513				8,306	
管内	大崎市	7	6		344	76	32	941	22	56	4,801	1,038			5	7,328
		9	5	3	343	70	37	820	5	59	4,287	1,188				6,826
	加美郡				23	5	5	43	1		204	10				291
		2			20	10	5	55			269	19				380
	遠田郡		1		21	5	1	72	2		348	45				495
		1			33	5	1	69	1	1	387	25				523
	大崎管内合計	7	7		388	86	38	1,056	25	56	5,353	1,093			5	8,114
		12	5	3	396	85	43	944	6	60	4,943	1,232				7,729
	管外	仙台市						4			64	127				195
			1				1	2			43	137				184
栗原市					3			4			15	20			42	
					4			1			6	19			30	
登米市					1			2			11	9			23	
					4	1		2			10	5			22	
黒川郡								4			16	7			27	
					1			4			21	9			35	
富谷市												6			6	
											1	3			4	
石巻市					3			7	1		93	72			176	
					10			9		3	97	76			195	
東松島市					2	1		8			57	23			91	
								2			38	22			62	
塩釜市											3	3			6	
											3	5			8	
宮城郡											2	3			5	
											1	1			2	
名取市												4			4	
												3			3	
岩沼市														0		
										1				1		
柴田郡														0		
														0		
白石市														0		
														0		
角田市														0		
														0		
亶理郡														0		
														0		
県外											3			3		
											1			1		
大崎管外合計	0	0	0	9	1	0	29	1	0	261	277	0	0	0	578	
	1	0	0	19	2	0	20	0	3	221	281	0	0	0	547	
ドクターヘリ				2	1		5		1	21					30	
				1	4		4			21					30	

応急手当講習会等の現況

令和4年中における一般住民を対象とした応急手当講習会等の受講者数は、普通救命講習会21回197人、上級救命講習会1回6人、救命入門コース5回81人、応急手当講習会66回1,211人で、合計1,495人でした。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年4月以降中止としていた応急手当普及員講習及び上級救命講習は、対外的業務実施基準の引き下げに伴い、令和4年11月より再開しております。

また、令和4年中、救急隊が傷病者のもとに到着するまでの間に、傷病者の近くにいた家族や一般住民等による応急手当は、前年より63件多い540件実施されました。



普通救命講習会



応急手当講習会

応急手当講習会等の開催状況

1. 講習会別開催状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

種 別	開催回数	受講者数	内 容
普通救命講習会	21回	197人	心肺蘇生法（成人）・大出血時の止血等の講習 （講習時間3時間）
（WEB講習）	（6回）	（17人）	（講習時間2時間）
上級救命講習会	1回	6人	心肺蘇生法（成人・小児・乳児）・大出血時の止血・ 傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習 （講習時間8時間）
普及員講習会	0回	0人	事業所・地域団体等の従業員に対して普通救命講習を 指導できるための講習 （講習時間2・4時間）
救命入門コース	5回	81人	対象者は小学生中高学年以上（概ね10歳以上）とし、 カリキュラムは胸骨圧迫とAEDの使用法
応急手当講習会	66回	1,211人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの 簡単な応急手当の講習
合 計	93回	1,495人	

2. 講習会ごと性別及び年代別受講者数

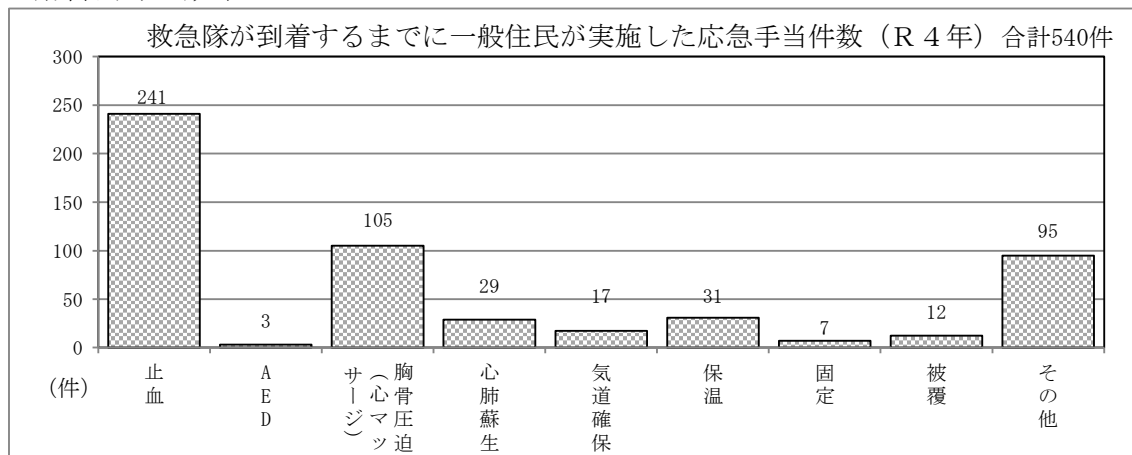
令和4年1月1日～令和4年12月31日

講習種別	年代 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
		普通救命講習	男性（人）	27	14	9	13	8	18	
	女性（人）	44	7	15	12	5	7	3	0	93
	合計（人）	71	21	24	25	13	25	17	1	197
上級救命講習	男性（人）	0	1	0	1	2	1	0	0	5
	女性（人）	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	合計（人）	0	1	0	1	2	2	0	0	6
普及員講習	男性（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救命入門コース	男性（人）	25	1	3	0	2	0	0	0	31
	女性（人）	38	2	1	1	7	1	0	0	50
	合計（人）	63	3	4	1	9	1	0	0	81
合計	男性（人）	52	16	12	14	12	19	14	1	140
	女性（人）	82	9	16	13	12	9	3	0	144
	合計（人）	134	25	28	27	24	28	17	1	284

3. 講習会ごと年別受講者数

講習種別	年別	回数 (回)	性別		合計
			男性(人)	女性(人)	
普通救命講習	平成9年～平成24年	2,077	21,543	22,907	44,450
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
	平成29年	185	1,978	1,632	3,610
	平成30年	150	1,445	1,506	2,951
	令和元年	149	1,592	1,359	2,951
	令和2年	103	797	543	1,340
	令和3年	84	500	463	963
	令和4年	21	104	93	197
小計	3,454	34,682	35,174	69,856	
上級救命講習	平成11年～24年	85	882	1,731	2,613
	平成25年	5	77	64	141
	平成26年	6	47	100	147
	平成27年	7	56	96	152
	平成28年	8	88	113	201
	平成29年	6	76	92	168
	平成30年	7	47	94	141
	令和元年	5	28	80	108
	令和2年	1	8	9	17
	令和3年	0	0	0	0
令和4年	1	5	1	6	
小計	131	1,314	2,380	3,694	
普及員講習	平成12年～平成24年	18	147	225	372
	平成25年	1	3	3	6
	平成26年	1	3	6	9
	平成27年	2	17	2	19
	平成28年	1	5	2	7
	平成29年	1	6	2	8
	平成30年	2	2	11	13
	令和元年	1	5	4	9
	令和2年	0	0	0	0
	令和3年	0	0	0	0
令和4年	0	0	0	0	
小計	27	188	255	443	
救命入門コース	平成24年～25年	4	116	137	253
	平成26年	8	120	143	263
	平成27年	6	125	113	238
	平成28年	9	147	170	317
	平成29年	11	206	177	383
	平成30年	9	125	118	243
	令和元年	40	452	502	954
	令和2年	22	154	203	357
	令和3年	17	95	124	219
	令和4年	5	31	50	81
小計	131	1,571	1,737	3,308	
合計		3,743	37,755	39,546	77,301

4. 講習会等の効果



救助業務の現況

令和4年中における救助出動件数は59件で前年より2件増加しています。救助人員は44人で前年同数となっています。

事故種別では、交通事故が35件と出動件数全体の59.3%を占め、また交通事故による救助人員も27人と救助人員全体の61.4%を占めており、いずれも高い割合となっています。

当圏域は、JRの各鉄道、東北自動車道や各国道などの幹線道路、山岳地域や鳴瀬川、江合川などの大きな河川があり、救助事象も多岐に及びます。

このことから、あらゆる災害に対応すべく、高度な知識、技術を習得した専門的な救助隊員を養成し、機動力、資機材等を効率的に活用し、住民に安全・安心を提供できるよう、更なる救助体制の充実強化に努めてまいります。



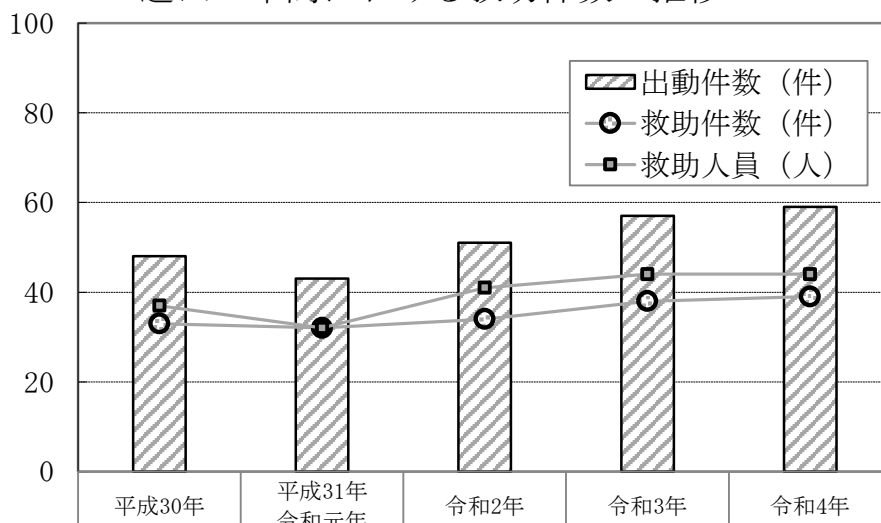
高速道路事故対応訓練

令和4年 救助活動状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
		建物	建物以外									
	出動件数			35	3	3	6	2			10	59
	救助件数			23	3	2	3				8	39
	救助人員			27	3	2	3				9	44
出動人員	専任救助隊員											
	兼任救助隊員			150	15	9	42	12			60	288
	消防隊員			222	22	6	42	11			68	371
	救急隊員			132	9	9	18	6			30	204
	消防団員											
	計			504	46	24	102	29			158	863
出動車両	救助工作車			17	2	1	5	2			6	33
	消防ポンプ自動車			57	5	1	11	2			18	94
	はしご車										1	1
	化学車											
	指揮・司令車			42	4	2	7	2			12	69
	救急自動車			44	3	3	6	2			10	68
	船舶											
	ヘリコプター											
その他の車両			1	2	1					1	5	
	計			161	16	8	29	8			48	270
事故発生場所	住居							2				2
	その他の屋内						1				1	2
	高速自動車国道等			1								1
	その他の道路			26		3	1				1	31
	内水面			2	3						1	6
	外水面											0
	山岳										2	2
	その他の屋外			6			4				5	15
	地下											0
その他											0	
	計	0	0	35	3	3	6	2	0	0	10	59
搬送別人員	救急自動車			24	3		3				5	35
	ヘリコプター											
	その他の車両											
	消防機関以外										1	1

過去5年間における救助件数の推移



出動件数 (件)	48	43	51	57	59
救助件数 (件)	33	32	34	38	39
救助人員 (人)	37	32	41	44	44

消防装備等機械器具保有状況

令和5年4月1日現在

区分	装備名	数量	区分	装備名	数量	
一般救助用器具	かぎ付き梯子	8	主な資機材	携帯警報機	13	
	バスケットストレッチャ(折り畳み式含む)	7		活線警報機	9	
	三連梯子(二連梯子除く)	16		空気充填機	4	
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤ梯子	2		オイルフェンス	3	
	空気式救助マット(救助幕含む)	1		携帯無線機	57	
	救命索発射銃	3		衛星携帯電話	7	
	救助用縛帯(訓練用,ヘリ用縛帯を除く)	8		定検用器具・測	可燃性ガス・有毒ガス測定器	6
	平担架	1			酸素濃度測定器	5
	滑車(山岳救助用除く)	20			放射線測定器	21
	サバイバースリング	4		高度救助資器材	画像探査機Ⅰ型	1
重量物排除器具	油圧ジャッキ	4	画像探査機Ⅱ型		1	
	油圧スプレッダー(大型,コンビツール含む)	8	地中音響探査機		1	
	可搬式ウィンチ(チルホール)	9	熱画像直視装置		6	
	マット型空気圧ジャッキ	1	夜間用暗視装置		2	
	充電式油圧切断機マルチカッター	3	地震警報器		1	
	充電式油圧切断機スプレッダー	3	呼吸器具保護		空気呼吸器(訓練用を除く)	73
	充電式油圧切断機バー(鉄筋)カッター	1		酸素呼吸器	5	
切断用器具	油圧切断機(大型,コンビツール含む)	8	送排風機	3		
	エンジンカッター	13	隊員保護器具	耐電手袋(耐電検査合格品のみ)	17	
	ガス溶断機	1		耐電衣(耐電検査合格品のみ)	5	
	チェーンソー(ダイヤモンドその他含む)	19		耐電ズボン(耐電検査合格品のみ)	5	
	鉄線カッター	18		耐電長靴(耐電検査合格品のみ)	17	
	空気鋸	2		耐熱服(化学車配備署所に限る)	5	
放射線防護服(タイベックススーツ除く)	7					
破壊用器具	万能斧(レスキューバール含む)	40	水難救助器具	潜水器具一式	5	
	ハンマー	20		救命胴衣(使用可能なもの)	103	
	削岩機	2		水中投光器	5	
	ハンマードリル(ストライカー含む)	3		救命浮環	26	
山岳用	登山器具一式	5		浮標	2	
	バスケット担架	4		救命ボート(その他アルミボート等含む)	8	
主な資機材	エアーカッター	1		船外機	5	
	小型動力ポンプ B-2級(水槽車含む)	3		高度救急資器材等	気道確保用資器材一式	14
	小型動力ポンプ B-3級(水槽車含む)	0			自動体外式除細動器(半自動含)	33
	フォグガン(クアドラノズル含む)	21			ショックパンツ	14
	無反動ノズル	4	輸液用資器材一式		14	
	放水銃	2	心電図電送装置		14	
	低発泡ノズル	4	患者監視装置(救急車積載品に限る)		14	
	発動発電機 300W	0	室内紫外線除菌装置		0	
	発動発電機 500W~900W	25	EOG方式滅菌器		0	
	発動発電機 1KW(エアーテント用含む)	8	オートクレーブ滅菌器(高圧蒸気)		1	
	エアーテント	5	紫外線滅菌ロッカー		3	
	無人航空機(ドローン)	1				

予 防

令和5年度 大崎広域防火ポスター



防火ポスターコンクール最優秀賞
美里町立不動堂小学校 新田結以 さんの作品

令和5年度 大崎広域防火標語

忘れるな 「点けた」「使った」 火の始末

防火標語コンクール最優秀賞
美里町立南郷中学校 海上凜 さんの作品

予防業務の現況

防火対象物数は令和5年3月31日現在、6,959件（前年比65件減）で、平成30年以降増加してきた防火対象物数が令和4年から減少に転じています。この要因として、「飲食店」、「百貨店等」がコロナ禍による経済状況の影響を受けて減少したものと推測されます。（図1参照）

危険物施設数は令和5年3月31日現在、825件（前年比2件増）であるものの、過去5年の件数は減少傾向にあります。この背景には、施設の老朽化、社会経済の変化による石油製品需要の減少、脱炭素、電気自動車の普及などが推測されます。（図2参照）

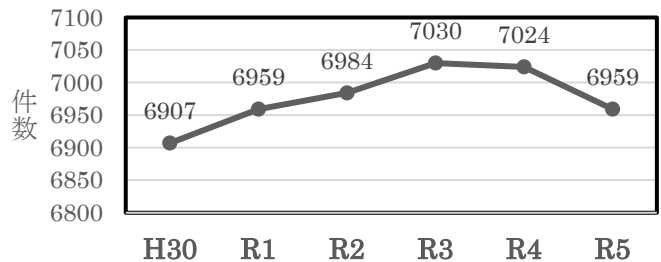
令和5年1月に神戸市兵庫区で死傷者8名のビル火災が発生し、当本部では類似する防火対象物に対し立入検査を実施しました。また、大崎圏域の共同住宅約1,200件を対象に消防用設備等の点検と住宅用火災警報器の設置を促進するリーフレットを配布し、共同住宅の関係者へ点検報告書の提出や住宅用火災警報器の設置推進を行いました。

大崎市のおおさき宝大使で木版画家の大野隆司氏から木版画の提供を受け、ポケットティッシュラベルと短冊形ポスターを作成しました。作品をとおして火災予防の関心を深め、大崎圏域の安全安心につながる普及啓発活動を行いました。

令和5年春の火災予防運動では、国民体育大会や全日本バレーボール高等学校選手権を制覇した古川学園高等学校女子バレーボール部の2名に古川消防署一日消防署長を委嘱し、新聞やテレビ等に大きく取り上げられ、地域と連携した火災予防啓発活動を行いました。

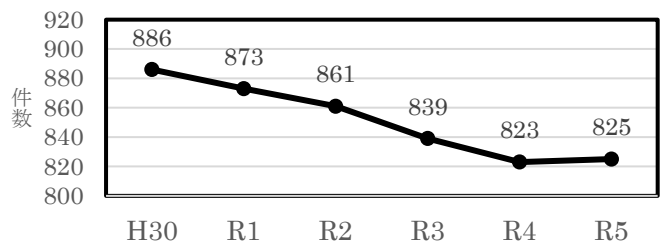
このように、社会情勢の急激な変化や、想定外の事故、社会的影響の高い災害など、予防行政を取り巻く環境に対し、時機を失することなく関係者に積極的な指導を行い、管内の火災予防に努めていきます。

図1 大崎管内の防火対象物数の推移

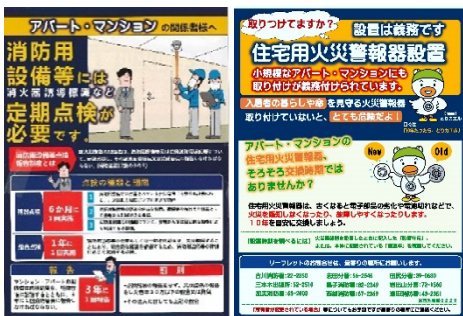


令和5年3月31日現在

図2 大崎管内の危険物施設数の推移



令和5年3月31日現在



共同住宅へ配布したリーフレット



大野隆司氏の版画をモチーフにしたラベルデザイン



古川学園協力によるポスター

防火対象物数

令和5年3月31日現在

防火対象物区分		署別 市町別	古川消防署		鳴子消防署		加美消防署		遠田消防署		小計	合計
			大崎市		小計	加美町	色麻町	小計	涌谷町	美里町		
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	5		5	1	3	4	19
	ロ	公会堂・集会場	103	17	120	38	17	55	17	27	44	219
2項	イ	バー・キャバレー等	1		1			0			0	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14		14	3		3	2	4	6	23
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	3		3	1		1			0	4
3項	イ	待合・料理店等	2		2			0			0	2
	ロ	飲食店	91	17	108	16	3	19	9	10	19	146
4項		百貨店 マーケット等	237	28	265	41	6	47	23	28	51	363
5項	イ	旅館・ホテル等	32	70	102	11	1	12	1	1	2	116
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,053	66	1,119	89	24	113	37	97	134	1,366
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	4	1	5		1	1	1	2	3	9
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1		1			0			0	1
		(3) (1),(2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	16	1	17			0	3		3	20
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	55	3	58	14		14	4	13	17	89
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	67	11	78	9	3	12	11	27	38	128
		(2) 救護施設			0			0			0	0
		(3) 乳児院			0			0			0	0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0	0
		(5) 障害者支援施設等	9		9			0	2	1	3	12
	ハ	(1) 老人デイサービス等	33	4	37	6	2	8	6	4	10	55
		(2) 更生施設			0			0			0	0
		(3) 助産施設等	42	5	47	8	2	10	2	6	8	65
		(4) 児童発達支援センター等	3	1	4	3		3			0	7
		(5) 身体障害者福祉センター等	21	7	28	3	2	5	5	7	12	45
ニ	幼稚園・特別支援学校	24		24	3	2	5	4	8	12	41	
7項		小・中・高、大学等	133	23	156	35	13	48	21	56	77	281
8項		図書館・美術館等	6	4	10	5		5	3	2	5	20
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	4	4	8	3	2	5	1		1	14
10項		車両の停車場等	1		1			0		2	2	3
11項		神社・寺院・教会等	63	13	76	18	4	22	7	17	24	122
12項	イ	工場・作業場	462	83	545	206	50	256	97	141	238	1,039
	ロ	映画・テレビスタジオ			0			0			0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	41	26	67	19	8	27	7	8	15	109
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0	0
14項		倉庫	371	78	449	186	41	227	58	124	182	858
15項		前各項に該当しない事業所	617	209	826	192	86	278	104	105	209	1,313
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	188	32	220	34	5	39	20	24	44	303
	ロ	16項イ以外の複合対象物	71	21	92	14	1	15	10	16	26	133
17項		文化財等	4	3	7	4		4	22		22	33
合計			3,781	728	4,509	966	273	1,239	478	733	1,211	6,959

特定防火対象物 1,668
 非特定防火対象物 5,291

地上5階未満、地上5階以上の防火対象物数

令和5年3月31日現在

防火対象物区分		署別 区分	古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合計		
			地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	合計
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	1		1	5		5	4		4	19		19
	ロ	公会堂・集会場	103		103	17		17	55		55	44		44	219		219
2項	イ	バー・キャバレー等	1		1			0			0			0	1		1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14		14			0	3		3	6		6	23		23
	ハ	性風俗関連特殊営業店 舗			0			0			0			0			0
	ニ	個室利用役務提供店舗	3		3			0	1		1			0	4		4
3項	イ	待合・料理店等	2		2			0			0			0	2		2
	ロ	飲食店	91		91	17		17	19		19	19		19	146		146
4項		百貨店 マーケット等	237		237	28		28	47		47	51		51	363		363
5項	イ	旅館・ホテル等	26	6	32	59	11	70	12		12	2		2	99	17	116
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,018	35	1,053	62	4	66	111	2	113	130	4	134	1,321	45	1,366
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する 等の病院	2	2	4	1		1	1		1	3		3	7	2	9
		(2) 特定診療科名を有する 等の診療所	1		1			0			0			0	1		1
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療 所、助産所(入所)等	13	3	16	1		1			0	3		3	17	3	20
		(4) 入院・入所施設を有しない 診療所・助産所	55		55	3		3	14		14	17		17	89		89
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	65	2	67	11		11	12		12	38		38	126	2	128
		(2) 救護施設			0			0			0			0			0
		(3) 乳児院			0			0			0			0			0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0			0			0
		(5) 障害者支援施設等	9		9			0			0	3		3	12		12
	ハ	(1) 老人デイサービス等	33		33	4		4	8		8	10		10	55		55
		(2) 更生施設			0			0			0			0			0
		(3) 助産施設等	42		42	5		5	10		10	8		8	65		65
		(4) 児童発達支援センター 等	3		3	1		1	3		3			0	7		7
		(5) 身体障害者福祉セン ター等	21		21	7		7	5		5	12		12	45		45
	ニ	幼稚園・特別支援学校	24		24			0	5		5	12		12	41		41
	7項		小・中・高、大学等	132	1	133	23		23	48		48	77		77	280	1
8項		図書館・美術館等	6		6	4		4	5		5	5		5	20		20
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0			0			0
	ロ	9項イ以外の公衆浴 場	4		4	4		4	5		5	1		1	14		14
10項		車両の停車場等	1		1			0			2		2	3		3	
11項		神社・寺院・教会等	63		63	13		13	22		22	24		24	122		122
12項	イ	工場・作業場	462		462	83		83	256		256	236	2	238	1,037	2	1,039
	ロ	映画・テレビスタジオ			0			0			0			0			0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	40	1	41	26		26	27		27	15		15	108	1	109
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0			0			0
14項		倉庫	370	1	371	78		78	227		227	182		182	857	1	858
15項		前各項に該当しない事 業所	604	13	617	209		209	278		278	208	1	209	1,299	14	1,313
16項	イ	特定用途複合用途防火 対象物	181	7	188	32		32	39		39	44		44	296	7	303
	ロ	16項イ以外の複合対象 物	64	7	71	21		21	15		15	25	1	26	125	8	133
17項		文化財等	4		4	3		3	4		4	22		22	33		33
合計			3,703	78	3,781	713	15	728	1,237	2	1,239	1,203	8	1,211	6,856	103	6,959

※地上5階未満は、地下のみを含む。

防火対象物における防火管理の状況

令和5年3月31日現在

署別区分 防火対象物区分		古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合計			
		法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	
1項	イ	劇場・映画館等	10	10	10	1	1	1	3	3	3	4	4	4	18	18	18
	ロ	公会堂・集会場	141	136	136	19	19	19	69	55	54	48	47	47	277	257	256
2項	イ	バー・キャバレー等	1	1	1										1	1	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	13	13	13				3	3	3	6	6	6	22	22	22
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗													0	0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	4	4	4				1	1	1				5	5	5
3項	イ	待合・料理店等	2	2	2										2	2	2
	ロ	飲食店	92	83	83	14	14	14	17	17	17	17	17	17	140	131	131
4項		百貨店 マーケット等	185	178	178	24	24	24	38	37	37	47	47	47	294	286	286
5項	イ	旅館・ホテル等	19	18	17	50	50	50	4	4	4	2	2	2	75	74	73
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	43	40	39	3	3	3	8	8	8	13	11	11	67	62	61
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	4	4	4	1	1	1				3	3	3	8	8	8
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1	1	1										1	1	1
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	14	14	14	1	1	1				2	2	2	17	17	17
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	18	18	18				3	3	3	4	4	4	25	25	25
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	58	56	56	9	9	9	8	8	8	32	31	31	107	104	104
		(2) 救護施設													0	0	0
		(3) 乳児院													0	0	0
		(4) 障害児入所施設													0	0	0
		(5) 障害者支援施設等	1	1	1							2	2	2	3	3	3
	ハ	(1) 老人デイサービス等	12	12	12				6	6	6	3	3	3	21	21	21
		(2) 更生施設													0	0	0
		(3) 助産施設等	36	36	35	4	4	4	7	7	7	5	5	5	52	52	51
		(4) 児童発達支援センター等	2	2	2										2	2	2
		(5) 身体障害者福祉センター等	8	8	8	2	2	2	3	2	2	4	4	4	17	16	16
ニ	幼稚園・特別支援学校	12	12	12				3	2	2	7	7	7	22	21	21	
7項		小・中・高、大学等	39	39	39	8	8	8	14	14	14	16	15	15	77	76	76
8項		図書館・美術館等	4	4	4	4	4	4	5	5	5	3	3	3	16	16	16
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等													0	0	0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	6	6	6
10項		車両の停車場等													0	0	0
11項		神社・寺院・教会等	32	29	29	7	7	7	13	12	12	18	18	18	70	66	66
12項	イ	工場・作業場	42	40	39	3	3	3	17	17	17	15	15	15	77	75	74
	ロ	映画・テレビスタジオ													0	0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場													0	0	0
	ロ	飛行機等格納庫													0	0	0
14項		倉庫	2	2	2							2	2	2	4	4	4
15項		前各項に該当しない事業所	110	102	102	12	11	11	33	32	32	31	30	30	186	175	175
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	151	137	136	28	28	28	32	31	31	31	29	29	242	225	224
	ロ	16項イ以外の複合対象物	9	7	7	1	1	1	2	2	2				12	10	10
17項		文化財等	1	1	1										1	1	1
合計			1,068	1,012	1,007	193	192	192	290	270	269	316	308	308	1,867	1,782	1,776
届出比率%				94.8%	94.3%		99.5%	99.5%		93.1%	92.8%		97.5%	97.5%		95.4%	95.1%

定期点検報告制度該当防火対象物数

令和5年3月31日現在

署別 市町別 防火対象物区分			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
			大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	3		3	1	3	4	17
	ロ	公会堂・集会場	45	8	53	11	1	12	7	14	21	86
2項	イ	バー・キャバレー等			0			0			0	0
	ロ	遊技場 ダンスホール等	9		9	3		3	2	2	4	16
	ハ	性風俗関連特殊営業 店舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用役務提供店 舗	1		1			0			0	1
3項	イ	待合・料理店等			0			0			0	0
	ロ	飲食店	5	1	6			0			0	6
4項		百貨店 マーケット等	43	4	47	4		4	5	4	9	60
5項	イ	旅館・ホテル等	4	10	14	1		1			0	15
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	2		2			0			0	2
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所			0			0			0	0
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	6		6			0			0	6
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	1		1			0			0	1
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	2		2			0			0	2
		(2) 救護施設			0			0			0	0
		(3) 乳児院			0			0			0	0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0	0
		(5) 障害者支援施設等			0			0			0	0
	ハ	老人デイサービス等			0	1	1	2			0	2
ニ	幼稚園・特別支援学校			0			0			0	0	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	27	7	34	8	3	11	2	3	5	50
合計			154	31	185	31	5	36	17	26	43	264

消防同意事務処理状況

令和4年度

種別		署別 市町別	古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
		大崎市	加美町	色麻町		涌谷町	美里町					
新	築		79	4	83	22	7	29	12	36	48	160
増	築		30		30	1		1	4	8	12	43
改	築				0			0			0	0
移	転				0			0			0	0
修	繕				0			0			0	0
模	様替				0			0			0	0
	用途変更		3		3			0			0	3
	その他		1		1			0			0	1
合計			113	4	117	23	7	30	16	44	60	207
消防設備設置指導を行った			42		42	3	4	7	2	3	5	54

危険物施設状況

令和5年3月31日現在

施設区分		署 別				
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
危険物施設数（完成施設）	製 造 所	2	1			3
	屋 内 貯 蔵 所	50	12	11	17	90
	屋外タンク貯蔵所	30	4	12	18	64
	屋内タンク貯蔵所	2		3	1	6
	地下タンク貯蔵所	112	41	49	27	229
	簡易タンク貯蔵所					0
	移動タンク貯蔵所	55	15	49	46	165
	屋 外 貯 蔵 所	3	1	2	2	8
	給 油 取 扱 所	52	17	32	22	123
	販 売 取 扱 所					0
	一 般 取 扱 所	66	21	31	19	137
	移 送 取 扱 所					0
	合 計	372	112	189	152	825
数量別施設数	5 倍 以 下	173	59	101	80	413
	5 倍 を 超 え 1 0 倍 以 下	85	21	28	24	158
	1 0 倍 を 超 え 5 0 倍 以 下	57	14	36	27	134
	5 0 倍 を 超 え 1 0 0 倍 以 下	27	7	12	3	49
	1 0 0 倍 を 超 え 1 5 0 倍 以 下	8	4	3	4	19
	1 5 0 倍 を 超 え 2 0 0 倍 以 下	7	4	7	7	25
	2 0 0 倍 を 超 えるもの	15	3	2	7	27
合 計	372	112	189	152	825	

危険物関係事務処理状況

令和4年度

署 別 許可区分 施設区分	古川消防署					鳴子消防署					加美消防署					遠田消防署					合 計									
	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認					
	設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更			
製 造 所	1	3	1	3	2																					1	3	1	3	2
屋 内 貯 蔵 所	2		2			1	1		1	1						1										4	1	2	1	1
屋外タンク貯蔵所		1		1		6																				6	1	0	1	0
屋内タンク貯蔵所																										0	0	0	0	0
地下タンク貯蔵所	1	1	1	1			1	1	1																	1	2	2	2	0
簡易タンク貯蔵所																										0	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	4	4	4	4		1	1	1	1		1	1	1	1		3	1	3	1							9	7	9	7	0
屋 外 貯 蔵 所																1		1								1	0	1	0	0
給油取扱所		13		12	12		1		1	1		2		2	2		2		2	2						0	18	0	17	17
一 般 取 扱 所	1	2	1	2		2	6	2	6	2		1		1												3	9	3	9	2
合 計	9	24	9	23	14	10	10	4	10	4	1	4	1	4	2	5	3	4	3	2	25	41	18	40	22					

危険物関係申請状況

令和4年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
タンクの水張, 水圧検査 (政令)						0
タンクの水張, 水圧検査 (条例)						0
仮 貯 蔵			4	1		5
仮 取 扱		1	6	1		8

圧縮アセチレンガス等の届出状況

令和4年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
圧縮アセチレンガス等	圧縮アセチレンガス	6			2	8
	無水硫酸	1			1	2
	液化石油ガス	791	92	166	65	1,114
	生石灰	3		2		5
	毒物	7			1	8
	劇物	34			1	35
指定可燃物等	可燃性固体類	2		1		3
	石炭・木炭類					0
	可燃性液体類	12		3	1	16
	合成樹脂類	60	2	18	30	110
	再生資源燃料	4			2	6
	その他	53	19	23	13	108
指定可燃物に類する物品						0
少 量 危 険 物		931	248	261	277	1,717
移動タンク		35	20	13	18	86

予防査察実施状況

【防火対象物】

令和4年度

防火対象物区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
1項	イ	劇場・映画館等			3		3
	ロ	公会堂・集会場	42	8	12	3	65
2項	イ	バー・キャバレー等					0
	ロ	遊技場・ダンスホール等	2			1	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0
	ニ	個室利用役務提供店舗					0
3項	イ	待合・料理店等					0
	ロ	飲食店	18	4	6	5	33
4項		百貨店・マーケット等	31	18	25	4	78
5項	イ	旅館・ホテル等	21	47	22	7	97
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	154	5	46	26	231
6項	イ	(1) 特定診療科名を有し、療養病床又は一般病床を有する病院		1			1
		(2) 特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させるための施設を有する診療所					0
		(3) (1)以外の病院、(2)以外の入院施設を有する診療所又は入所施設を有する助産所	1				1
		(4) 入院施設を有しない診療所、入所施設を有しない助産所	3			2	5
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、老人短期入所事業を行う施設等	3	2		1	6
		(2) 救護施設					0
		(3) 乳児院					0
		(4) 障害児入所施設					0
		(5) 障害者支援施設、短期入所、共同生活援助を行う施設					0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム、老人デイサービス事業を行う施設等	3		1		4
		(2) 更生施設					0
		(3) 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園等	1	1			2
		(4) 児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設、児童発達支援、放課後等デイサービスを行う施設		1			1
		(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター、福祉ホーム、生活介護、短期入所等				1	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2			1	3
7項		小・中・高、大学等	5	1	6	18	30
8項		図書館・美術館等	1	1		1	3
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場			9	1	10
10項		車両の停車場等					0
11項		神社・寺院・教会等	10	5	3		18
12項	イ	工場・作業場	40	16	25	18	99
	ロ	映画・テレビスタジオ					0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	2	3	7		12
	ロ	飛行機等格納庫					0
14項		倉庫	22	16	11	12	61
15項		前各項に該当しない事業所	29	27	23	32	111
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	19	11	5	3	38
	ロ	16項イ以外の複合対象物	8	2			10
17項		文化財等	4	4	2	22	32
実施件数合計			421	173	206	158	958

【危険物施設】

令和4年度

危険物施設区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
製造所			2	1			3
取扱所		給油取扱所	49	17	14	15	95
		一般取扱所	13	17	6	3	39
貯蔵所		屋内貯蔵所	8	11			19
		屋外貯蔵所		1	1		2
		屋内タンク貯蔵所					0
		屋外タンク貯蔵所	11	5		2	18
		地下タンク貯蔵所	8	31	6	3	48
		簡易タンク貯蔵所					0
		移動タンク貯蔵所	52	14	43	40	149
実施件数合計			143	97	70	63	373

査察実施件数は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までのもの。

液化石油ガス関係事務処理状況

令和4年度

区 分		署 別				合 計
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	
液化石油ガス 設備工事	設備工事届	9	3	1	1	14
特定液化石油ガス 設備工事事業	事業開始届	3		1		4
	事業変更届	4	2		1	7
	事業廃止届					0
立入検査		5			1	6

火薬類取締関係事務処理状況

令和4年度

区 分		署 別				合 計	
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署		
許 可	譲渡許可					0	
	譲受許可	1				1	
	営業許可		2			2	
	設置・移転許可					0	
	消費許可	煙火	3			3	6
		その他			3		3
火薬庫保安検査			1			1	
火薬庫外貯蔵所指示		2	1		1	4	
立入検査	販売業者	2	2		1	5	
	火薬庫		1			1	
	消費業者	6		3	6	15	
	その他	3	1		3	7	

民間防火組織の結成状況

令和5年4月1日現在

組織区分 市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大崎 市	26	687			87	16,422
色麻 町	0	0			25	1,764
加美 町	6	147			71	2,513
涌谷 町	5	200	1	56	47	3,606
美里 町	1	57			9	7,675
合 計	38	1,091	1	56	239	31,980

《幼少年消防クラブについて》

幼少年消防クラブは、活動を通じて規律正しく明るく元気な子供を育成することを目的とし、消防署の見学や玩具煙火の正しい遊び方等を学んでもらい、幼少年期に防火意識を身に付けてもらえるよう育成指導に努めています。



花火指導の様子（古川消防署志田分署）



幼年消防クラブの様子（鳴子消防署岩出山分署）

《大崎地域婦人防火クラブ連合会について》事務局：大崎消防本部予防課内

昭和56年に「我が家と地域から火災を無くそう」を合言葉に、大崎地域の婦人防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り、火災予防思想の普及に寄与することを目的として結成されました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により主要行事の通常総会が書面会議となるものの、10月に大崎市鹿島台で自主リーダー研修会、11月に名取市で移動研修会を行い、12月には大崎婦人防火クラブ大会が開かれ「防火・防災への原点回帰」をテーマに元衆院議員の石山敬貴様を講師に迎えて研修会を行いました。今後も地域の防火・防災のリーダーとして家庭の防火対策や広報活動など、防火思想の普及に幅広く活動していきます。



自主リーダー研修会の様子



大崎婦人防火クラブ大会の様子

通信指令



◎ 119番通報のポイント ◎

★ あわてず，落ち着いて話してください！

1. 火事？それとも救急？
2. あなたの居る場所・緊急車が必要な住所
3. 誰が，どこで，どうしたのか？
4. あなたの名前，電話番号

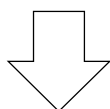
高機能消防指令センターの概要

高機能消防指令センターでは、これまでの通信指令システムに加え、新たに聴覚障がい及び発語障がいのある方がスマートフォン等から通報できる「Net119緊急通報システム」を導入、また、外国人からの119番通報に対応するため、電話通訳センターを介して主要な言語で災害対応が行えるようになりました。

このように、災害通報受付体制を充実強化し、正確・迅速かつ効率的な災害対応を行うとともに、関係機関への情報提供等一連の業務を行っています。

〈119番受付の一連の業務〉

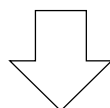
(1) 災害受付



災害通報には、携帯電話や有線電話からの119番通報、消防署所への駆けつけ通報等があります。

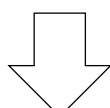
119番通報時に、通報者の位置情報が表示される位置情報システムを活用することで、短時間で発生現場の特定を可能にしています。

(2) 出動指令



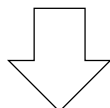
消防車や救急車の位置をGPSにより管理し、コンピュータにより部隊編成し、有線や無線で出動指令を出します。

(3) 情報収集・支援情報提供



気象情報や、事前に収集してある消防水利、大規模建物、危険物等の情報を災害現場に支援情報として提供します。

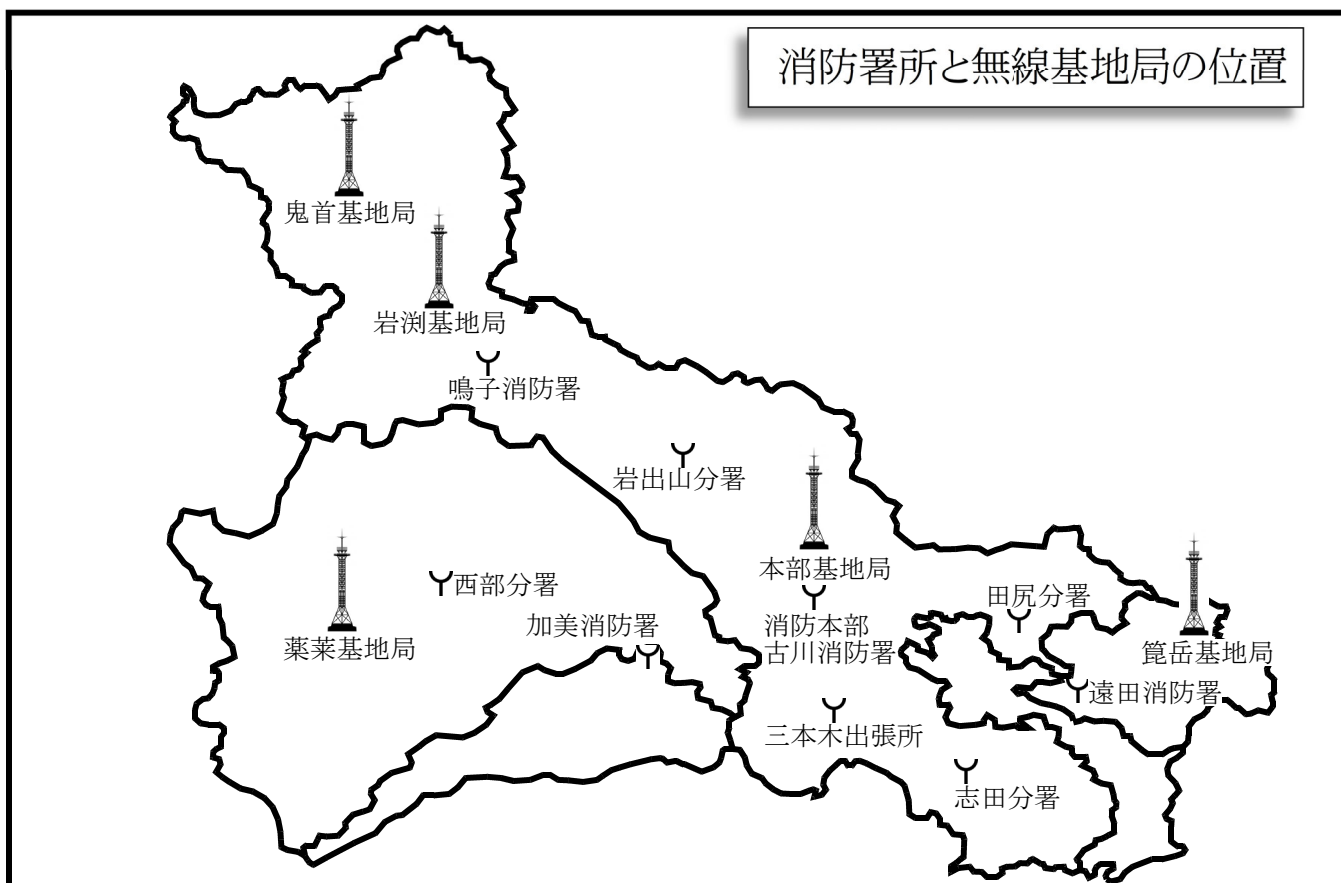
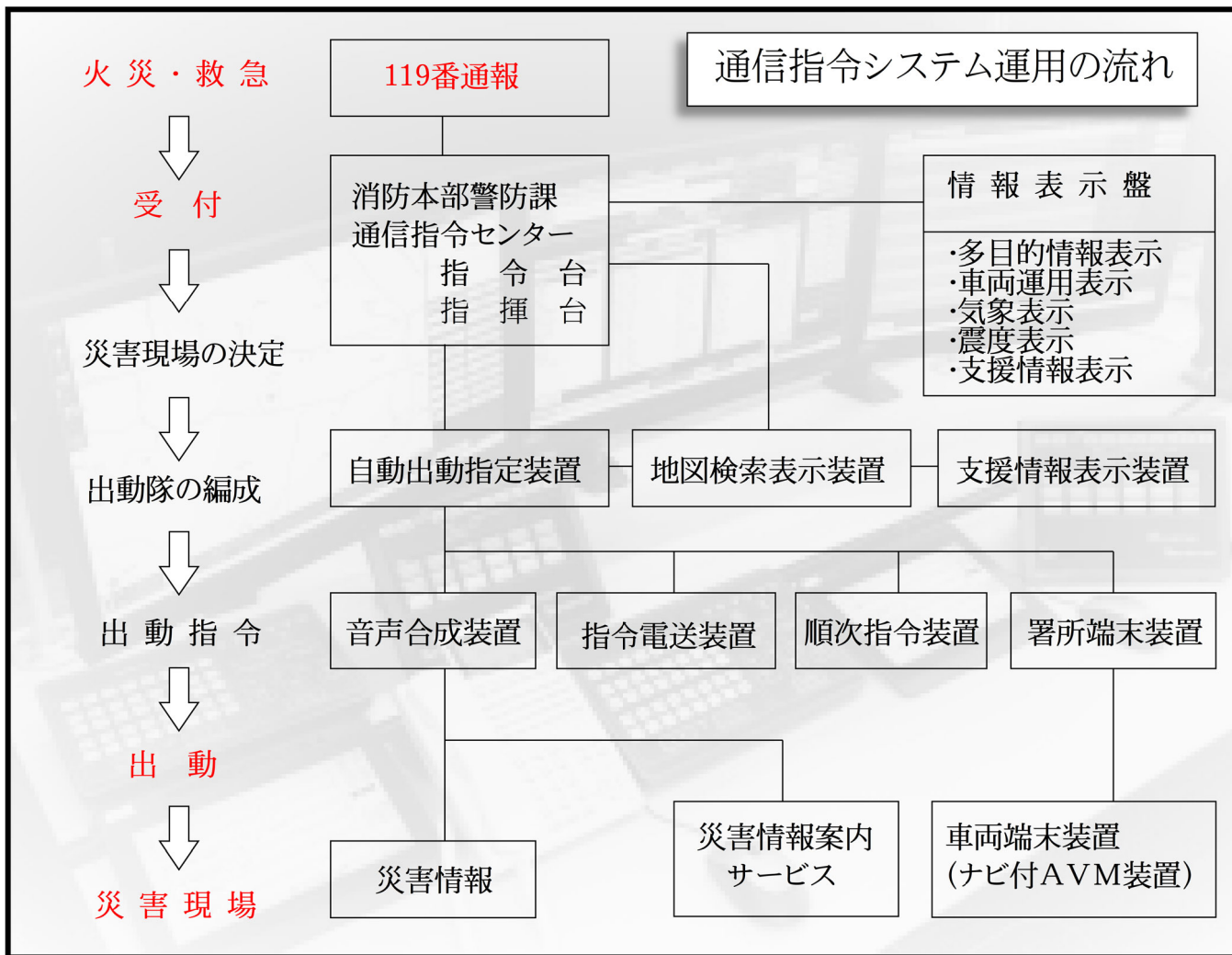
(4) 関係機関への連絡



警察、ガス会社、電力会社等の関係機関には、災害情報を専用回線で連絡しています。また、国や県には災害規模により、衛星通信、無線、有線により連絡します。

(5) 住民への情報提供

災害情報案内サービスにより災害指令と同時に情報提供しています。



通信指令システム機器一覧

令和5年4月1日現在

項目	内訳	
	数量	単位
1 指令装置	1	式
(1) 指令台	2	台
(2) 自動出動指定装置	2	式
ア 制御処理装置	2	台
イ ディスプレイ	2	台
(3) 地図検索装置	1	式
ア 制御処理装置	2	台
イ ディスプレイ	2	台
(4) 支援情報表示装置	1	式
ア 制御処理装置	2	台
イ ディスプレイ	2	台
(5) 長時間録音装置	1	台
(6) 非常用指令装置	1	台
(7) 指令制御装置	1	台
(8) プリンタ	2	台
(9) スキャナ	1	台
(10) データメンテナンス装置	1	台
(11) 署所端末装置	9	台
(12) バックアップ受令機	8	台
2 指揮台	1	式
3 表示盤	1	式
(1) 車両運用表示盤	3	面
(2) 支援情報表示盤	1	面
(3) 多目的情報表示盤	1	面
4 無線統制台	1	式

項目	内訳	
	数量	単位
5 指令電送装置	1	式
(1) 指令情報送信装置	1	台
(2) 指令情報出力装置	9	台
6 気象情報収集装置	1	式
7 災害状況等自動案内装置	1	式
8 順次指令装置	1	式
9 音声合成装置	1	式
10 出動車両運用管理装置	1	式
(1) 管理装置	1	台
(2) 車両運用端末装置	53	台
(3) 車外設定端末装置	45	台
11 システム監視装置	1	式
12 電源設備	1	式
(1) 無停電電源装置	9	台
(2) 直流電源装置	1	台
(3) 非常用発動発電機	1	台
13 統合型位置情報通知装置	1	式
14 防災無線連動集中制御装置	1	式
15 119 FAX受信装置	1	台
16 監視カメラ装置	1	式
(1) 監視カメラ	3	台
(2) 監視映像受信装置	1	面
17 デジタル無線受令機	25	台
18 Net119受信装置	1	台

1 1 9 番 等 受 付 状 況 (災 害)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

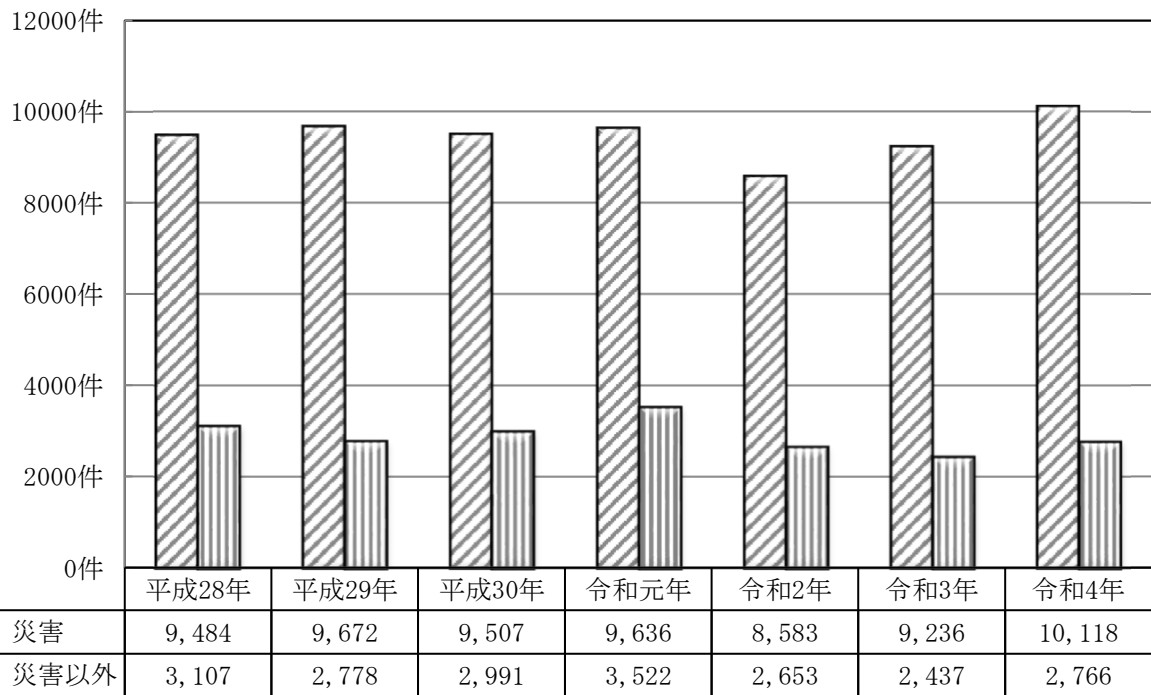
月 別	受付種別	火 災	救 急	救 助	その他	合 計
1月	1 1 9 番	1	464	0	7	472
	携 帯 1 1 9	4	319	3	16	342
	加 入 電 話	0	9	1	8	18
	そ の 他	0	4	1	5	10
	小 計	5	796	5	36	842
2月	1 1 9 番	3	385	1	7	396
	携 帯 1 1 9	1	228	4	2	235
	加 入 電 話	0	18	1	4	23
	そ の 他	1	5	0	0	6
	小 計	5	636	6	13	660
3月	1 1 9 番	1	420	2	5	428
	携 帯 1 1 9	3	277	1	16	297
	加 入 電 話	0	24	1	6	31
	そ の 他	0	3	0	6	9
	小 計	4	724	4	33	765
4月	1 1 9 番	3	398	2	9	412
	携 帯 1 1 9	4	280	2	15	301
	加 入 電 話	1	14	0	3	18
	そ の 他	1	8	0	2	11
	小 計	9	700	4	29	742
5月	1 1 9 番	1	403	0	9	413
	携 帯 1 1 9	6	333	1	18	358
	加 入 電 話	1	30	3	6	40
	そ の 他	0	5	2	5	12
	小 計	8	771	6	38	823
6月	1 1 9 番	0	417	0	2	419
	携 帯 1 1 9	5	262	2	12	281
	加 入 電 話	0	28	0	9	37
	そ の 他	0	13	0	1	14
	小 計	5	720	2	24	751
7月	1 1 9 番	1	457	1	17	476
	携 帯 1 1 9	4	350	4	32	390
	加 入 電 話	1	34	4	30	69
	そ の 他	2	7	0	5	14
	小 計	8	848	9	84	949
8月	1 1 9 番	1	458	0	3	462
	携 帯 1 1 9	1	415	4	11	431
	加 入 電 話	0	24	0	12	36
	そ の 他	2	11	1	8	22
	小 計	4	908	5	34	951
9月	1 1 9 番	0	454	0	9	463
	携 帯 1 1 9	2	330	2	19	353
	加 入 電 話	1	18	4	11	34
	そ の 他	0	6	0	3	9
	小 計	3	808	6	42	859
10月	1 1 9 番	0	442	1	4	447
	携 帯 1 1 9	1	358	1	11	371
	加 入 電 話	0	14	4	10	28
	そ の 他	1	8	0	3	12
	小 計	2	822	6	28	858
11月	1 1 9 番	0	498	0	5	503
	携 帯 1 1 9	2	388	4	16	410
	加 入 電 話	0	21	0	9	30
	そ の 他	0	10	0	1	11
	小 計	2	917	4	31	954
12月	1 1 9 番	1	498	1	7	507
	携 帯 1 1 9	2	403	1	13	419
	加 入 電 話	0	18	0	12	30
	そ の 他	0	8	0	0	8
	小 計	3	927	2	32	964
合計	1 1 9 番	12	5,294	8	84	5,398
	携 帯 1 1 9	35	3,943	29	181	4,188
	加 入 電 話	4	252	18	120	394
	そ の 他	7	88	4	39	138
	小 計	58	9,577	59	424	10,118

1 1 9 番 等 受 付 状 況 (災 害 以 外)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

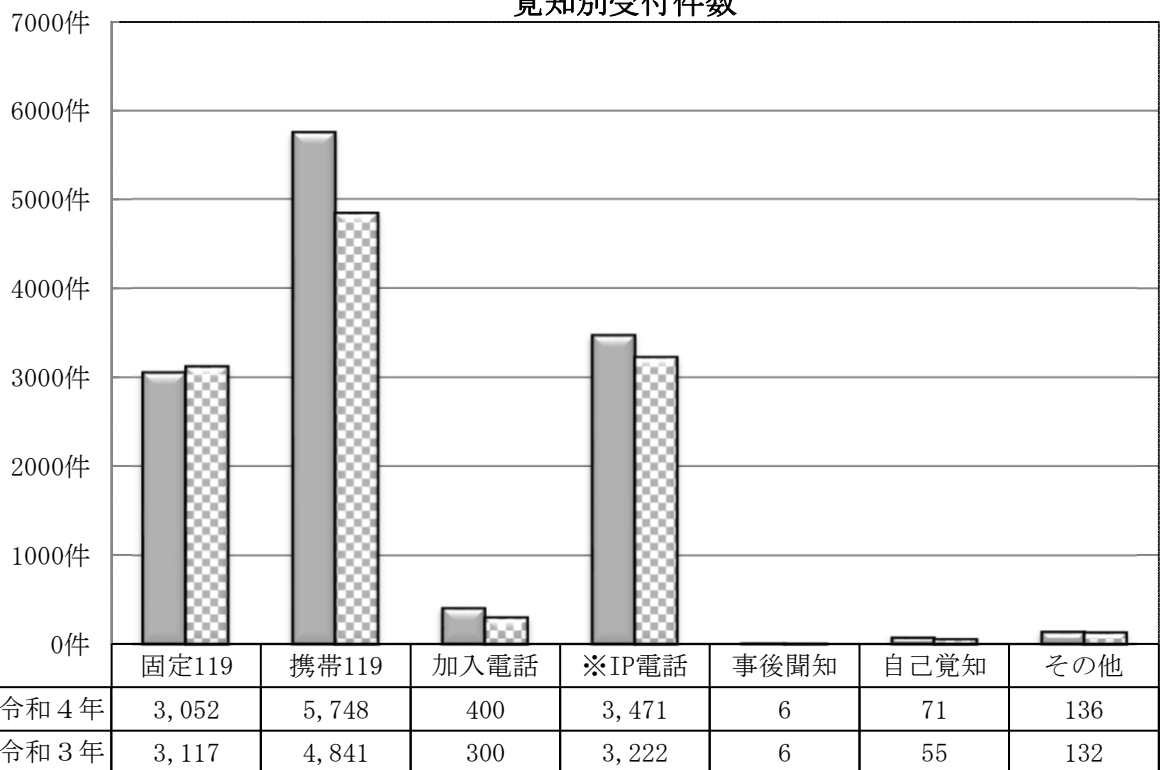
月別	受付種別	いたづら	問合せ	間違い	訓練	試験	重複 その他	合計
1月	1 1 9 番	5	17	21	8	2	10	63
	携 帯 1 1 9	0	36	49	0	1	29	115
	加 入 電 話	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	1	0	0	2	0	3
	小 計	5	54	70	8	5	39	181
2月	1 1 9 番	0	17	19	4	21	14	75
	携 帯 1 1 9	0	33	35	0	1	22	91
	加 入 電 話	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	50	54	4	22	36	166
3月	1 1 9 番	1	24	21	22	5	10	83
	携 帯 1 1 9	0	44	29	0	3	17	93
	加 入 電 話	0	1	0	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	2	0	3	1	6
	小 計	1	69	52	22	11	28	183
4月	1 1 9 番	1	31	23	6	10	9	80
	携 帯 1 1 9	0	47	35	0	3	48	133
	加 入 電 話	0	0	1	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	6	0	5	0	11
	小 計	1	78	65	6	18	57	225
5月	1 1 9 番	0	19	30	15	5	16	85
	携 帯 1 1 9	0	53	31	0	1	45	130
	加 入 電 話	0	1	0	0	0	0	1
	そ の 他	0	4	2	0	2	0	8
	小 計	0	77	63	15	8	61	224
6月	1 1 9 番	0	12	29	43	1	16	101
	携 帯 1 1 9	0	31	32	0	2	36	101
	加 入 電 話	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	2	0	0	2	0	4
	小 計	0	45	61	43	5	52	206
7月	1 1 9 番	0	46	34	17	4	44	145
	携 帯 1 1 9	1	106	62	0	0	69	238
	加 入 電 話	0	2	0	0	0	0	2
	そ の 他	0	2	5	0	3	1	11
	小 計	1	156	101	17	7	114	396
8月	1 1 9 番	0	28	31	10	5	6	80
	携 帯 1 1 9	0	70	36	0	0	30	136
	加 入 電 話	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	2	4	0	2	0	8
	小 計	0	100	71	10	7	36	224
9月	1 1 9 番	0	30	21	19	9	14	93
	携 帯 1 1 9	0	39	42	0	19	29	129
	加 入 電 話	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	1	3	0	3	0	7
	小 計	0	70	66	19	31	43	229
10月	1 1 9 番	0	25	25	42	6	8	106
	携 帯 1 1 9	1	44	50	0	5	35	135
	加 入 電 話	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	3	0	0	0	1	4
	小 計	1	72	75	42	11	44	245
11月	1 1 9 番	0	45	20	65	2	7	139
	携 帯 1 1 9	1	60	32	2	1	35	131
	加 入 電 話	0	0	1	0	0	0	1
	そ の 他	0	3	4	0	3	0	10
	小 計	1	108	57	67	6	42	281
12月	1 1 9 番	0	24	12	18	6	15	75
	携 帯 1 1 9	0	55	40	0	3	30	128
	加 入 電 話	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	3	0	0	0	0	3
	小 計	0	82	52	18	9	45	206
合計	1 1 9 番	7	318	286	269	76	169	1,125
	携 帯 1 1 9	3	618	473	2	39	425	1,560
	加 入 電 話	0	4	2	0	0	0	6
	そ の 他	0	21	26	0	25	3	75
	小 計	10	961	787	271	140	597	2,766

119番等受付件数



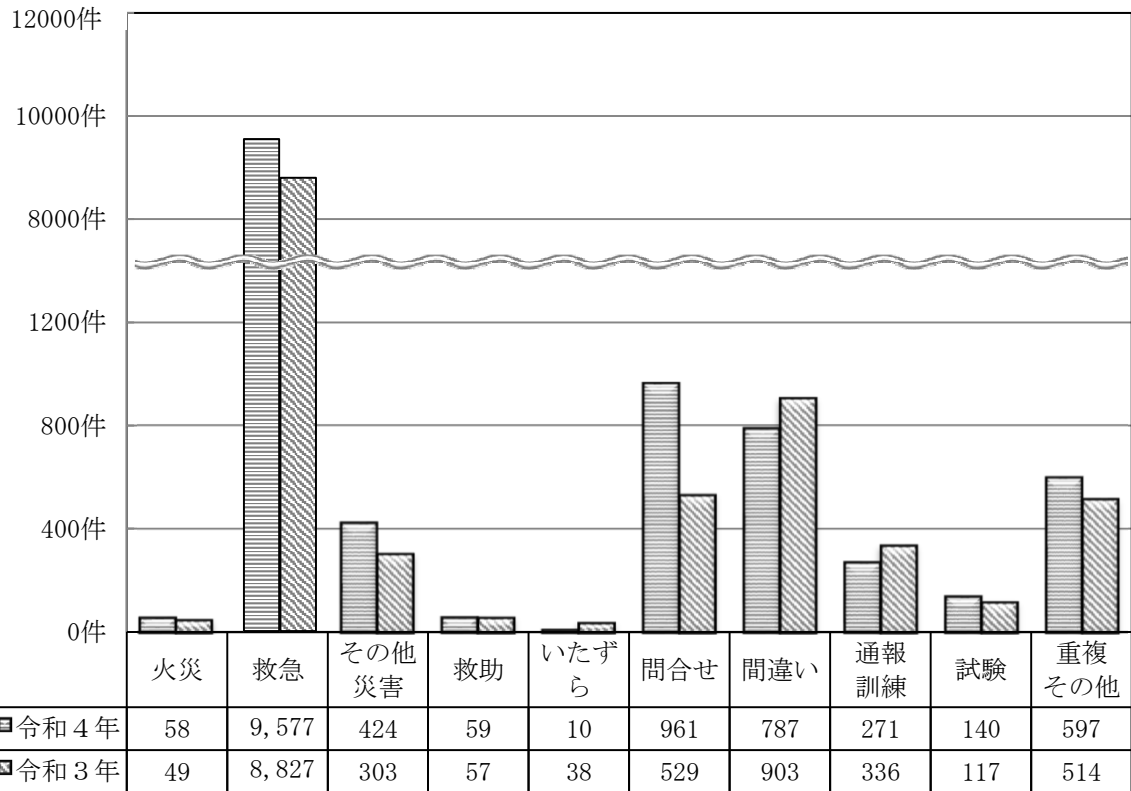
- ・災害とは「火災」「救急」「救助」「その他災害」をいう。
- ・災害以外とは「いたづら」「問合せ」「間違い」「訓練」「試験」「重複・その他」をいう。

覚知別受付件数

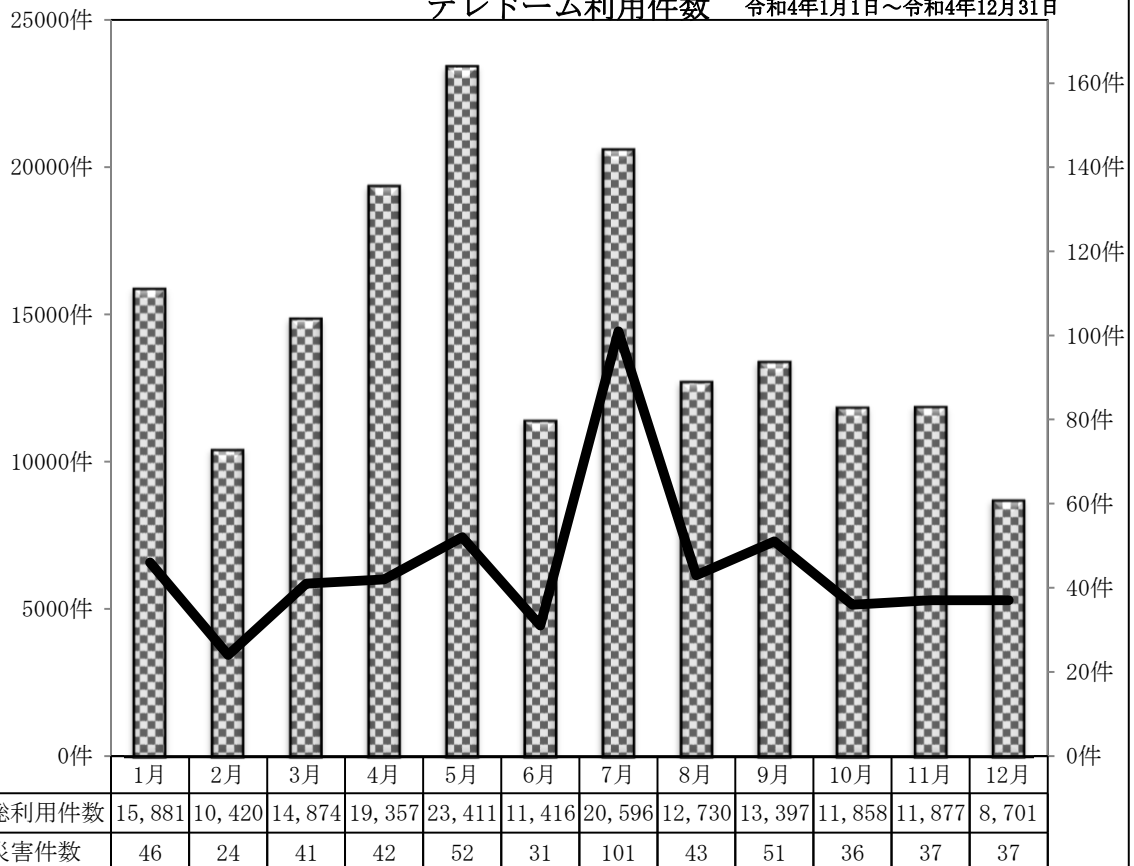


※IP電話とは「NTTひかり」「KDDI」「SoftBank」のインターネットプロトコル通信電話サービスをいう。

災害等区分別入電件数



テレドーム利用件数 令和4年1月1日～令和4年12月31日



・テレドームとは、救急出動を除く火災、救助、その他災害の発生状況を音声案内で情報提供するものをいう。

※ この表の災害件数は、救急出動を除く火災、救助、その他災害の件数を計上したものです。

月 別 気 象 状 況 (令 和 4 年)

(消防本部観測記録)

観測項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計平均
温度	最高(°C)	7.0	10.6	19.6	27.2	27.1	33.2	36.0	35.1	31.1	29.2	21.8	13.3	24.3
	最低(°C)	-7.9	-6.6	-4.5	-1.7	4.0	10.8	18.9	13.7	9.7	3.2	-0.8	-4.1	2.9
	平均(°C)	0	0.5	5.1	11.0	16.1	19.8	24.8	24.5	21.6	14.5	9.8	2.9	12.6
湿度	最低(%)	64.7	53.3	37.5	32.5	20.5	52.4	44.4	54.4	54.1	49.4	47.5	41.9	46.1
	平均(%)	94.8	93.0	88.4	84.9	84.7	92.6	95.7	95.9	96.3	94.8	90.7	85.6	91.5
風速	日最高平均(m/s)	15.4	16.8	17.3	13.1	16.2	10.9	15.1	10.8	11.2	11.5	12.8	14.1	13.8
	瞬間最大(m/s)	24.5	26.0	27.9	20.1	24.9	16.8	31.5	18.3	17.4	19.1	20.4	22.1	22.4
	平均(m/s)	4.0	3.9	3.9	3.0	3.3	3.0	2.3	2.1	2.3	2.4	2.6	3.4	3.0
降水量	1日最大(mm)	13.5	3.5	20.5	27.5	46.0	53.0	217.0	33.5	22.5	33.0	29.0	7.5	42.2
	積算(mm)	25.0	14.5	54.5	65.0	75.5	202.0	503.5	114.5	94.0	95.5	58.0	22.5	110.4
天候観測 昼観測 (日数)	晴日 (快晴含)	14	6	15	22	19	10	14	11	9	20	21	7	168
	曇日	10	16	13	5	9	15	13	19	20	8	8	21	157
	雨日	1	0	1	3	3	5	4	1	1	3	1	0	23
	雪日	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17
地震観測	回数	1	2	25	3	5	6	5	4	3	3	4	2	63
	最大震度	1	3	5強	2	3	2	4	3	1	2	2	1	-
備考 年記録	温度	最高 36.0 °C (7 月)												
		最低 -7.9 °C (1 月)												
	風速	最大瞬間風速 31.5 m/S (7 月)												
	降水量	一日最大 217.0 mm (7 月)												
地震観測	震度 5強 (3/16)													

■天候観測は、0時から24時の気象概況

管内の消防団



令和4年度北上川下流及び江合川・鳴瀬川総合水防演習

於：大崎市古川湍尻字西田地先

大崎管内の消防団構成

令和5年4月1日現在

市町名	定数	実数	階級別実数								所有車両数
			団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	副班長	団員	
大崎市	2,430	2,092 (29)	1	22	56	73 (1)	136	284 (1)	0	1,520 (27)	ポンプ車 8 小型ポンプ積載車 154 小型ポンプ 49 その他 0
色麻町	210	181 (10)	1	1	4	4	0	20 (1)	0	151 (9)	ポンプ車 0 小型ポンプ積載車 18 小型ポンプ 1 その他 0
加美町	640	530 (3)	1	3	7	7	20	66	0	426 (3)	ポンプ車 2 小型ポンプ積載車 62 小型ポンプ 0 その他 0
涌谷町	280	262 (8)	1	2	7	7	8	20 (1)	9	208 (7)	ポンプ車 1 小型ポンプ積載車 17 小型ポンプ 0 その他 0
美里町	500	428 (4)	1	3	10	14 (1)	12 (1)	34 (2)	31	323	ポンプ車 2 小型ポンプ積載車 27 小型ポンプ 0 その他 0
合計	4,060	3,493 (54)	5	31	84	105 (2)	176 (1)	424 (5)	40	2,628 (46)	ポンプ車 13 小型ポンプ積載車 278 小型ポンプ 50 その他 0

※大崎市消防団については、副団長のうち7名が支団長を兼ねる。

※（ ）内は女性消防団員の数



大崎消防本部

【大崎消防本部キャッチフレーズ】

大崎消防では、「安全・安心」の提供において、
愛^{いづく}しむ心と、愛^めでる思いをつないで災害等から
圏域住民を守っていくことを表現しております。

【令和2年4月制定】

令和5年版 消防年報

令和5年7月発行

編集・発行 大崎地域広域行政事務組合消防本部総務課



宮城県大崎市古川千手寺町二丁目5番20号

電話 (0229)22-2351(代)

FAX (0229)24-4048